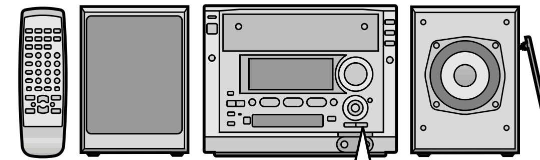
Panasonic

MDステレオシステム

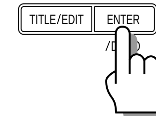
取扱説明書

品番 SC-PM60MD



デモ表示について

電源プラグをコンセントに差し込むと、表示窓の表示が自動的に点灯し、次々と変化するのをお楽しみいただけます。これをデモ(デモンストレーション)表示と呼びます。デモ表示を解除するときは、デモ表示中にENTER/DEMOボタンを押し、「DEMO OFF!」を表示させます。解除しないと、電源「切」にしたとき 2 分後にデモ表示に入ります。詳しくは、「デモ表示機能を解除するには」(➡ 15 ページ)をご覧ください。



DEMO OFF!

上手に使って上手に節電

保証書別添付

MDLP

このたびは、MDステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT5856-S

目　次

はじめに　ページ

表示窓の設定　ページ

音質を調整する　ページ

CDを聞く　ページ

MDを聞く　ページ

ラジオを聞く　ページ

他の機器を操作する　ページ

録音する　ページ

MDにタイトルをつける　ページ

MDを編集する　ページ

タイマーを使う　ページ

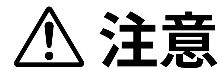
便利な機能　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

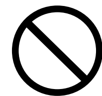
■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

電源コードについて

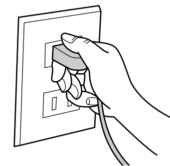
電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］



- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

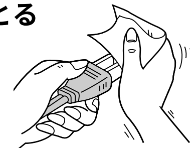
- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

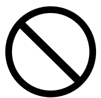
- 感電の恐れがあります。

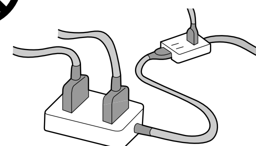
電源プラグのほこり等は定期的にとる



- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

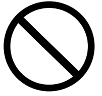




- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ご使用について

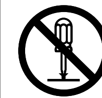
機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



- ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

ご使用について

分解、改造したりしない



- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

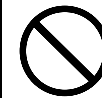
もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

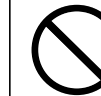
設置・接続について

放熱を妨げない



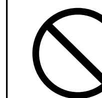
- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



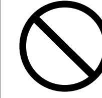
- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない



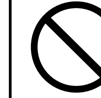
- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

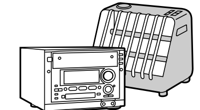
不安定な場所に設置しない



- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **スピーカーを壁や天井に取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない





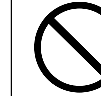
- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD トレイの開閉時に手を入れない

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（つづき）—はじめにお読みください—

⚠注意

ご使用について

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

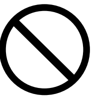
- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使い方をしない

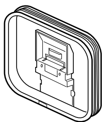


- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

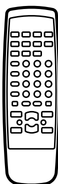
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品の確認

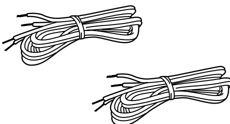
お使いになる前に付属品をお確かめください。



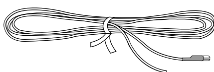
AM ループアンテナ（1 個）
（品番 RSAZPM60-01）



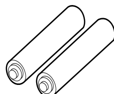
リモコン（1 個）
（品番 RAK-PM60MD）



スピーカーコード（2 本）
（品番 RJLZPM60-01）



FM 簡易型アンテナ（1 本）
（品番 RSAZPM60-02）



単 3 形乾電池（2 本）
（リモコン動作確認用）

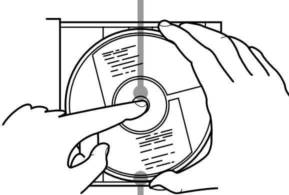
- スピーカーコードは、スピーカーの包装箱の中に入っています。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
  カッコ（　）内は、買い替え時の品番です。

ご使用になる前に

CDの取り扱いかた

・ケースからの出しかた

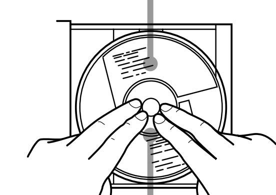
① センターホルダーを押さえ



② 演奏面（虹色に光っている面）に触れないように持って出す。

・ケースへの入れかた

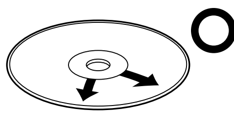
① 文字のある面を上にして…



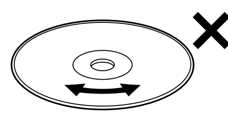
② 上から押さえて入れる。

CD のお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



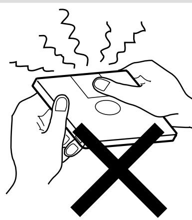
連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

MDの取り扱いかた

シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。
無理に開けようとするとディスクがこわれます。



定期的にお手入れを

カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

本機やCD、MDの置き場所について

故障などを防止するため次の場所は避けてください。

- **湿気やほこりの多い所**
- **直射日光が当たる所や暖房器のそば**
- **アンプやテレビのすぐそば**
- **不安定な所**
- **極端に寒い所**
- **磁気を発生する所**
- **振動の激しい所**
- **OA 機器やけい光灯のすぐそば**

露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いて**CD**や**MD**が正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約1〜2時間待ってからお使いください。

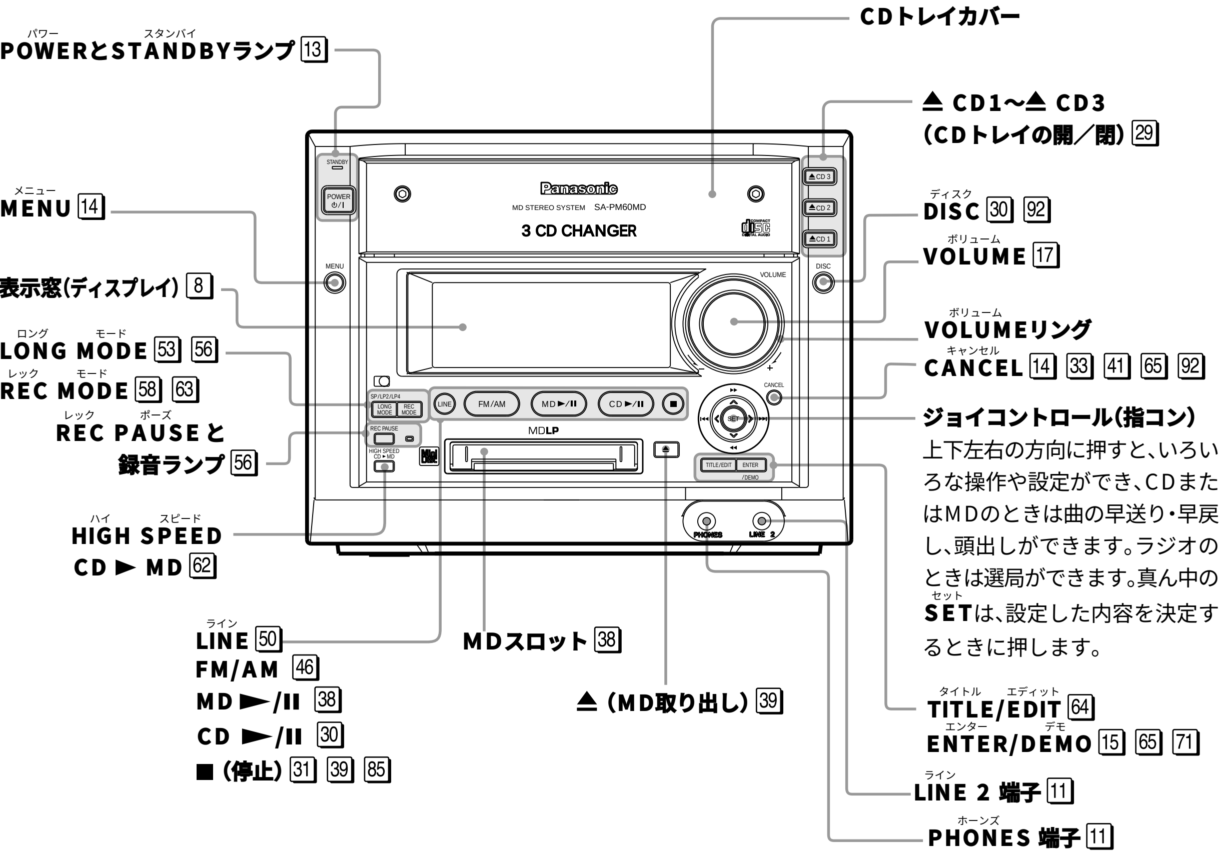
本体が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布で拭き、後は空ぶきしてください。

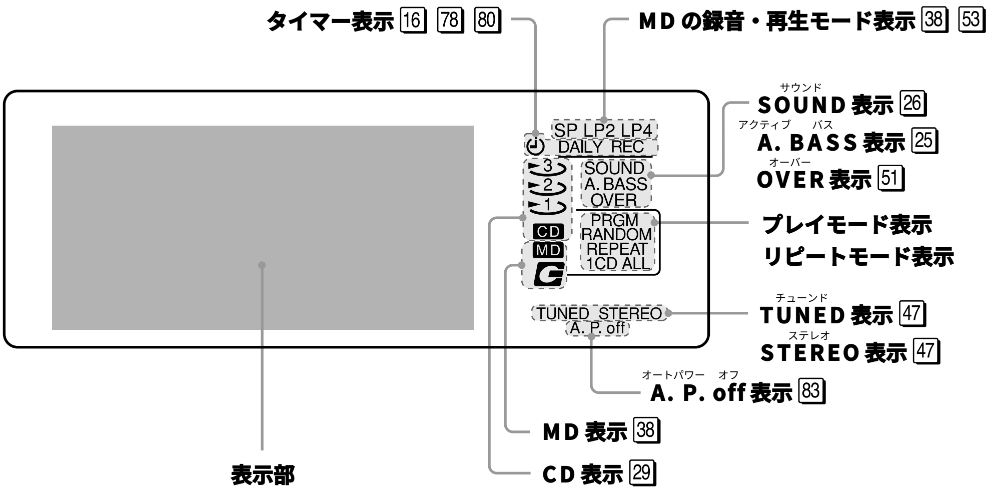
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

各部の名称　―□内の数字のページに説明があります―

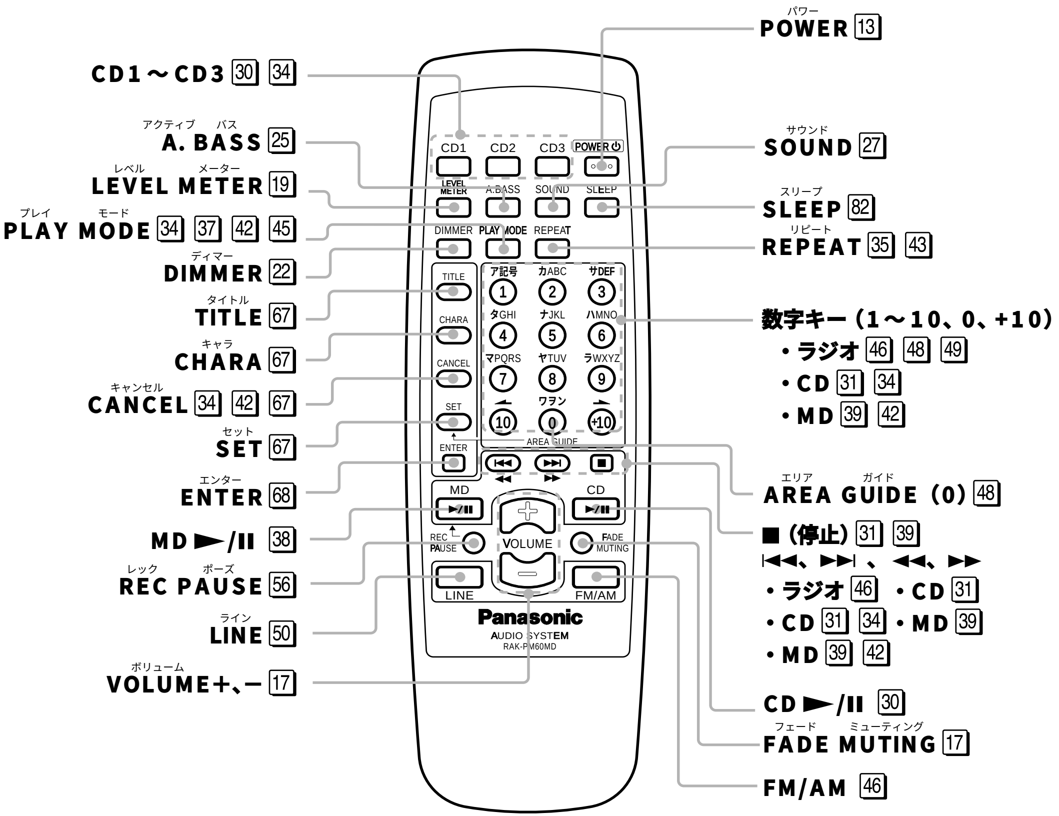
本　体



表示窓(ディスプレイ)



リモコン



リモコンに乾電池を入れる

付属の乾電池を入れます。

1　裏ブタをはずす

2　乾電池を入れる

単3形乾電池2本を入れます。
リモコン内部の表示に合わせて、極性（⊕、⊖）を正しく入れます。

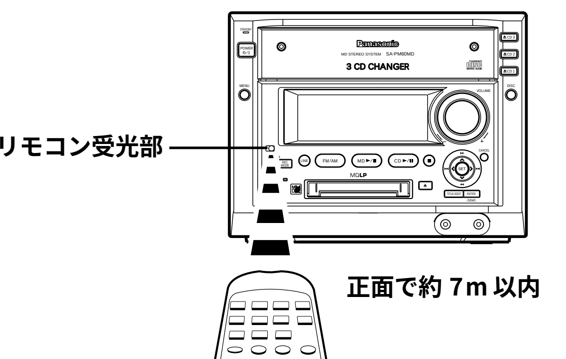
- 付属の電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。

3　裏ブタをしめる

矢印の方向に戻します。

リモコンの操作

リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作します。斜めから使用したり、リモコン受光部との間に障害物等があると信号が届かない場合があります。



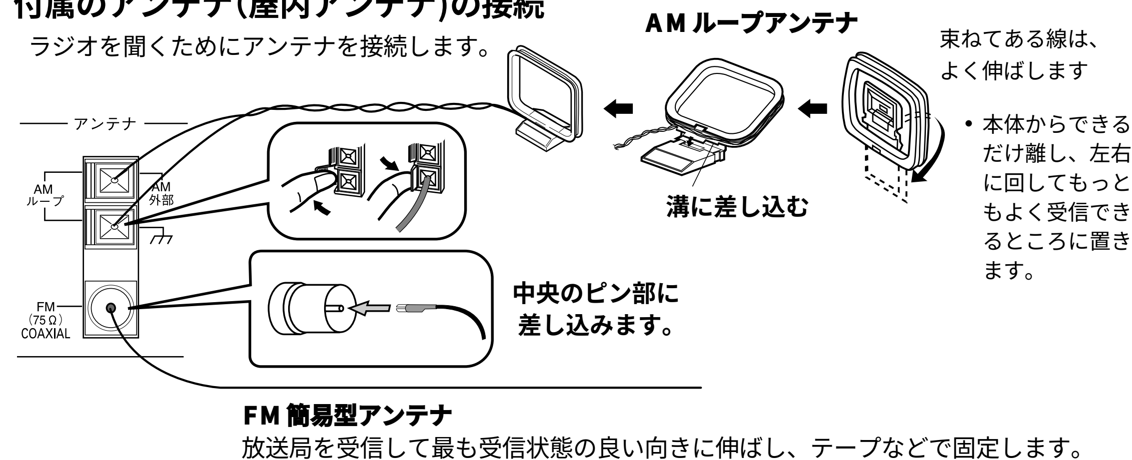
- 操作範囲が狭くなってきたり、本体に近づけないと操作できなくなってきたときは、乾電池を交換してください。交換の際は、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
- 長い間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 指定以外の電池（充電式電池など）は使用しないでください。

接　続 ―接続が終わるまで電源は入れないでください―

アンテナの接続

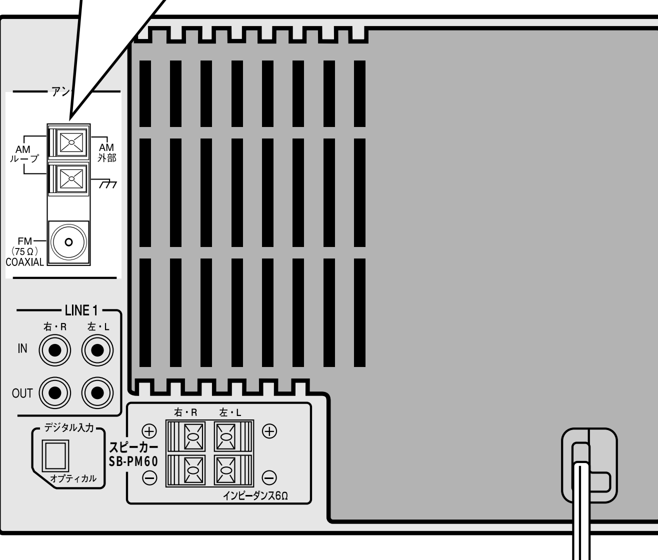
付属のアンテナ（屋内アンテナ）の接続

ラジオを聞くためにアンテナを接続します。



FM 簡易型アンテナ

放送局を受信して最も受信状態の良い向きに伸ばし、テープなどで固定します。

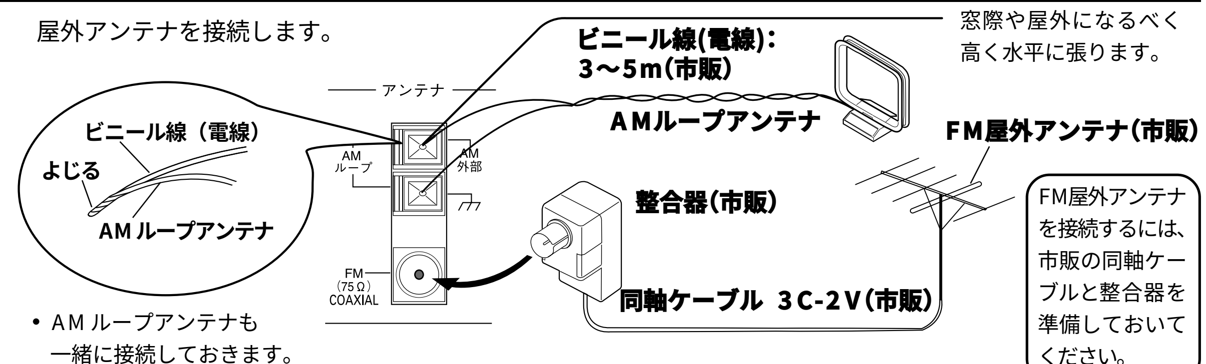


<お知らせ>

• AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

• 付属のアンテナでうまく受信できないとき
• マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

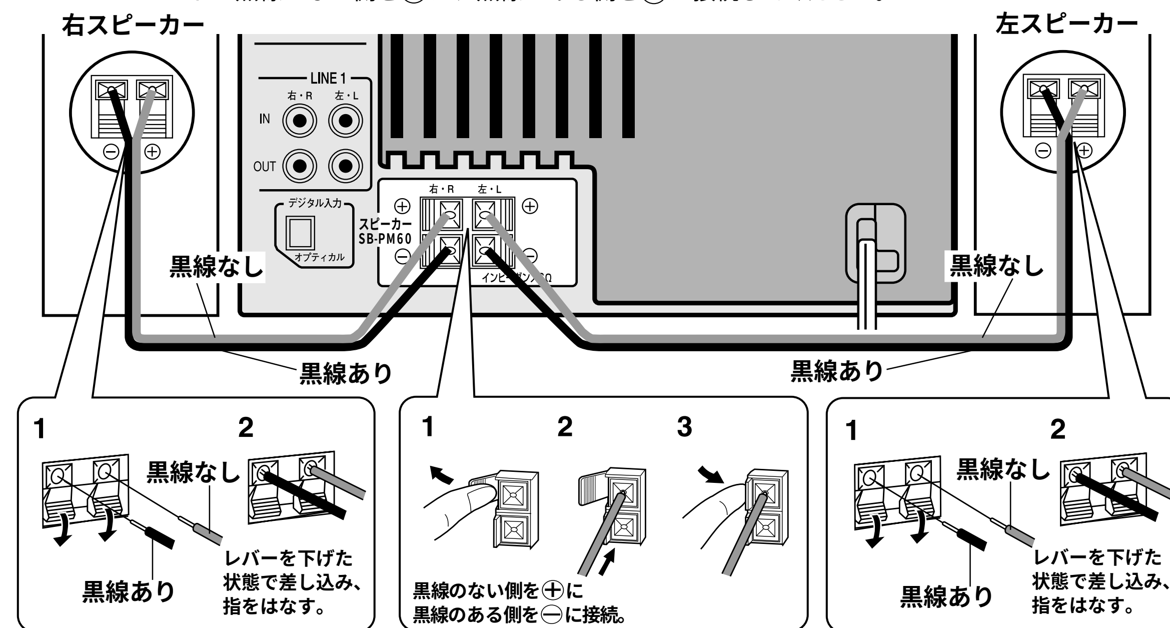
屋外アンテナを接続します。



• AM ループアンテナも一緒に接続しておきます。

スピーカーの接続

付属のスピーカーコードを使って接続します。
スピーカーコードの黒線のない側を⊕に、黒線のある側を⊖に接続してください。

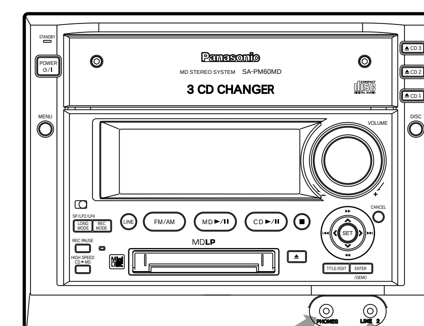


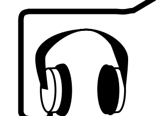
• スピーカーは、右・左とも同じ形です。どちらに置いてもかまいません。

お願い

• 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。

前面部での接続





ヘッドホンの接続

ミニプラグ付のヘッドホンを接続します。スピーカーの音が出なくなります。

ヘッドホン端子へ

ポータブル MD などの接続

LINE 2 端子（入力専用）には、ポータブル MD など出力レベルの低い機器が接続できます。
ポータブル MD を本機に接続してご使用になるときは、次のように行ってください。

1. **本機の電源を「切」にする**
   電源が「入」のときは POWER を押します。
2. **ポータブル MD を LINE 2 端子に接続する**
3. **「接続した機器の音を聞く」（➡ 50 ページ）の操作をしてポータブル MD からの音を聞く**
   本機のソース（音源）を「LINE 2」にしてから、ポータブル MD を演奏状態にします。
   ＊ポータブル MD との接続および操作については、ポータブル MD の取扱説明書をご覧ください。
4. **本機の表示窓に「Level OVER !」が表示されないようにポータブル MD の音量を調節する**

お願い

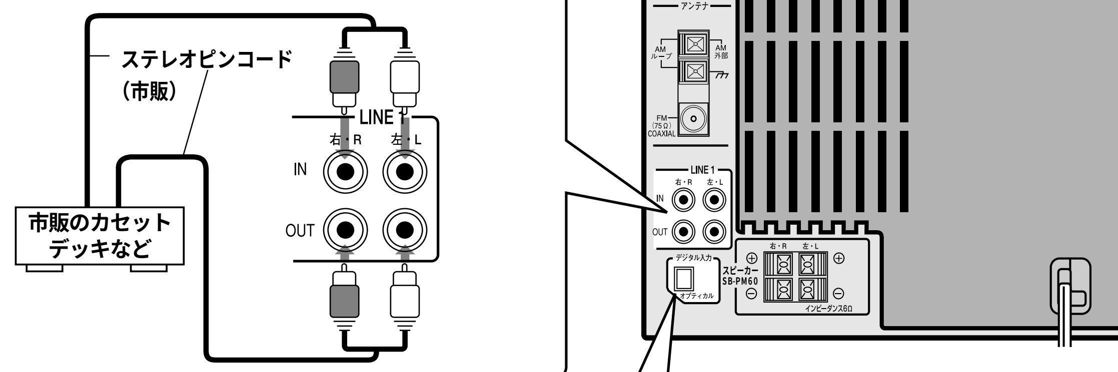
• 本機の電源を「入」にしたまま、ポータブル MD またはヘッドホンなどの抜き差しをすると、ノイズ（雑音）が発生してスピーカーを破損させたり、本機が誤動作することがあります。
• ポータブル MD の音を録音するときは、電池残量が十分あることを確認してから録音を開始してください。

接　続（つづき）

他の機器の接続（背面部での接続）

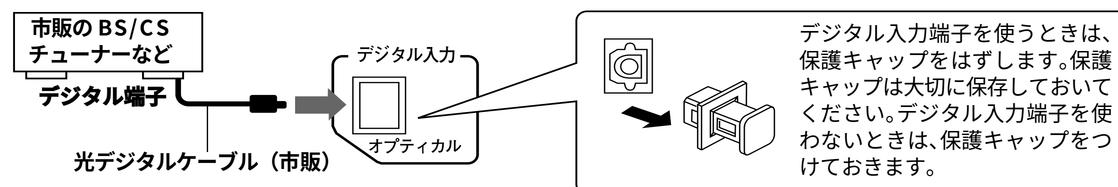
アナログ機器を接続する

アナログ機器は、LINE 1端子に接続します。



デジタル機器を接続する

デジタル機器を接続するときは、デジタル入力端子に接続します。

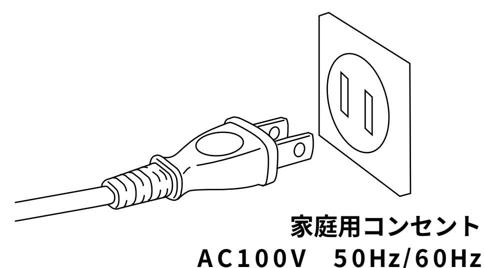


デジタル入力端子を使うときは、保護キャップをはずします。保護キャップは大切に保存しておいてください。デジタル入力端子を使わないときは、保護キャップをつけておきます。

電源プラグの接続

すべての接続が終わったら電源プラグを家庭用コンセント（AC 100V、50Hz/60Hz）に差し込みます。

電源プラグをコンセントに差し込むと、表示窓でデモ表示が始まります。（➡ 15 ページ参照）



家庭用コンセント
AC100V　50Hz/60Hz

長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。
POWER で電源を切った状態でも、以下の電力を消費しています。
- 表示窓「明」のとき：約 1.6 W
- 表示窓「暗」のとき：約 1.4 W

本機の各種メモリー（時計を除く）は、電源コードを抜いた状態で、約 1 週間保持されます。

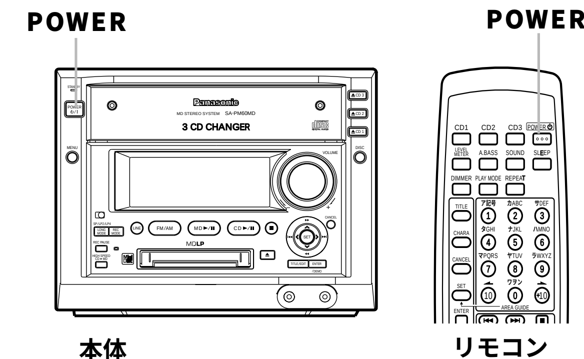
電源「入」／「切」について

電源を「入」にする

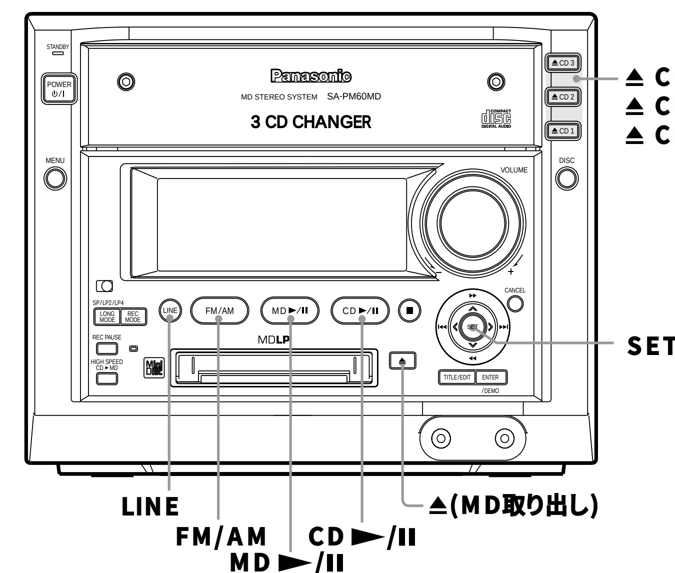
POWERボタンを押します。STANDBYランプが消灯し、「HELLO（ハロー）」がスクロール表示されます。

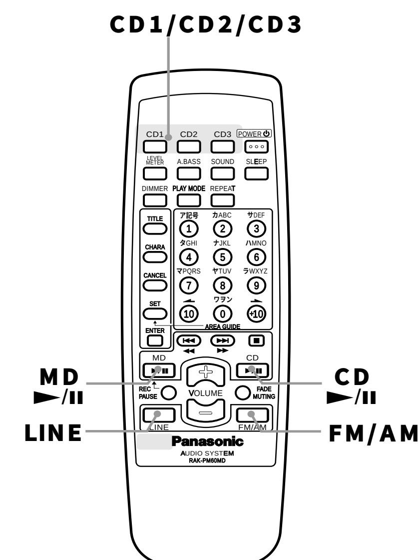
電源を「切」にする

POWERボタンを押します。STANDBYランプが点灯に変わり、「SEE（シー） YOU（ユー）」がスクロール表示されます。



次のボタンを押しても電源を「入」にできます。





LINE（本体・リモコン）
ソース（音源）がLINE 1、LINE 2 またはDIGITAL IN になります。

FM/AM（本体・リモコン）
ソース（音源）がラジオになり、前回聞いていた放送局を受信します。

MD ►/II（本体・リモコン）
ソース（音源）が MD になり、MD が入っているときは演奏が始まります。

CD ►/II（本体・リモコン）
ソース（音源）が CD になり、CD が入っているときは演奏が始まります。

▲（MD 取り出し）（本体）
MD が入っているときは、MD が取り出せます。

SET（本体）
電源を切る前に聞いていたソース（音源）が演奏になります。

▲CD1/▲CD2/▲CD3（本体）
押したCD 番号のCD トレイが出てきます。

CD1/CD2/CD3（リモコン）
ソース（音源）が CD になり、押したディスク番号の CD トレイに CD が入っているときは演奏が始まります。

本体で操作する前に

本体の操作では、MENU とジョイコントロールを使って多くの操作や設定ができます。
MENU を押すと「MENU」表示が表示されます。、「MENU」表示は、電源「入」／「切」のどちらでも表示されます。
ジョイコントロールは、上下左右に動かす操作と SET を押す操作の 5 つの操作があります。

「MENU」表示の見かた

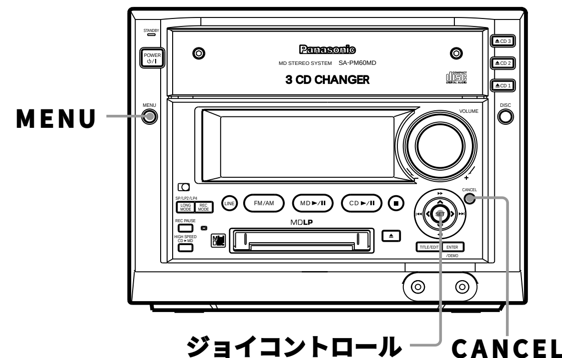
例：電源「切」のときで時計合わせをする前の「MENU」表示

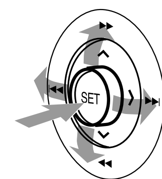
① この矢印は､「MENU」表示の下方向に、表示されていない項目があることを示しています。上方向と下方向に、表示されてない項目があるときは､上下の矢印が表示され､上方向にだけ表示されていない項目があるときは、上向きの矢印が表示されます。
② 選ばれている項目は、反転表示されます。
③「◀　　▶」で囲まれている項目は、ジョイコントロールを左右に動かして設定またはモードが選べることを示しています。

「MENU」表示の項目について

「MENU」表示内の項目は､選ばれているソース（音源）によって変わりますが、次のときも表示される項目が変わります。

- **電源「切」のときと「入」のとき**
  電源「切」のときだけ表示される項目と､「入」のときだけに表示される項目があります。
- **時計合わせをする前と、してあるとき**
  時計合わせをしていないと、タイマーの項目は表示されません。





ジョイコントロールの操作は、
上下左右に動かす操作
と
SET を押す操作があります。

「MENU」表示を使った基本的な操作方法

1. MENU を押して「MENU」表示を表示させる

2. ジョイコントロールを上下に動かして項目を選ぶ
項目によっては､ジョイコントロールを左右に動かしてモードの選択や設定ができます。

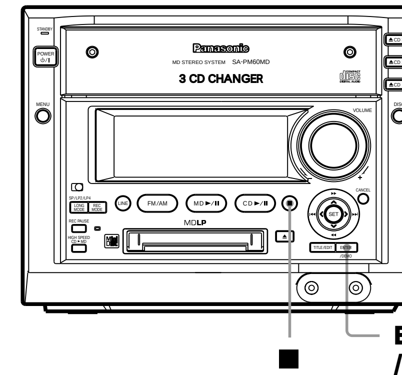
3. SET を押す
MENU を押す前の表示に戻ります。または、設定した機能の動作を始めます。

項目によっては、SET を押してからジョイコントロールを使った操作をすることもあります。

操作を途中で止めるときは､MENU または CANCEL を押します。
MENU を押す前の表示に戻ります。
ただし、プログラム演奏が停止中に CANCEL を押すと、プログラムした曲が削除されます。

詳しい操作方法は、各機能の説明をご覧ください。

デモ表示機能を解除するには



電源プラグをコンセントに差し込むと、表示窓の表示が自動的に点灯し、次々と変化するのをお楽しみいただけます。これをデモ（デモンストレーション）表示と呼びます。

デモ表示は次のようなときに表示されます。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだとき
- 電源を「切」にしてから 2 分を経過したとき
- 電源「入」のとき 2 分以上どのボタンも操作しないとき

デモ表示の一時的解除

電源が「切」のとき：
電源を「入」にすると一時的に解除されます。
電源が「入」のとき：
どの操作ボタンを押しても一時的に解除されます。

デモ表示の解除

電源「入」または「切」のときデモ表示を表示させないときは、デモ表示中に ENTER/DEMO を押します。「DEMO OFF !」が表示され､デモ表示が解除されます。ただし、電源プラグの抜き差しをすると再びデモ表示が表示されるようになります。電源プラグの抜き差しをしてもデモ表示を表示させないようにするには、次の操作を行ってください。

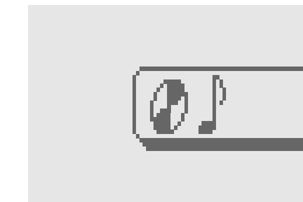
1 電源プラグをコンセントから抜く
2 ■とENTER/DEMO を押したまま電源プラグをコンセントに差し込む
「MODE BACK UP」が表示されます。
3 ENTER/DEMO を押す
「DEMO OFF ! 」が表示されます。

- この設定を解除するには、上記の手順 1・2 の操作をします。「MODE CLEAR ! 」が表示されます。
  電源プラグの抜き差しをするたびに、デモ表示が表示されるようになります。

パノラマ表示

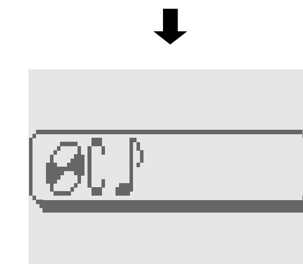
リモコンのボタンを押すと表示窓の表示が大きくなるパノラマ表示が表示されます。パノラマ表示が完了すると通常表示になります。

例：CD が停止中に CD ►/❚❚ を押したとき



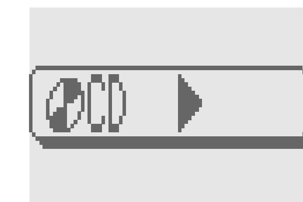
右からスクロール表示されます。

⬇



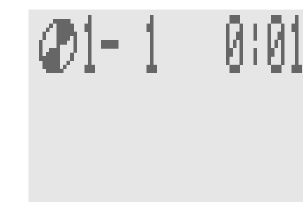
音符が左から右へ移動します。

⬇



パノラマ表示が完了します。

⬇

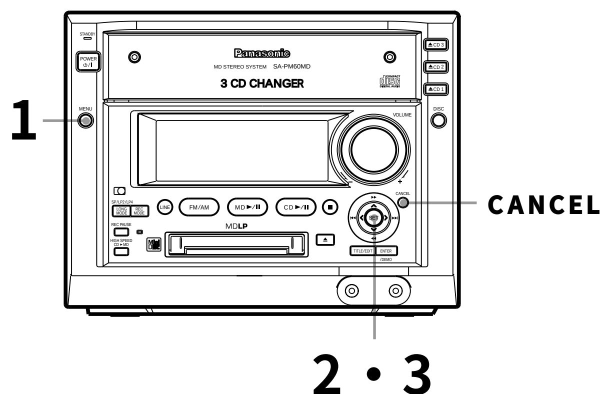


通常表示になります。

- 本体の MENU、LINE、FM/AM、MD►/❚❚、CD►/❚❚、TITLE/EDITボタンを押したときも､パノラマ表示が表示されます。

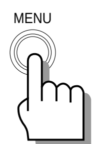
時計を合わせる

本機には24時間表示の時計機能がついています。本機の操作をする前に時計を現在時刻に正しく合わせてください。タイマー機能が利用できるようになります。
時計は電源が「入」／「切」のどちらでも合わせることができます。
時計を合わせていないときは、表示窓の🕘表示 が点滅しています。



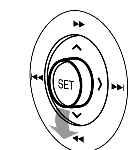
1　MENUを押す

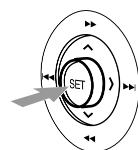
「MENU」表示が表示されます。

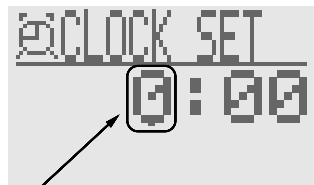


＜電源「切」時の「MENU」表示＞

2　ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「CLOCK SET」を選んでから、SETを押す

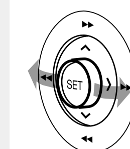




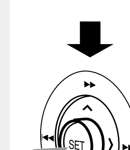


「時」表示点滅

3　時刻を設定する



① ジョイコントロールを左右に動かして「時」を合わせてから、SETを押す



② ジョイコントロールを左右に動かして「分」を合わせてから、SETを押す

「ADJUST OK!」が表示されます。
電源が「切」のときは現在時刻の表示になります。
電源が「入」のときは時計を設定する前の表示に戻ります。

- ジョイコントロールを左または右に押し続けると、連続して時刻が変わります。
- 「分」を設定しているとき、CANCELを押すと「時」表示の点滅に戻せます。

時計を正確に合わせるには

「分」を合わせてから、テレビ、ラジオの時報や、117の時報に合わせてSETを押すと正確に合わせることができます。
設定した時刻の0秒から時計が動き始めます。

時刻を設定すると

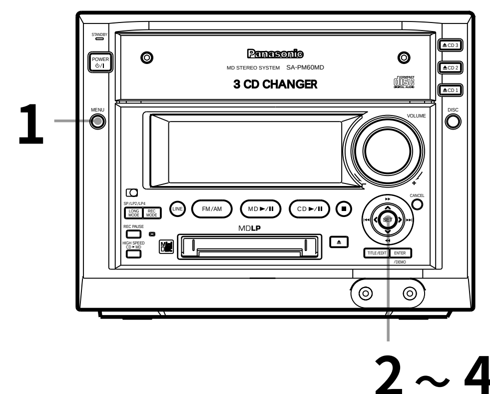
- 時刻を設定すると、RECタイマー、DAILYタイマーおよびSLEEPタイマーが利用できるようになります。時刻が設定されていないときは、各タイマーの設定はできません。
- 一度時刻を設定すると、手順**2**の「MENU」表示に「CLOCK SET」は表示されません。設定した時刻を修正するときは、「時計を修正する」（➡ 17 ページ）をご覧ください。

お願い

- 本機は、必ず時計合わせを完了してから、他の操作を行ってください。
- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じます。タイマーを使用するときは、事前に時刻を合わせ直してください。
- 停電や電源コードを抜いて電源が切れたときは、🕘表示の点滅に戻ります。もう一度時計を正しい時刻に合わせてください。

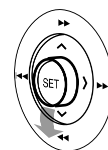
時計を修正する

一度合わせた時計を修正することができます。



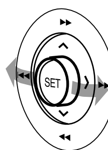
1　MENUを押す

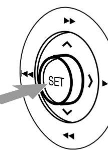
2　ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「REC ON/OFF」を選ぶ



＜電源「入」時でソース（音源）がCDのときの表示＞

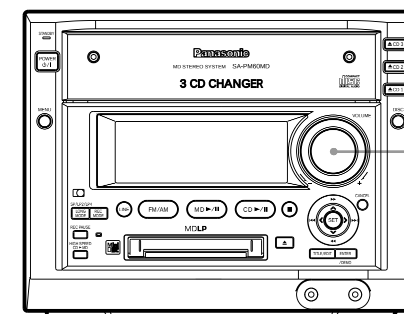
3　ジョイコントロールを左右に動かして「CLOCK SET」を選んでから、SETを押す

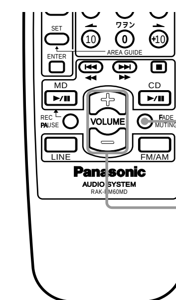




4　「時計を合わせる」（➡ 16 ページ）の手順3の操作をして、時刻を修正する

音量を変える





音量を調節する

音量は0～50まで調節できます。

本体　：VOLUMEを回します。
素早く回すと音量レベルが素早く変わり、ゆっくり回すとゆっくり変わります。

リモコン：VOLUME ＋、−を押します。

お願い

- 電源を入れたとき、いきなり大きな音が出るのを避けるため、電源を「切」にする前に音量を絞っておいてください。電源が「切」のときは、音量を調節することができません。

一時的に消音する（電話がかかってきたときなど）

リモコンのFADE MUTINGを押します。

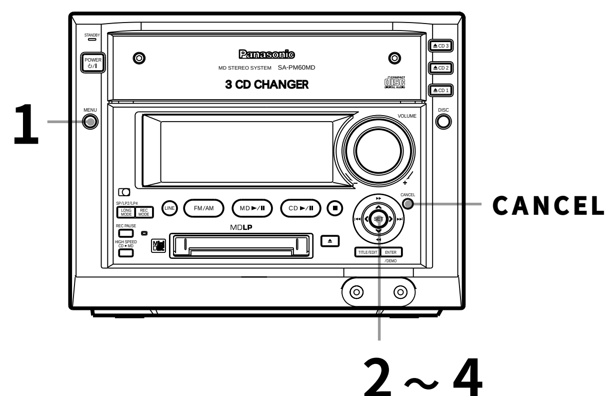
もう一度押すと聞いていた音量に戻ります。

レベルメーター表示を選ぶ

本機からの出力信号のレベルを表示するレベルメーター表示が選べます。
本体を使った選びかたとリモコンを使った選びかたがあります。

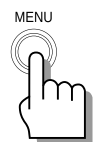
本体を使ってレベルメーター表示を選ぶ

電源が「入」／「切」のどちらでも操作できます。



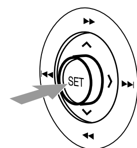
1 MENU を押す

「MENU」表示になり、「LEVEL METER」が反転表示されます。



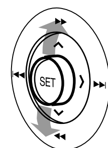
＜電源「入」時でソース（音源）が CD で停止状態のときの表示＞

2 SET を押す

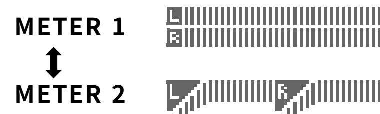


• 選ばれているレベルメーター名が、反転表示されます。

3 ジョイコントロールを上下に動かしてお好みのレベルメーター名を選ぶ

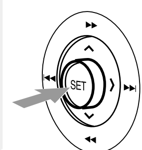


上下に動かすごとに次のように変わります。



4 SET を押す

選んだレベルメーター表示になります。

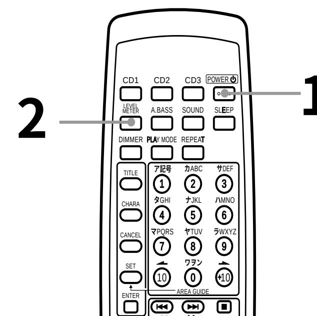


• 電源が「入」のときは、選んだレベルメーター表示が表示されます。
• 電源が「切」のときは、時計が表示されます。

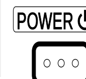
操作を途中で止めるときは CANCEL を押します。 操作する前の表示に戻ります。

リモコンを使ってレベルメーター表示を選ぶ

電源が「入」のときに操作します。



1 POWERを押して電源を「入」にする



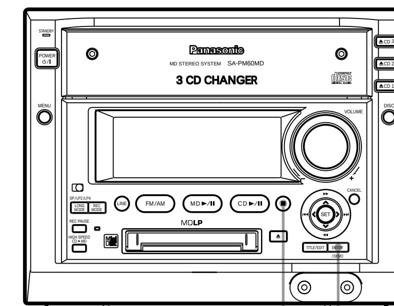
2 LEVEL METER を押してお好みのレベルメーター表示を選ぶ

ボタンを押すごとに次のように変わります。

お好みのレベルメーター名を選ぶと、約2秒後に選んだレベルメーター表示が表示されます。

お知らせ

• 通常、電源プラグをコンセントから抜き差しすると、自動的にレベルメーター表示は「METER 1」になります。下記の操作をしておくと、設定したレベルメーター表示が保持され、電源プラグを抜き差しするごとに設定する必要がなくなります。



1 電源プラグをコンセントから抜く
2 ■とENTER/DEMOを押したまま電源プラグをコンセントに差し込む
「MODE BACK UP」が表示されます。
3 レベルメーター表示を選ぶ
➡ 左記の操作をしてください。

• この設定を解除するには、上記の手順 1・2 の操作をします。「MODE CLEAR !」が表示されます。
電源プラグの抜き差しをするたびに、レベルメーター表示が「METER 1」で表示されるようになります。

表示窓の設定

レベルメーター表示と表示窓の色の関係

お買い上げ時には、「METER 1」には青色が、「METER 2」には白色が、表示窓の色としてプリセットされています。レベルメーター表示を選ぶと、表示窓と VOLUME リングの色もそれぞれのレベルメーター表示にプリセットされている色に変わります。プリセット以外の色とレベルメーター表示を組み合わせることもできます。

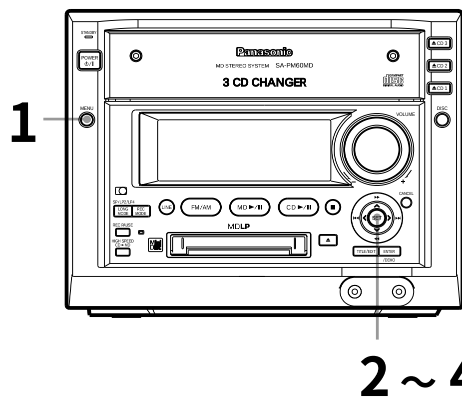
プリセット以外の色とレベルメーター表示を組み合わせるときは、レベルメーター表示を選んでから表示窓の色を変えてください。

表示窓の色を選んでからレベルメーター表示を選ぶと、レベルメーター表示にプリセットされている色（またはそのレベルメーター表示のときに選ばれた色*）に変わります。
表示窓の色の選びかたは、「表示窓の色を選ぶ」（➡ 20ページ）をご覧ください。

*レベルメーター表示を選んでから表示窓の色を選ぶと、選んだ色がレベルメーター表示の色としてメモリーされます。

表示窓の色を選ぶ

表示窓の色を選んで、メモリーすることができます。
電源が「入」／「切」のどちらでも操作できます。

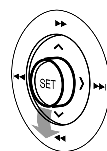


1 MENU を押す

「MENU」表示が表示されます。

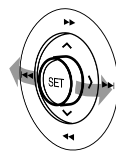
＜電源「入」時でソース（音源）が CD で停止状態のときの表示＞

2 ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「COLOR」を選ぶ



• すでに色が選ばれているときは、「Pre set」の代わりに選ばれている色が表示されます。

3 ジョイコントロールを左右に動かしてお好みのカラーモードを選ぶ



表示窓と VOLUME リングの色が選ばれた色に変わります。
ジョイコントロールを左右に動かすと次のようにカラーモードが変わります。

Pre set（レベルメーターごとにプリセットされている色）
↕
Blue（青）
↕
White（白）
↕
Purple（紫）
↕
Orange（オレンジ）
↕
L. Blue（水色）
↕
Yellow（黄）
↕
Green（緑）
↕
Pink（ピンク）
↕
Random（ランダム：音声に応じて無作為な順番に色が変わるモード）
↕
Manual 1（メモリーした色：➡ 21 ページ参照）
↕
Manual 2（メモリーした色：➡ 21 ページ参照）
↕
Set up（Manual 1またはManual 2にお好みの色をメモリーするときに選ぶ：➡ 21 ページ参照）

- 選んだ色は、レベルメーターごとにメモリーされます。
- レベルメーターごとにプリセットされている色に戻すときは、「Pre set」を選びます。

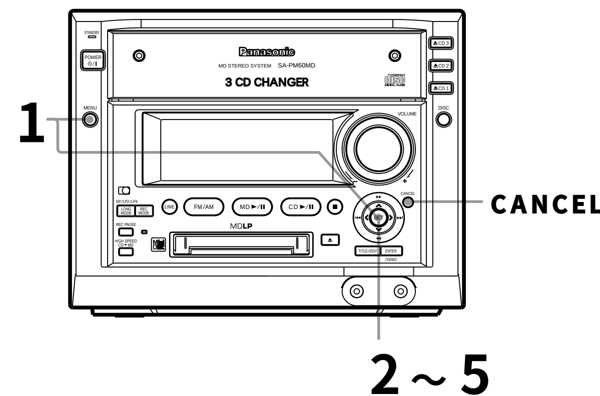
4 SET を押す

お知らせ

• 手順 **4** で SET を押さずに他の操作で「MENU」表示を他の表示に変えたときは、表示窓の色は手順 **3** で選んだ色になります。

お好みの色をメモリーする

お好みの色を 24 色の中から選んで、「Manual 1」または「Manual 2」にメモリーすることができます。
電源が「入」／「切」のどちらでも操作できます。



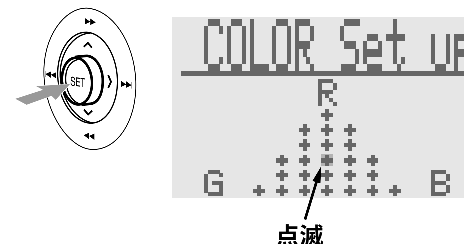
1 20 ページの手順１～3の操作をして「Set up」を選ぶ

＜電源「入」時でソース（音源）が CD で停止状態のときの表示＞

- 表示窓の色が白くなります。

2 SET を押す

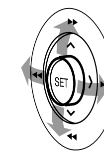
「COLOR Set up」が表示されます。



- 真ん中の「+」マークが点滅します。

3 ジョイコントロールを上下左右に動かしてお好みの色を選ぶ

例：薄い黄色を選んだとき

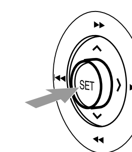


点滅

「+」マークの点滅を移動してお好みの色を選びます。「+」マークの点滅が移動すると、表示窓と VOLUMEリングの色が選ばれた色に変わります。

- 色は24色（「+」マークの数）の中から選べます。「R」、「G」、「B」は光の三原色（赤：Red、緑：Green、青：Blue）を表します。
「R」、「G」、「B」に一番近い「+」マークがそれぞれ赤、緑、青色になり、真ん中が白になります。

4 SET を押す



- CANCEL を押すと手順 **3** に戻ります。

5 ジョイコントロールを上下に動かしてメモリーする側（Manual 1 または Manual 2）を選んでから、SET を押す

カラーモードはメモリーした側（Manual 1 または Manual 2）が選ばれます。

お知らせ

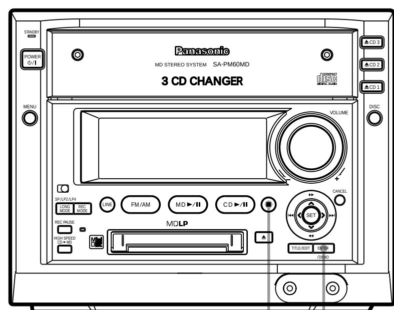
• 「Manual 1」または「Manual 2」の色を変えるときは、もう一度手順 **1** から操作して新たな色を設定します。
• 手順 **3** でジョイコントロールを動かさずに CANCEL を押すと、表示窓の色は白になります。

22 ページへ続く

表示窓の色を選ぶ（つづき）

お知らせ

- 通常、電源プラグをコンセントから抜き差しすると、自動的に表示窓のカラーモードは「Pre set」になります。下記の操作をしておくと、設定した表示窓の色が保持され、電源プラグを抜き差しするごとに設定する必要がなくなります。



1 **電源プラグをコンセントから抜く**
2 **■とENTER/DEMOを押したまま電源プラグをコンセントに差し込む**
「MODE BACK UP」が表示されます。
3 **表示窓の色を選ぶ**
➡ 20 ページをご覧ください。

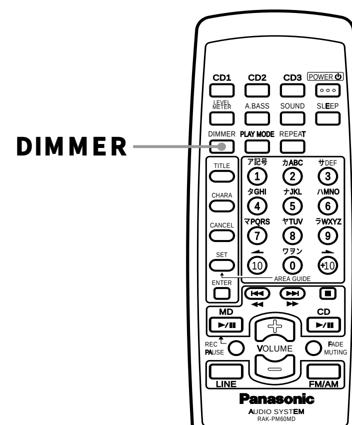
- この設定を解除するには、上記の手順 1・2 の操作をします。「MODE CLEAR！」が表示されます。表示窓のカラーモードは「Pre set」になります。

お願い

- 本機が表示窓に表示する色（青・白・紫・オレンジ・水色・黄・緑・ピンク・あなたが設定した色）は、厳密には色再現性はありません。本機の使用環境（室内温度など）や長期間の使用による変化や発光素子のバラツキなどで、色あいが変わることがあります。
- 表示窓の色を変えると表示が前後するように見えますが、これは、本機の表示窓の特性で故障ではありません。
- 表示窓に強い光が当たると、表示が見えにくくなりますが、故障ではありません。

表示窓の明るさを変える

リモコンを使って操作します。



DIMMER を押す

ボタンを押すごとに次のように変わります。

電源「切」のとき： 表示窓が少し明るくなり、時計表示が見やすくなる
⬍
表示窓が暗くなる
（お買い上げ時の設定）

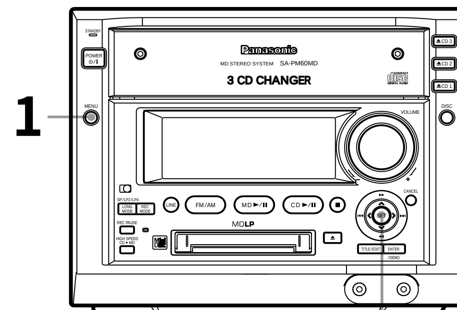
電源「入」のとき： 表示窓が少し暗くなる
⬍
表示窓が明るくなる
（お買い上げ時の設定）

お知らせ

- デモ表示とパノラマ表示（➡ 15 ページ参照）は、常に明るく表示されます。

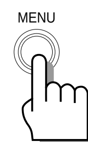
表示窓の見えかたを反転させる

お買い上げ時は、文字やレベルメーター表示以外の部分に色が付いている「Posi（ポジ）」モードに設定されています。
電源が「入」／「切」のどちらでも操作できます。



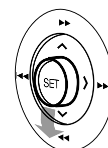
1 MENU を押す

「MENU」表示が表示されます。



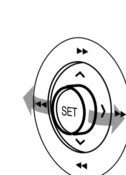
＜電源「入」時でソース（音源）が CD で停止状態のときの表示＞

2 ジョイコントロールを下（∨ 側）に動かして「DISP」を選ぶ



3 ジョイコントロールを左右に動かして「Nega」または「Posi」を選ぶ

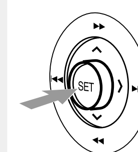
ジョイコントロールを左右に動かすごとに、表示窓の表示も「Nega」⟷「Posi」表示に切り換わります。



Nega（ネガ）： 文字やレベルメーター表示の部分に色が付きます。

Posi（ポジ）： 文字やレベルメーター表示以外の部分に色が付きます。

4 SET を押す



電源「入」のときは、設定したモード（「Nega」または「Posi」）でMENUを押す前の表示に戻ります。
電源「切」のときは、時計が表示されます。

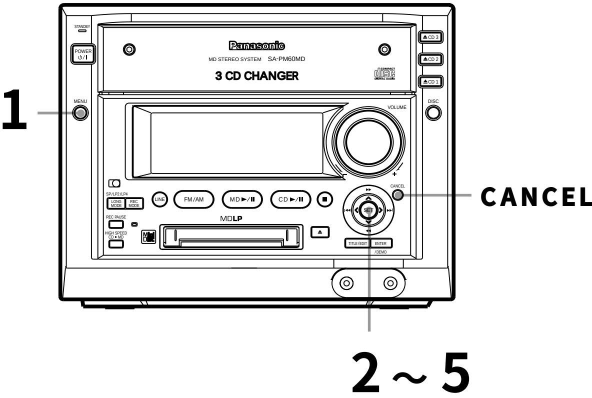
お知らせ

- 手順 **4** で SET を押さずに他の操作で「MENU」表示を他の表示に変えたときは、表示窓の見えかたは手順 **3** で選んだ見えかたになります。

表示窓の設定

表示窓のコントラストを変える

表示窓全体のコントラストを調節することができます。
電源が「入」のときに操作します。



1 MENU を押す

「MENU」表示が表示されます。

＜ソース（音源）がCDで停止状態のときの表示＞

2 ジョイコントロールを下（﹀側）に動かして「CONTRAST ADJ.」を選ぶ

3 SET を押す

「CONTRAST ADJ.」が表示されます。

お買い上げ時の状態

4 ジョイコントロールを上下に動かしてコントラストを調節する

上（︿側）へ動かすと表示窓の表示が濃くなります。
下（﹀側）へ動かすと表示窓の表示が薄くなります。
• ＋25～＋64の範囲で調節できます。

5 SET を押す

表示窓のコントラストが決定します。

操作を途中で止めるときはCANCELを押します。
操作する前の表示に戻ります。

お願い
• 「CONTRAST ADJ.」は手順**3**でSETを押してから1分間表示されます。表示されてから1分の間に手順**5**まで操作してください。
手順**5**のSETを押す前に表示が戻ると、コントラストの調節が無効になります。もう一度手順**1**から操作し直してください。

低音を強調する

本体を使った操作

電源「入」のときに操作します。

1 MENU を押す

「MENU」表示が表示されます。

＜ソース（音源）がCDで演奏状態のときの表示＞

2 ジョイコントロールを下（﹀方向）に動かして「A. BASS」を選ぶ

3 ジョイコントロールを左右に動かして「ON」または「OFF」を選ぶ

「ON」を選ぶと低音が強調されます。
「OFF」を選ぶとお買い上げ時の状態に戻ります。

4 SET を押す

• 「ON」を選ぶと、表示窓の「A.BASS」表示が点灯します。

お知らせ
• 手順**4**でSETを押さずに他の操作で「MENU」表示を他の表示に変えても、手順**3**で選んだ設定になります。

リモコンを使った操作

A. BASS を押す

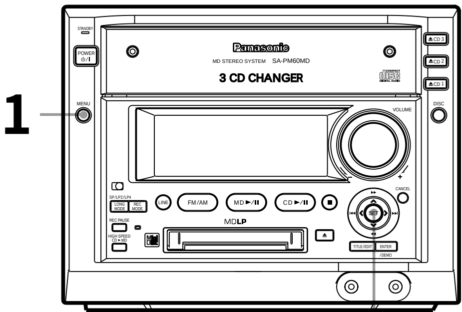
ボタンを押すごとに「ON」または「OFF」に切り換わります。

サウンドモードを変える

お好みのサウンドモードを選ぶことができます。
サウンドモードには、演奏会場の臨場感ある雰囲気を生み出すサラウンド効果のあるモードと、低音部から高音部までの周波数域を増減して音質だけを調節したサラウンド効果のないモードがあります。

本体を使った操作

電源「入」のときに操作します。

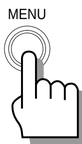


1

2～4

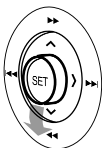
1 MENU を押す

「MENU」表示が表示されます。

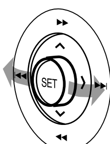


<ソース（音源）が CD で演奏状態のときの表示>

2 ジョイコントロールを下（﹀側）に動かして「SOUND」を選ぶ



3 ジョイコントロールを左右に動かしてサウンドモードを選ぶ

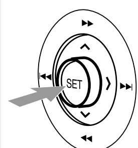


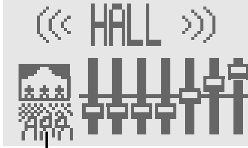
ジョイコントロールを左右に動かすと次のようにモードが変わります。

• サウンドモードに「FLAT」以外を選ぶと表示窓の「SOUND」表示が点灯し、「FLAT」を選ぶと消灯しサウンドモードが解除されます。

4 SET を押す

サウンドモードのパターンが数秒間表示されます。

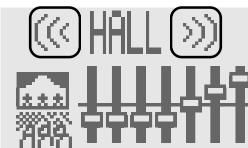




それぞれのサウンドモードをイメージしたアニメーションが表示されます。

サウンドモードのパターン表示について

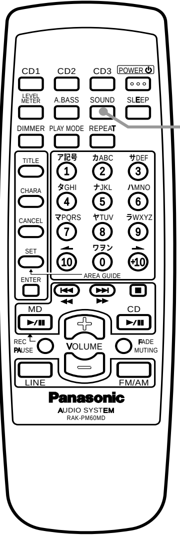
サラウンド効果のあるサウンドモードのパターンにはサラウンド効果を示す表示があります。



お知らせ

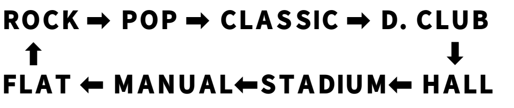
• 手順 **4** で SET を押さずに他の操作で「MENU」表示を他の表示に変えても、手順 **3** で選んだサウンドモードになります。
• 「MANUAL」にはお好みの音質を登録することができます。登録のしかたは 28ページの「お好みの音質を登録する」をご覧ください。
• サウンドモード効果の音は、スピーカーやヘッドホンに効きます。録音される音には効きません。

リモコンを使った操作



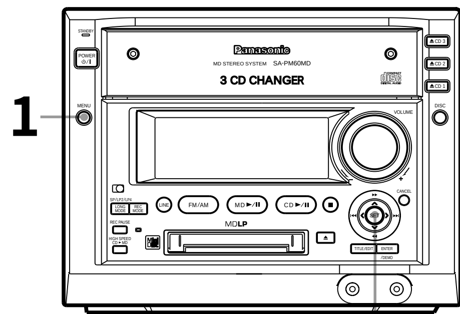
SOUND を押してサウンドモードを選ぶ

1 回押すと現在選ばれているサウンドモードが表示されます。
さらにボタンを押すごとに次のように変わり、サウンドモードのパターンが数秒間表示されます。



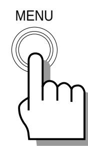
お好みの音質を登録する

サウンドモードの「MANUAL」にお好みの音質を登録することができます。



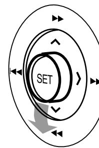
1　MENU を押す

「MENU」表示が表示されます。

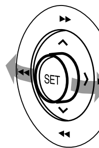


<ソース（音源）が CD で演奏状態のときの表示>

2　ジョイコントロールを下（﹀側）に動かして「SOUND」を選ぶ

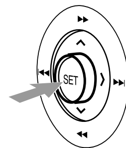


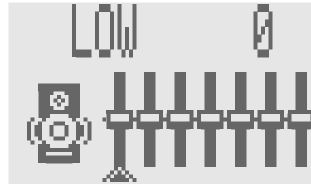
3　ジョイコントロールを左右に動かして「SET UP」を選ぶ



4　SET を押す

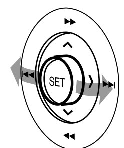
「LOW」が表示されます。



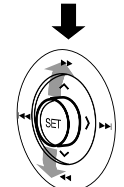


5　お好みの音質を登録する

ジョイコントロールを左右に動かして調節するレンジを選び、上下に動かしてレベルを調節します。



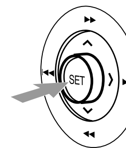
① **レンジを選ぶ**
- **LOW ⟷ MID ⟷ HIGH（低音）（中音）（高音）**
の 3 つから選べます。



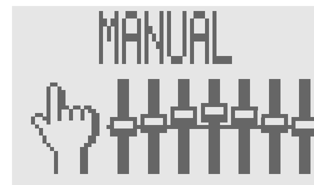
② **レベルを調節する**
- －3～＋3 まで 7 段階に調節できます。

例：MID（中音）を＋1 にしたとき

6　SET を押す



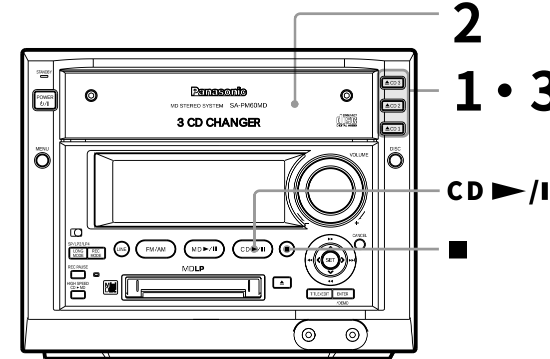
「MANUAL」が数秒間表示されてから操作する前の表示に戻ります。
サウンドモードは「MANUAL」が選ばれています。



お知らせ
- 手順 **6** で SET を押さないときは、約 10 秒でサウンドモードが終了し、手順**5**で選ばれた音質が登録されます。

CD を入れる

本機は、3 枚の CD を収納できるチェンジャータイプの CD プレーヤーです。電源を入れてから操作します。



CD についているマークを確認して

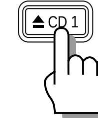
文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っている、JIS 規格に合った CD をお使いください。

お知らせ
- 本機では、CD-R と CD-RW は再生できません。

1　CD を入れる CD 番号の ▲ を押す

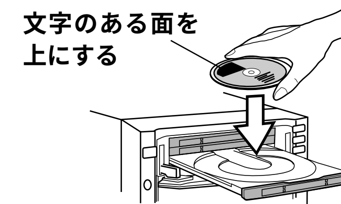
指定した CD トレイが出てきます。
ソース（音源）が CD のときは、表示窓に「OPEN」が表示されます。
ソース（音源）を CD にするには、CD ►/II を押してから■を押します。

例：▲CD 1 を押したとき



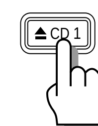
2　文字のある面を上にして CD を置く

- 8センチCDは、CDトレイ内の凹部に置きます。



3　手順 1 と同じ ▲ を押す

表示窓に「CLOSE」が表示されます。



表示窓の CD 表示

選ばれている（または演奏中）CD の番号のところに表示されます。

3 2 1 CD

CD トレイを出すと点灯し、CD が入っていないことが確認されると消灯します。演奏中または一時停止中は点滅します。

ソース（音源）が CD のときに点灯します。

CD を続けて入れる

CD を続けて入れるときは、次に入れる CD 番号の ▲ を押します。前の CD トレイが戻ってから、▲ を押した CD 番号のトレイが出てきます。
CD を入れるときは、一枚ずつ入れてください。

表示窓について

ソース（音源）が CD のとき、表示窓の CD 表示に「►」が点灯している番号の CD トレイに CD を入れてしめると、次のように表示が変わります。

例：CD1 のとき

CD 読み込み中： 1- 1 --:--

曲数とトータル時間表示： 1-17 1:04:21

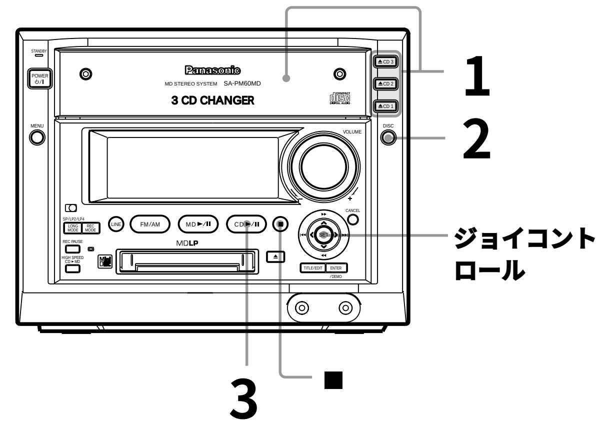
お願い
- ハートや花などの形をしたシェイプ CD（特殊形状の CD）は、CD トレイと形状が合わないため、故障の原因となります。絶対に使用しないでください。
- CDにセロハンテープが張ってあったり、レンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとのある CD は使用しないでください。そのまま CD プレーヤーに入れると、CD が取り出せなくなるなど故障の原因となります。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わないでください。
- CD にテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
- CD は曲げないでください。

CDを聞く

CD の連続演奏（基本操作）

3 枚の CD を連続演奏することができます。

本体を使った操作



1 CD1 ～ 3 に CD を入れる

「CD を入れる」（➡ 29 ページ参照）

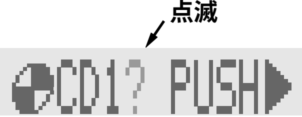
2 DISC を押して演奏する CD を選ぶ

ボタンを押すごとに次のように変わります。

- ソース（音源）が CD 以外のときに DISC を押すと、次のように表示されます。

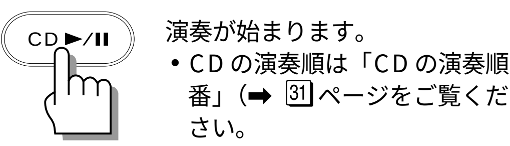
例：CD1 を選んだとき

点滅



表示されている間に手順 **3** の操作をします。

3 CD ►/II を押す



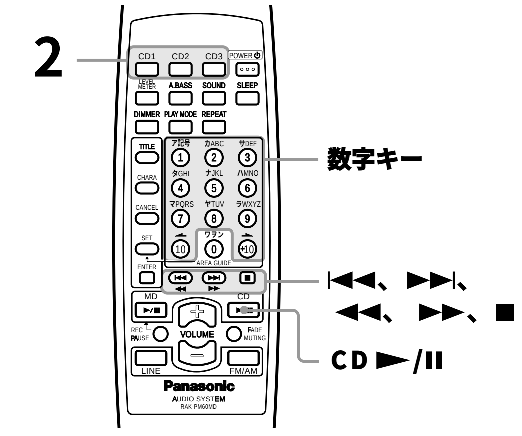
演奏が始まります。

- CD の演奏順は「CD の演奏順番」（➡ 31 ページをご覧ください。

お知らせ

- 手順 **2** の DISC を押さずに CD ►/II を押すと CD 表示の「►」が表示されている CD から演奏を始めます。
- 演奏中に DISC を押すと、選ばれた CD が自動的に演奏されます。

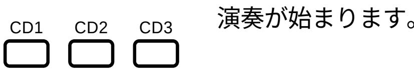
リモコンを使った操作



1 CD1 ～ 3 に CD を入れる

「CD を入れる」（➡ 29 ページ参照）

2 演奏する CD の CD1 ～ CD3 のいずれかを押す



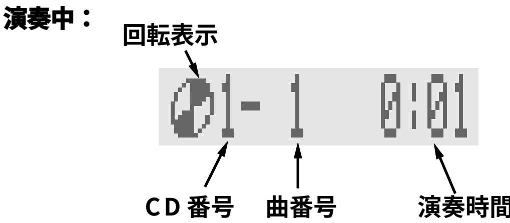
演奏が始まります。

お知らせ

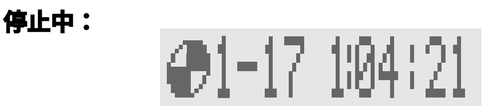
- CD1～CD3 の代わりに CD ►/II を押すと CD 表示に「►」が点灯している CD から演奏を始めます。

表示窓について

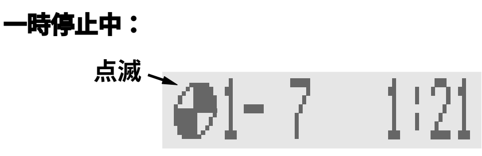
演奏中：



停止中：

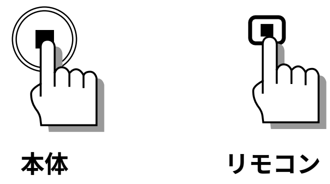


一時停止中：



CD を停止する

途中で CD の演奏を停止するときは、■を押します。



本体　　リモコン

CD の演奏順番

CDがすべて入っているときの演奏順番は次のようになります。

CD1 から演奏を始めると、CD 1→CD 2→CD 3 の順に演奏され、CD 3 の演奏が終了すると自動停止します。
CD2 から演奏を始めると、CD 2→CD 3→CD 1 の順に演奏され、CD 1 の演奏が終了すると自動停止します。
CD3 から演奏を始めると、CD 3→CD 1→CD 2 の順に演奏され、CD 2 の演奏が終了すると自動停止します。

CD が 2 枚入っているときは、CD の入っていないトレイを飛ばして演奏され、自動停止します。

CD を取り出す

取り出したいCDが入っているトレイの▲を押します。

演奏を一時停止するとき

演奏中に CD ►/II（本体またはリモコン）を押します。
もう一度押すと、一時停止したところから演奏が始まります。

曲をダイレクトに演奏する（ダイレクト演奏）

リモコンの数字キーを使います。

1 ～ 10 曲目を指定するとき：
1 ～ 10 キーのいずれかを押す。

11 曲以上を指定するとき：
＋ 10 キーを先に押してから、
1 ～ 10 キーのいずれかを押す。

例：15 曲目
+10 ➡ 5 と押す

例：20 曲目
+10 ➡ 10 と押す

例：25 曲目
+10 ➡ +10 ➡ 5 と押す

曲を前後にとび越す（スキップ）

本体：

ジョイコントロールを左右に動かします。押し続けると連続して変化します。

- 停止中に動かすと曲ごとの演奏時間が表示されます。1 曲の演奏時間を調べるときに便利です。

お知らせ

- 曲の演奏時間表示ができるのは、31 曲目までです。32 曲目以降の演奏時間表示は、「－－：－－」になります。

リモコン：

リモコンの▶▶|または|◀◀を押します。押すごとに1曲ずつ変化します。停止中に押し続けると連続して変化します。

早送り／早戻しする（サーチ）

本体：

演奏中にジョイコントロールを上側（▶▶：早送り）または下側（◀◀：早戻し）に押し続けます。

リモコン：

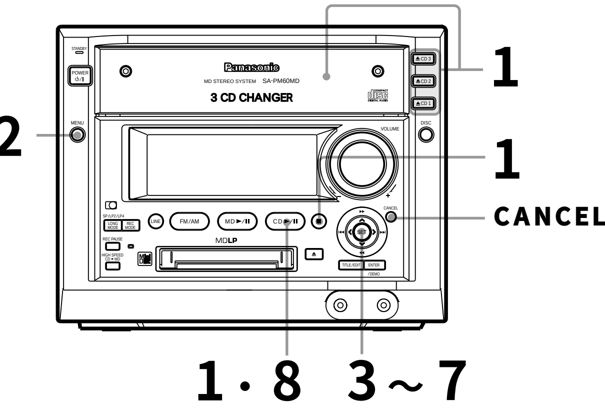
演奏中に ▶▶（早送り）または ◀◀（早戻し）を押し続けます。

演奏中に他の CD に交換する

演奏していない CD 番号の ▲ を押して、CD を交換します。CD の演奏順に、最後に交換した CD の演奏が終了すると自動停止します。

CD のプログラム演奏（本体）

3 枚の CD からお好きな曲をお好きな順番で聞くことができます。
ソース（音源）を CD にして停止中に操作します。



1　CD を入れる（➡ 29 ページ参照）

- ソース（音源）が CD になっていないときは、CD ►/❚❚ を押してから ■ を押します。

2　MENU を押す

MENU

「MENU」表示が表示されます。

3　ジョイコントロールを下（∨ 側）に動かして「CD」を選ぶ

MENU
LEVEL METER
◄COLOR►Pre set
◄CD►CONTINUE
◄CD REPEAT►OFF

- ソース（音源）が CD で停止状態のときだけ「◄ CD ►」が表示されます。

4　ジョイコントロールを左右に動かして「PROGRAM」を選ぶ

MENU
LEVEL METER
◄COLOR►Pre set
◄CD►PROGRAM
◄CD REPEAT►OFF

5　SET を押す

CD PROGRAM
↑,↓ DISC No.
←,→ TRACK No.

- すでにプログラムされているときは最後のプログラム内容が表示されます。

6　曲を指定する

① **ジョイコントロールを上下に動かしてプログラムしたい曲の CD を指定する**
CD 番号と曲番号が点滅表示されます。

例：CD1 を指定したとき
CD 番号　曲番号

1- 1
STEP 0
↑,↓ DISC No.
←,→ TRACK No.

② **ジョイコントロールを左右に動かして曲を指定してから SET を押す**

例：4 曲目を指定したとき
点滅

1- 4
STEP 0
↑,↓ DISC No.
←,→ TRACK No.

プログラム番号（STEP）

1- 4
STEP 1
↑,↓ DISC No.
←,→ TRACK No.

お知らせ

- 手順 **6** で SET を押す前に、操作をしない状態が約 4 秒続くと手順 **5** の表示に戻ります。それまでに手順 **6** で曲を指定していてもプログラムされていません。曲をプログラムするためには、手順 **6** の操作を再度行ってください。

7　手順 6 をくり返して曲を指定していく

- 同じ CD の違う曲を続けてプログラムするときは、曲番号だけを指定してから SET を押します。
- 最大 32 曲までプログラムできます。
33曲目を指定すると「CD PROGRAM FULL」が表示されます。

CD PROGRAM
FULL

プログラムが終了したら

8　CD ►/❚❚ を押す

プログラム演奏が始まります。

CD ►/❚❚

1- 4　0:04
STEP 1

- プログラムした全曲の演奏が終了すると自動停止します。

プログラム演奏を途中で止める

■ を押します。
演奏が停止し、最後のプログラム内容が表示されます。

曲順の確認

リモコンを使って曲順を確認することができます。
CD が停止中に ►►❚（次の曲）または ❚◄◄（前の曲）を押します。

プログラムした曲をくり返し聞く

プログラム演奏とリピート演奏を組み合わせると、プログラムした曲をくり返し聞くことができます。
リピート演奏 ➡ 35 ページ参照

プログラムを間違えたときは（削除）

CD が停止中に CANCEL（本体またはリモコン）を押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。そのあとプログラムをし直します。

CANCEL　本体
CANCEL　リモコン

プログラム内容をすべて削除するには

CANCEL

CDが停止中に本体のCANCELを「CD PROGRAM ALL CLEAR」が表示されるまで**押し続けます。**

- 電源を「切」にしたときも、プログラムの内容はすべて削除されます。
- リモコンの CANCEL ではできません。

プログラムの取り消し

プログラムした CD 番号の ▲ を押します。トレイが出て ▲ を押した CD のプログラムが取り消されます。

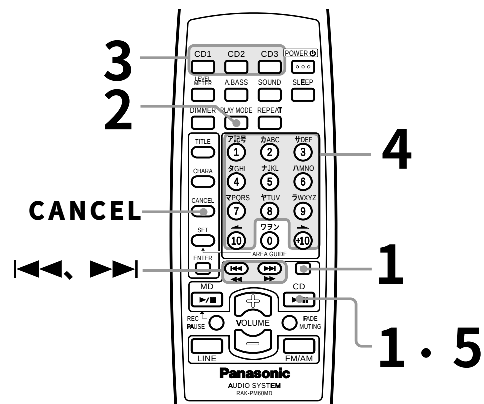
プログラム演奏のモードを解除する

CD が停止中に 32 ページの手順 **2** ～ **4** の操作をして、「CONTINUE」を選んでから SET を押します。
ただし、プログラムの内容は残ります。

CDを聞く

CD のプログラム演奏（リモコン）

リモコンを使ってプログラムすることができます。表示は本体で操作したときと同じ表示になります。
ソース（音源）を CD にして停止中に操作します。

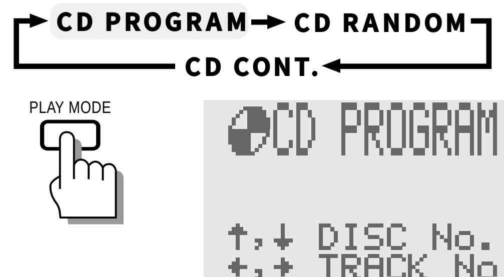


1 CD を入れる（➡ 29 ページ参照）

- ソース（音源）が CD になっていないときは、CD ▶/II を押してから ■ を押します。

2 PLAY MODE を押して「CD PROGRAM」を選ぶ

PLAY MODE を押すごとに表示窓の表示が次のように切り換わります。



- すでにプログラムがされているときは、最後のプログラム内容が表示されます。
- PLAY MODEは、CDが停止中に操作することができます。PLAY MODEを操作するときは、必ず CD を停止状態にしてください。

3 CD を指定する

CD 1 〜 CD 3 のいずれかを押します。

- この操作のあと、約 4 秒以内に手順 **4** の操作を行ってください。操作をしない状態が約 4 秒続くと手順 **2** の表示に戻ります。

4 数字キーを押して曲を指定する

1 〜 10、＋10 キーを押して、曲番号を直接入力します。（➡ 31 ページ「ダイレクト演奏」参照）

- 手順 **3** と手順 **4** をくり返してプログラムしていきます。同じ CD の違う曲を続けてプログラムするときは、曲番号だけを指定します。最大 32曲までプログラムできます。33曲目を指定すると「CD PROGRAM FULL」が表示されます。

5 CD ▶/II を押す

プログラム演奏が始まります。

- プログラムした全曲の演奏が終了すると、自動停止します。

プログラム演奏を途中で止める

■ を押します。
演奏が停止し、最後のプログラム内容が表示されます。

曲順の確認

リモコンを使って曲順を確認することができます。CD が停止中に ▶▶|（次の曲）または |◀◀（前の曲）を押します。

プログラムした曲をくり返し聞く

プログラム演奏とリピート演奏を組み合わせると、プログラムした曲をくり返し聞くことができます。
リピート演奏 ➡ 35 ページ参照

プログラムを間違えたときは（削除）

CDが停止中にCANCELを押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。そのあとプログラムをし直します。

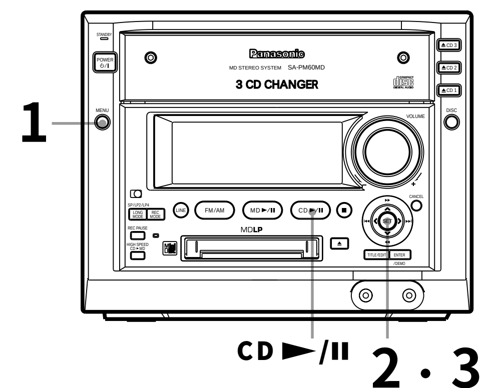
プログラム演奏のモードを解除する

CD が停止中に PLAY MODE を 2 回押して、表示窓に「CD CONT.」を表示させます。
ただし、プログラムの内容は残ります。

CD のリピート演奏

CD が演奏中や停止中でも設定や解除のできる 3 種類のリピート演奏があります。

本体を使った操作

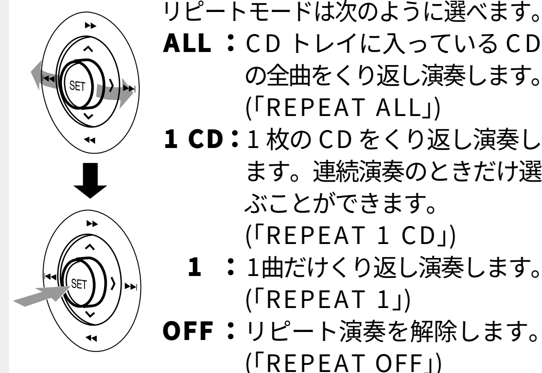


1 MENU を押す

「MENU」表示が表示されます。

2 ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「CD REPEAT」を選ぶ

3 ジョイコントロールを左右に動かしてリピートモードを選んでからSETを押す

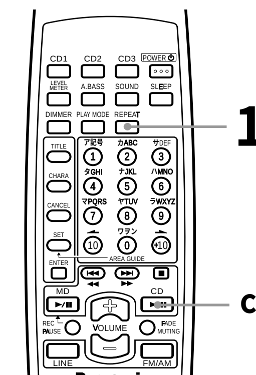


リピートモードは次のように選べます。

ALL：CD トレイに入っている CD の全曲をくり返し演奏します。（「REPEAT ALL」）
1 CD：1 枚の CD をくり返し演奏します。連続演奏のときだけ選ぶことができます。（「REPEAT 1 CD」）
1：1曲だけくり返し演奏します。（「REPEAT 1」）
OFF：リピート演奏を解除します。（「REPEAT OFF」）

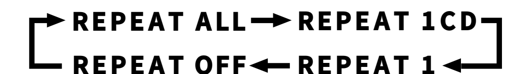
- CD が停止中のときは、CD ▶/II を押して演奏を始めます。

リモコンを使った操作



1 REPEAT を押してリピートモードを選ぶ

REPEAT を押すたびに表示窓の表示が次のように切り換わります。



- CD が停止中のときは、CD ▶/II を押して演奏を始めます。

リピート演奏のモードを解除する

本体：
手順 **1** 〜 **3** の操作をして「OFF」を選び SET を押します。
「REPEAT OFF」が表示されたあと、ソース（音源）の表示に戻ります。

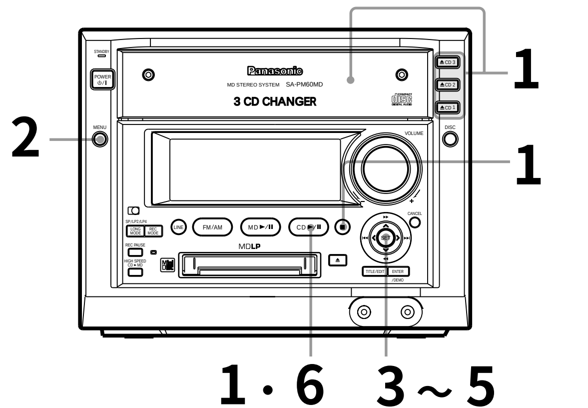
リモコン：
REPEAT を押して、表示窓に「REPEAT OFF」を表示させます。

- 電源を「切」にしたときやトラックワンオール録音（➡ 60 ページ参照）や 1CD シンクロ録音（➡ 57 ページ参照）をしたときも解除されます。

CDを聞く

CD のランダム演奏（本体）

3 枚の CD の曲をランダム（無作為）に演奏することができます。
ソース（音源）を CD にして停止中に操作します。



1　CD を入れる（➡ 29 ページ参照）
- ソース（音源）が CD になっていないときは、CD►/❚❚ を押してから ■ を押します。

2　MENU を押す
MENU
「MENU」表示が表示されます。

3　ジョイコントロールを下（∨ 側）に動かして「CD」を選ぶ

MENU
LEVEL METER
◂COLOR▸Pre set
◂CD▸CONTINUE
◂CD REPEAT▸OFF

- ソース（音源）が CD で停止状態のときだけ「◂ CD ▸」が表示されます。

4　ジョイコントロールを左右に動かして「RANDOM」を選ぶ

MENU
LEVEL METER
◂COLOR▸Pre set
◂CD▸RANDOM
◂CD REPEAT▸OFF

5　SET を押す

CD RANDOM
⬇
CD RANDOM

6　CD ►/❚❚ を押す
CD ►/❚❚
ランダム演奏が始まります。
- 全曲のランダム演奏が終了すると自動停止します。
- 一度演奏した曲は重ならないように選曲されます。
- ランダム演奏中に CD トレイを出すと演奏が停止します。

ランダム演奏を途中で止める
■ を押します。
ランダム演奏が停止します。

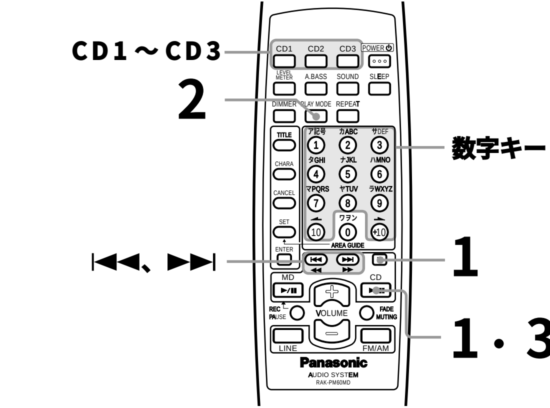
ランダム演奏中の頭出し
演奏中にジョイコントロールを右側（►►❚）に動かすと次に演奏する曲の演奏を始めます。左側（❚◄◄）に動かすと演奏中の曲の頭出しをします。

くり返しランダム演奏をする
ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。
リピート演奏 ➡ 35 ページ参照

ランダム演奏のモードを解除する
CD が停止中に左記の手順 **2** ～ **4** の操作をして、「CONTINUE」を選んでから SET を押します。

CD のランダム演奏（リモコン）

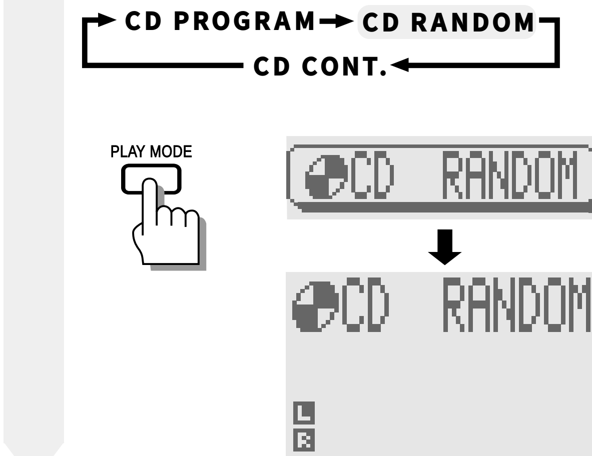
3 枚の CD の曲をランダム（無作為）に演奏することができます。
ソース（音源）を CD にして停止中に操作します。



1　CD を入れる（➡ 29 ページ参照）
- ソース（音源）が CD になっていないときは、CD ►/❚❚ を押してから ■ を押します。

2　PLAY MODE を押して「CD RANDOM」を選ぶ
PLAY MODE を押すごとに表示窓の表示が次のように切り換わります。

CD PROGRAM ➡ CD RANDOM ➡ CD CONT. ➡（CD PROGRAM）



3　CD ►/❚❚ を押す
ランダム演奏が始まります。
- 全曲のランダム演奏が終了すると自動停止します。
- 一度演奏した曲は重ならないように選曲されます。
- ランダム演奏中にCDトレイを出すと演奏が停止します。

ランダム演奏を途中で止める
■ を押します。
演奏を停止します。

ランダム演奏中の頭出し
演奏中に►►❚を押すと次に演奏する曲の演奏を始めます。
❚◄◄ を押すと演奏中の曲の頭出しをします。

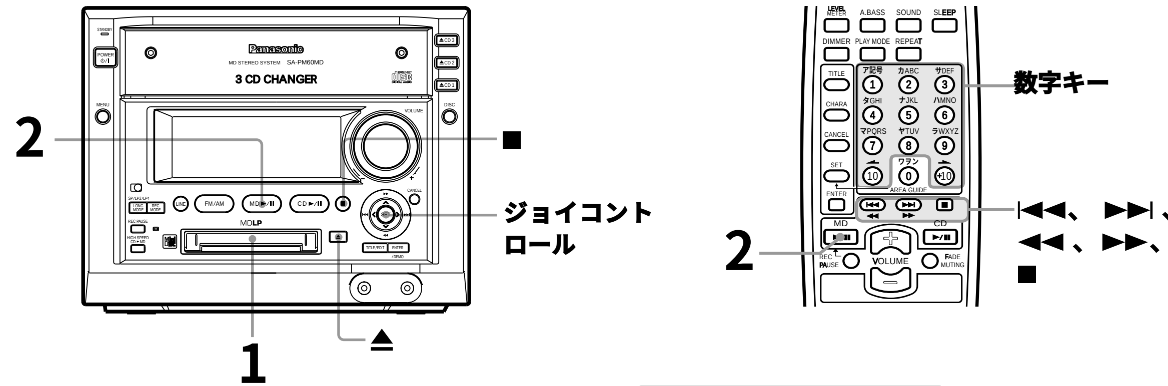
くり返しランダム演奏をする
ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。
リピート演奏 ➡ 35 ページ参照

ランダム演奏のモードを解除する
CDが停止中にPLAY MODEを押して、表示窓に「CD CONT.」を表示させます。

お知らせ
- ランダム演奏中にCD1～CD3を押すと、選んだCDから連続演奏になります。
- ランダム演奏中に数字キーを押すと、選んだ曲から連続演奏になります。

MD を聞く

ＭＤ を聞くための基本操作です。電源を入れてから操作します。



1　ＭＤ を入れる

ＭＤ に表示されている矢印の方向に、矢印のある面を上にして差し込みます。途中まで入れると自動的に引きこまれます。

矢印

MDが入ると表示窓のMD表示 (C) が点灯します。

ソース（音源）が ＭＤ のとき

ソース（音源）をＭＤにするには、ＭＤ ►/❚❚を押してから■を押します。

ＭＤ 挿入：

読み込み中：

曲数とトータル時間表示：

- ディスクタイトルのついている ＭＤ を入れるとディスクタイトルも表示(長いときはスクロール表示）されます。

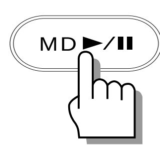
表示窓の ＭＤ 表示

ソース（音源）がMDのときに点灯します。

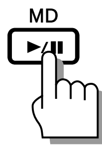
ＭＤ を入れると点灯します。

2　ＭＤ ►/❚❚ を押す

演奏が始まります。



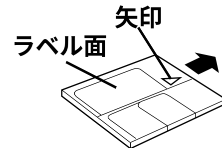
本体



リモコン

ＭＤ の正しい取り扱いかた

- ＭＤ は ▻ などの矢印に従って正しく入れてください。



間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままＭＤを挿入すると故障の原因となります。

ＭＤ の再生モードについて

ＭＤ は録音したときの録音モードにしたがって演奏されます。演奏が始まると、表示窓に演奏曲の再生モードが表示されます。

- **ＳＰ** ：本機でステレオ録音した曲または **ＭＤ ＬＰ** に対応していない ＭＤ レコーダーで録音した曲のとき
- **ＬＰ２**：２倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき
- **ＬＰ４**：４倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき

ＭＤ ＬＰ について

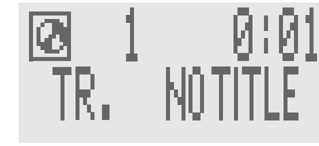
- **ＭＤＬＰ** は ＭＤ 規格に適合し、新しい音声圧縮方式の ATRAC3を採用したステレオ２倍（または４倍）長時間録音・再生モードの機能を持ったMDレコーダー/プレーヤー、またはATRAC3によって音声録音されているMDメディア（レコーダブル・メディアを除く）に表示されております。

お願い

- すでにＭＤが入っているときは、表示窓の ＭＤ 表示（C）が点灯しており新たに ＭＤは入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。
- 電源「切」のときは、ＭＤ を挿入できません。

表示窓について

演奏中：

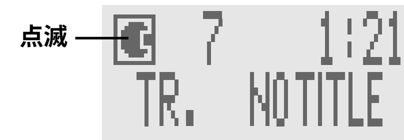


曲タイトルがついているときはタイトルが表示されます。

停止中：

ディスクタイトルがついているときはタイトルが表示されます。

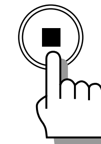
一時停止中：



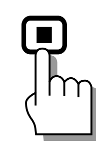
曲タイトルがついているときはタイトルが表示されます。

ＭＤ を停止する

途中でＭＤの演奏を停止するときは、■を押します。



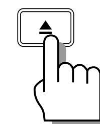
本体



リモコン

ＭＤ を取り出す

ＭＤ を取り出すときは、▲を押します。



- ＭＤ スロットから出てきた ＭＤ は、必ず本体から抜き取っておきます。

演奏を一時停止するとき

演奏中に ＭＤ ►/❚❚（本体またはリモコン）を押します。

もう一度押すと、一時停止したところから演奏が始まります。

曲をダイレクトに演奏する（ダイレクト演奏）

リモコンの数字キーを使います。

１～１０ 曲目を指定するとき：

１～１０ キーのいずれかを押す。

１１ 曲以上を指定するとき：

＋１０ キーを先に押してから、１～１０ キーのいずれかを押す。

例：１５ 曲目

(+10) ➡ (5) と押す

例：２０ 曲目

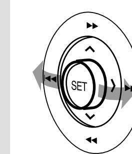
(+10) ➡ (10) と押す

例：２５ 曲目

(+10) ➡ (+10) ➡ (5) と押す

曲を前後にとび越す（スキップ）

本体：



ジョイコントロールを左右に動かします。押し続けると連続して変化します。

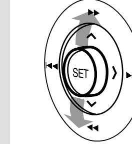
- 停止中に動かすと曲ごとの演奏時間が表示されます。１ 曲の演奏時間を調べるときに便利です。

リモコン：

リモコンの▶▶Iまたは I◀◀を押します。押すごとに1曲ずつ変化します。停止中に押し続けると連続して変化します。

早送り／早戻しする（サーチ）

本体：



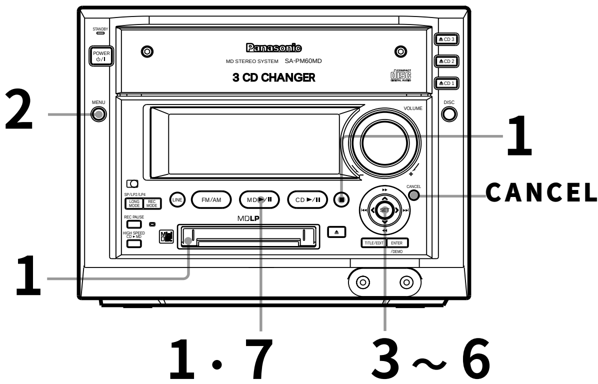
演奏中にジョイコントロールを上側（▶▶：早送り）または下側（◀◀：早戻し）に押し続けます。

リモコン：

演奏中に ▶▶（早送り）または ◀◀（早戻し）を押し続けます。

ＭＤのプログラム演奏（本体）

お好きな曲をお好きな順番で聞くことができます。
ソース（音源）をＭＤにして停止中に操作します。



1　ＭＤを入れる（➡ 38ページ参照）

- ソース（音源）がＭＤになっていないときは、ＭＤ ►/❚❚ を押してから ■ を押します。

2　ＭＥＮＵを押す

MENU

「ＭＥＮＵ」表示が表示されます。

3　ジョイコントロールを下（﹀側）に動かして「ＭＤ」を選ぶ

MENU
LEVEL METER
◀COLOR▶Pre set
◀MD▶NORMAL
◀MD REPEAT▶OFF

- ソース（音源）がＭＤで停止状態のときだけ「◀ ＭＤ ▶」が表示されます。

4　ジョイコントロールを左右に動かして「ＰＲＯＧＲＡＭ」を選ぶ

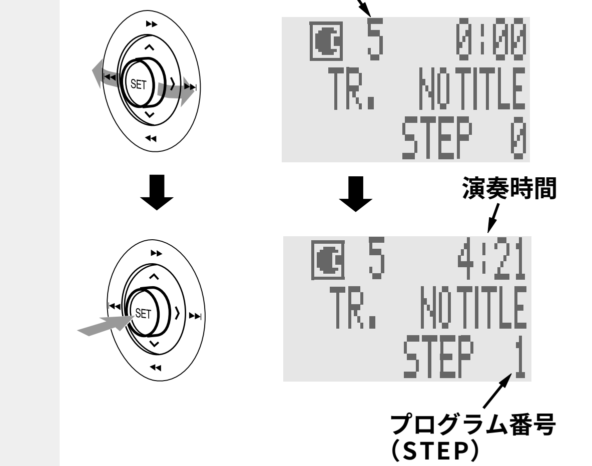
MENU
LEVEL METER
◀COLOR▶Pre set
◀MD▶PROGRAM
◀MD REPEAT▶OFF

5　ＳＥＴを押す

MD PROGRAM

- すでにプログラムされているときは、最後のプログラム内容が表示されます。

6　ジョイコントロールを左右に動かして曲を指定してからＳＥＴを押す



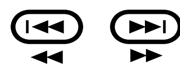
- 演奏時間はプログラムした曲の合計時間が表示されます。演奏時間が２時間２９分５９秒を超えると「−−：−−」が表示されます。
- 手順 **6** をくり返して最大３２曲までプログラムできます。
  ３３曲目を指定すると「MD PROGRAM FULL」が表示されます。

お知らせ

- 手順 **6** でＳＥＴを押す前に、操作をしない状態が約４秒続くと手順 **5** の表示に戻ります。それまでに手順 **6** で曲を指定していてもプログラムされていません。曲をプログラムするためには、手順 **6** の操作を再度行ってください。

プログラムが終了したら

7　ＭＤ ►/❚❚ を押す



プログラム演奏が始まります。

- プログラムした全曲の演奏が終了すると、自動停止します。

プログラム演奏を途中で止める

■ を押します。
演奏が停止し、最後のプログラム内容が表示されます。

曲順の確認

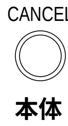
リモコンを使って曲順を確認することができます。
ＭＤが停止中に ►►I（次の曲）または I◄◄（前の曲）を押します。

プログラムした曲をくり返し聞く

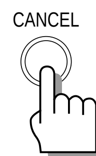
プログラム演奏とリピート演奏を組み合わせると、プログラムした曲をくり返し聞くことができます。
リピート演奏 ➡ 43ページ参照

プログラムを間違えたときは（削除）

ＭＤが停止中にCANCEL（本体またはリモコン）を押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。
そのあとプログラムをし直します。



プログラム内容をすべて削除するには



ＭＤが停止中に本体のＣＡＮＣＥＬを「MD PROGRAM ALL CLEAR」が表示されるまで**押し続けます。**

- 電源を「切」にしたときも、プログラムの内容はすべて削除されます。
- リモコンのCANCELではできません。

プログラムの取り消し

▲（ＭＤ取り出し）を押します。
プログラムは取り消されます。

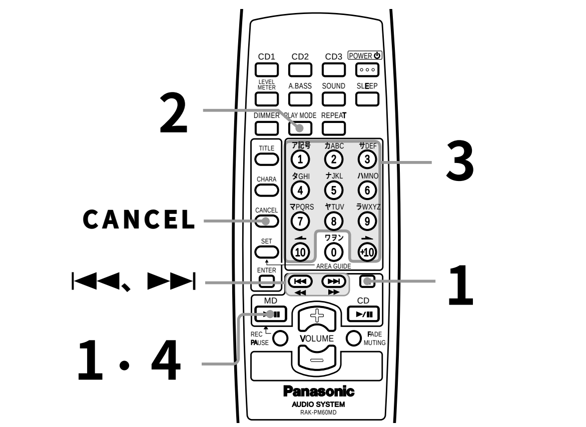
プログラム演奏のモードを解除する

ＭＤが停止中に 40ページの手順 **2** ～ **4** の操作をして、「NORMAL」を選んでからＳＥＴを押します。
ただし、プログラムの内容は残ります。

ＭＤを聞く

MD のプログラム演奏（リモコン）

リモコンを使ってプログラムすることができます。表示は本体で操作したときと同じ表示になります。
ソース（音源）を MD にして停止中に操作します。

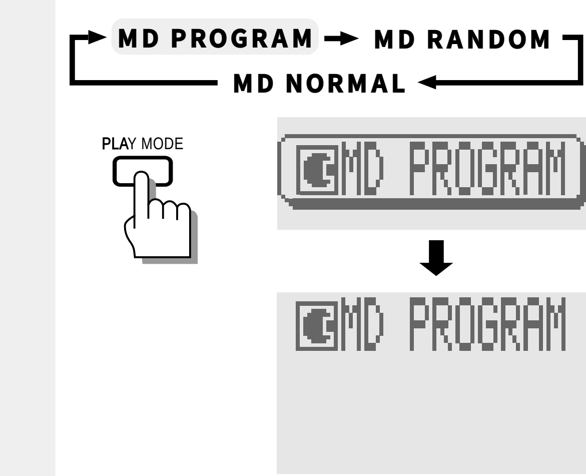


1 MD を入れる（➡ 38 ページ参照）

• ソース（音源）が MD になっていないときは、MD ►/❚❚ を押してから ■ を押します。

2 PLAY MODE を押して「MD PROGRAM」を選ぶ

PLAY MODE を押すごとに表示窓の表示が次のように切り換わります。



• すでにプログラムがされているときは、最後のプログラム内容が表示されます。
• PLAY MODEは、MDが停止中に操作することができます。PLAY MODEを操作するときは、必ず MD を停止状態にしてください。

3 数字キーを押して曲を指定する

1～10、＋10キーを押して、曲番号を直接入力します。（➡ 39 ページ「ダイレクト演奏」参照）

• 手順 **3** をくり返してプログラムしていきます。最大 32 曲までプログラムできます。33 曲目を指定すると「MD PROGRAM FULL」が表示されます。

4 MD ►/❚❚ を押す

プログラム演奏が始まります。
• プログラムした全曲の演奏が終了すると自動停止します。

プログラム演奏を途中で止める

■ を押します。
演奏が停止し、最後のプログラム内容が表示されます。

曲順の確認

リモコンを使って曲順を確認することができます。
MD が停止中に ⏭（次の曲）または ⏮（前の曲）を押します。

プログラムした曲をくり返し聞く

プログラム演奏とリピート演奏を組み合わせると、プログラムした曲をくり返し聞くことができます。
リピート演奏 ➡ 43 ページ参照

プログラムを間違えたときは（削除）

MDが停止中にCANCELを押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。そのあとプログラムをし直します。

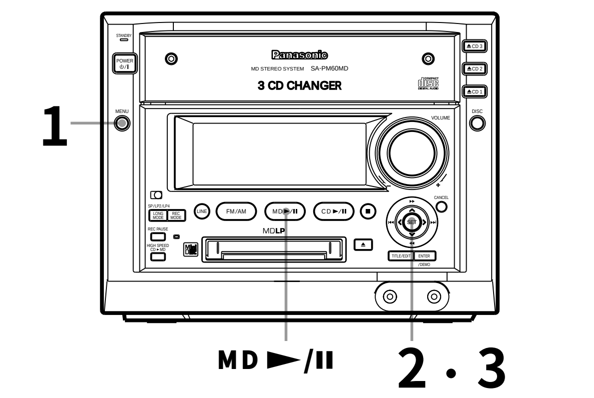
プログラム演奏のモードを解除する

MDが停止中にPLAY MODEを 2 回押して、表示窓に「MD NORMAL」を表示させます。
ただし、プログラムの内容は残ります。

MD のリピート演奏

MD が演奏中や停止中でも設定や解除のできる 2 種類のリピート演奏があります。

本体を使った操作



1 MENU を押す

MENU
「MENU」表示が表示されます。

2 ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「MD REPEAT」を選ぶ

MENU
LEVEL METER
COLOR ▸Pre set
MD ▸NORMAL
MD REPEAT ▸OFF

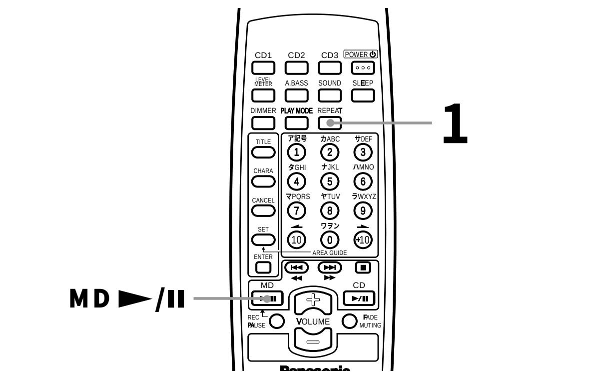
3 ジョイコントロールを左右に動かしてリピートモードを選んでから SET を押す

リピートモードは次のように選べます。

ALL：全曲をくり返し演奏します。（「REPEAT ALL」）
1：1曲だけくり返し演奏します。（「REPEAT 1」）
OFF：リピート演奏を解除します。（「REPEAT OFF」）

• MD が停止中のときは、MD ►/❚❚ を押して演奏を始めます。

リモコンを使った操作



1 REPEAT を押してリピートモードを選ぶ

REPEAT
REPEATを押すたびに表示窓の表示が次のように切り換わります。

• MDが停止中のときは、MD ►/❚❚ を押して演奏を始めます。

リピート演奏のモードを解除する

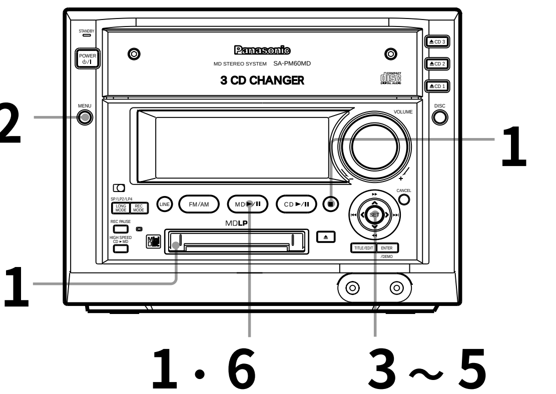
本体：
手順 **1** ～ **3** の操作をして「OFF」を選び SET を押します。
「REPEAT OFF」が表示されたあと、ソース（音源）の表示に戻ります。

リモコン：
REPEATを押して、「REPEAT OFF」を表示させます。

• 電源を「切」にしたときやトラックワンオール録音（➡ 60 ページ参照）や 1CD シンクロ録音（➡ 57 ページ参照）をしたときも解除されます。

MD のランダム演奏（本体）

ランダム（無作為）な曲順で演奏することができます。
ソース（音源）を MD にして停止中に操作します。



1　MD を入れる（➡ 38 ページ参照）

- ソース（音源）が MD になっていないときは、MD ►/II を押してから ■ を押します。

2　MENU を押す

MENU

「MENU」表示が表示されます。

3　ジョイコントロールを下（∨ 側）に動かして「MD」を選ぶ

MENU
LEVEL METER
◂COLOR▸Pre set
◂MD▸NORMAL
◂MD REPEAT▸OFF

- ソース（音源）が MD で停止状態のときだけ「◂ MD ▸」が表示されます。

4　ジョイコントロールを左右に動かして「RANDOM」を選ぶ

MENU
LEVEL METER
◂COLOR▸Pre set
◂MD▸RANDOM
◂MD REPEAT▸OFF

5　SET を押す

MD RANDOM
⬇
MD RANDOM

6　MD ►/II を押す

MD ►/II

ランダム演奏が始まります。

- 全曲のランダム演奏が終了すると自動停止します。
- 一度演奏した曲は重ならないように選曲されます。

ランダム演奏を途中で止める

■ を押します。
ランダム演奏が停止します。

ランダム演奏中の頭出し

演奏中にジョイコントロールを右側（►►I）に動かすと次に演奏する曲の演奏を始めます。左側（I◄◄）に動かすと演奏中の曲の頭出しをします。

くり返しランダム演奏をする

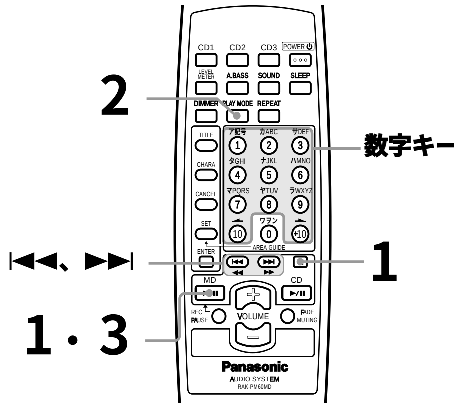
ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。
リピート演奏 ➡ 43 ページ参照

ランダム演奏のモードを解除する

M D が停止中に左記の手順 **2** ～ **4** の操作をして、「NORMAL」を選んでから SET を押します。

MD のランダム演奏（リモコン）

ランダム（無作為）な曲順で演奏することができます。
ソース（音源）を MD にして停止中に操作します。

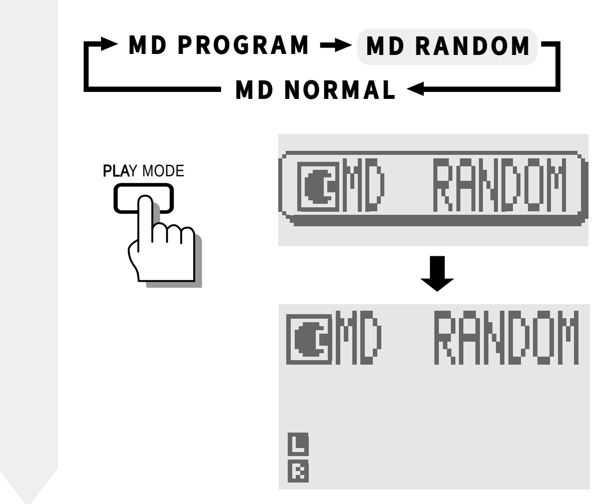


1　MD を入れる（➡ 38 ページ参照）

- ソース（音源）が MD になっていないときは、MD ►/II を押してから ■ を押します。

2　PLAY MODE を押して「MD RANDOM」を選ぶ

PLAY MODE を押すごとに表示窓の表示が次のように切り換わります。



3　MD ►/II を押す

ランダム演奏が始まります。

- 全曲のランダム演奏が終了すると自動停止します。
- 一度演奏した曲は重ならないように選曲されます。

ランダム演奏を途中で止める

■ を押します。
演奏を停止します。

ランダム演奏中の頭出し

演奏中に►►I を押すと次に演奏する曲の演奏を始めます。
I◄◄ を押すと演奏中の曲の頭出しをします。

くり返しランダム演奏をする

ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。
リピート演奏 ➡ 43 ページ参照

ランダム演奏のモードを解除する

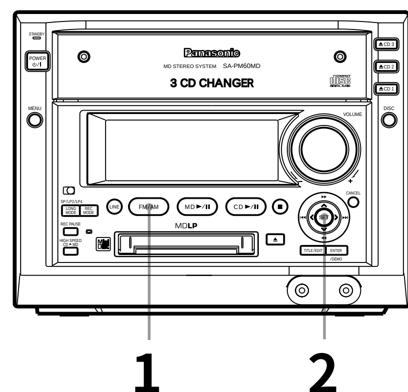
MDが停止中にPLAY MODEを押して、表示窓に「MD NORMAL」を表示させます。

お知らせ

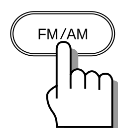
- ランダム演奏中に数字キーを押すと、選んだ曲から通常演奏になります。

ラジオを聞く

本体を使った操作



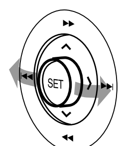
1　FM/AM を押して放送（FM または AM）を選ぶ



押すごとに FM または AM に切り換わります。

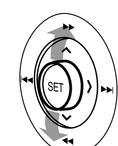
2　選局をする

a. ジョイコントロールを左右に動かして記憶してある放送局のプリセット番号を選ぶ（プリセット選局といいます）



あらかじめ放送局を記憶させておきます。
「放送局を記憶させる（エリアガイド）」（➡ 48 ページ参照）

b. ジョイコントロールを上下に動かして周波数を選ぶ



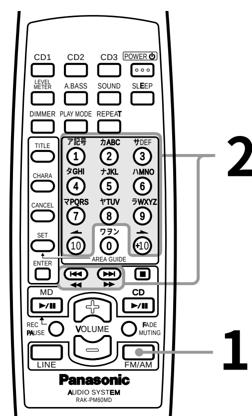
2 種類の選局方法があります。

マニュアルチューニング：
上（︿ 側）に動かすと周波数が上がり、下（﹀ 側）に動かすと周波数が下がります。

FM 放送： 0.05 MHz ずつ
76.00MHz～108.00MHz
AM 放送： 9kHz ずつ
531kHz～1629kHz

オートチューニング：
ジョイコントロールを上または下方向に押し続け、周波数が変化してから指を離すと、自動で選局を始めます。放送局を受信すると自動で周波数が止まります。

リモコンを使った操作



1　FM/AM を押して放送（FM または AM）を選ぶ

押すごとに FM または AM に切り換わります。

2　選局をする

a. 数字キーを使って記憶してある放送局のプリセット番号を選ぶ（プリセット選局といいます）

あらかじめ放送局を記憶させておきます。
「放送局を記憶させる（エリアガイド）」（➡ 48 ページ参照）

プリセット番号の入力方法
1～10 を選局するとき：
1～10 キーのいずれかを押す。
11～20 を選局するとき：
＋10 キーを押してから、
1～10 キーのいずれかを押す。
21～30 を選局するとき：
＋10 キーを 2 回押してから、
1～10 キーのいずれかを押す。

b. ▶▶I または I◀◀ を押して周波数を選ぶ

2 種類の選局方法があります。

マニュアルチューニング：
▶▶I または I◀◀ を押します。▶▶I を押すと周波数が上がり、I◀◀ を押すと周波数が下がります。

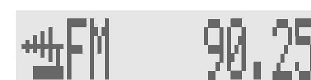
オートチューニング：
▶▶I または I◀◀ を押し続け、周波数が変化してから指を離すと、自動で選局を始めます。放送局を受信すると自動で周波数が止まります。

表示窓について

放送を受信しているとき：

お知らせ
- 放送局名は、エリアガイド機能で記憶させた放送局が表示されます。（➡ 48 ページ参照）

放送を受信していないとき：
（放送や雑音などの音声信号レベルが小さいとき）



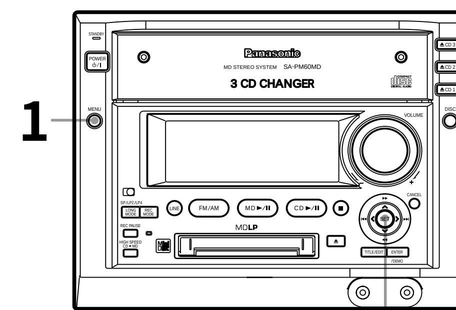
リモコンでプリセット番号を入力すると：

放送を受信すると

放送を受信すると「TUNED」表示が点灯し、FM ステレオ放送を受信すると「STEREO」表示も点灯します。

FM 放送の受信モード

FM 放送がうまく受信できないときに、受信モードを変更することができます。FM 放送の受信モードは、放送局ごとに記憶することもできます。
FM ステレオ放送を受信中に本体で操作します。



1. FM ステレオ放送を受信中に MENU を押す
「MENU」が表示されます。

2. ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「FM MODE」を選ぶ

3. ジョイコントロールを左右に動かして「MONO」または「AUTO」を選ぶ

AUTO： FM ステレオ放送のときはステレオ音声、モノラル放送のときはモノラル音声に自動で切り換わるオート受信になります。選局中の「サー」という雑音を消す機能（ミューティング）も働きます。
MONO： FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときに選びます。モノラル音声に固定されステレオ放送のときもモノラル音声になり「STEREO」表示が表示窓から消えます。

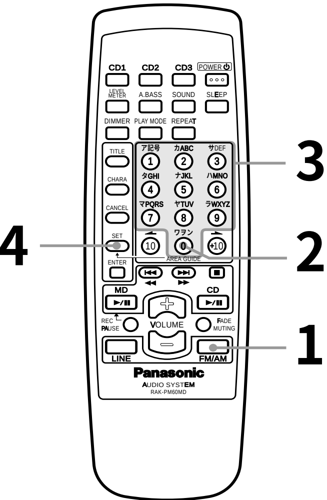
4. SET を押す

お知らせ
- 通常は「AUTO」でお使いください。
付属のアンテナでうまく受信できないときは、FM 屋外アンテナを接続してください。（➡ 10 ページ参照）
- AM放送を受信中は、「MENU」表示に「FM MODE」は表示されません。

放送局を記憶させる（エリアガイド機能）

エリアガイド機能

本機は、市外局番を入力するだけで、お住まいの地域で受信できる放送局を自動的に記憶し、放送局名も表示します。
この場合、AM 放送局は本機に内蔵されている放送局を呼び出して記憶します。（➡ 86～87 参照）
FM 放送局は市外局番 03 または 06 を入力したときは、本機に内蔵されている放送局（03 は 12 局、06 は 7 局）を呼び出して記憶します。これ以外は、お住まいの地域で受信できる放送局を 76MHz～108MHz の間で自動選局し、記憶します。**リモコンを使って操作します。**



1 FM/AM を押す

FM/AM

• FM または AM のどちらでもかまいません。

2 AREA GUIDE を押す

ワヲン 0 AREA GUIDE

〈エリアガイド〉
☎ 0
Push Number
buttons!

• 市外局番の 0 が入力されます。

3 1～9、0 キーを使って残りの市外局番を入力する

局番は 4 ケタまで入力できます。局番が 5 ケタ以上の地域でも 4 ケタまで入力すれば、エリアガイドによる設定をすることができます。

〈エリアガイド〉
☎ 045
OK?➡SET

4 SET を押す

SET

放送局名を表示しながら AM ➡ FM の順に自動で記憶していきます。記憶が終了すると、FM放送のプリセット 1 の放送局を受信し局名を表示します。

記憶した放送局名を削除する

記憶終了後に次の操作をすると、プリセットした放送局全ての放送局名を削除することができます。

1. **AREA GUIDE を押す**
2. **SET を押す**
   表示窓に「NAME CUT」が表示されます。
   （この場合、MD に録音しても放送局名は記録されずに受信バンドと周波数が記録されます）

• 再度放送局名を表示させるには、もう一度エリアガイドの操作をします。

お願い

• エリアガイドによる放送局名表示は、コミュニティ FM 放送局には対応していません。

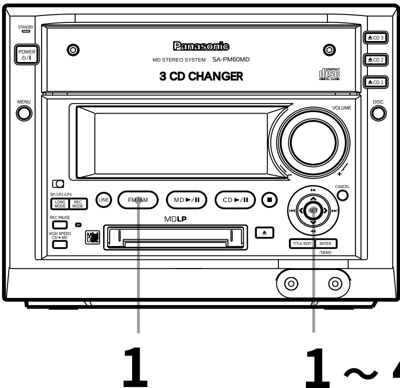
お知らせ

• 電波事情や地域によっては、エリアガイドで記憶するよりもご自分で選局するほうが良好に受信できる地域もあります。このようなときは、ご自分で放送局を記憶させてください。（➡ 49 ページ参照）
• 記憶した放送局は、電源プラグを抜いたり停電があると、取り消されることがあります。このようなときは、エリアガイドの操作をやり直してください。
• エリアガイドで放送局を記憶しておくと MD 録音時に放送局名が自動で記録されます。ただし、放送局によっては局名が全て記録されないことがあります。

お好みの放送局を選んで記憶させる

エリアガイドで放送局を記憶させたあとに、別の放送局を選んで記憶させることができます。
AM 放送局を合計 15 局、FM 放送局を合計 30 局まで記憶させることができます。

本体を使って記憶させる



1 記憶させる放送局を受信する

「ラジオを聞く：本体を使った操作」（➡ 46 ページ）の手順 **1** と手順 **2** の b の操作をして記憶させたい放送局を受信します。

2 SET を押す

放送局のプリセット番号が 5 秒間点滅します。

• 放送局のプリセット番号は、点滅している 5 秒の間に何の操作も行われないと消えます。この 5 秒以内に手順 **3** の操作を始めてください。
放送局のプリセット番号が消えてしまったときは、もう一度 SET を押してください。

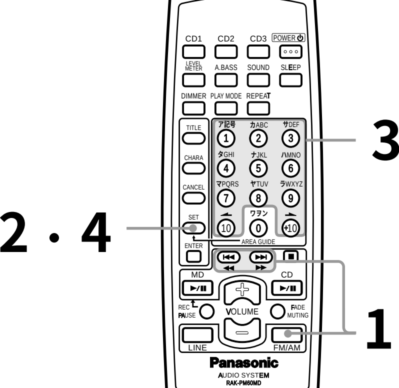
3 ジョイコントロールを左右に動かして記憶させる放送局の番号を指定する

• すでに記憶されている放送局の番号を指定すると、新たに選んだ放送局が記憶されます。

4 SET を押す

「CH. Memory」が表示されます。
「CH. Memory」が消灯すると記憶が完了します。

リモコンを使って記憶させる



1 記憶させる放送局を受信する

「ラジオを聞く：リモコンを使った操作」（➡ 46 ページ）の手順 **1** と手順 **2** の b の操作をして記憶させたい放送局を受信します。

2 SET を押す

SET

放送局のプリセット番号が 5 秒間点滅します。

• 放送局の番号が点滅している間に手順 **3** の操作を始めてください。

3 1～10、＋10 キーを押して記憶させる放送局の番号を指定する

• すでに記憶されている放送局の番号を指定すると、新たに選んだ放送局が記憶されます。

4 SET を押す

SET

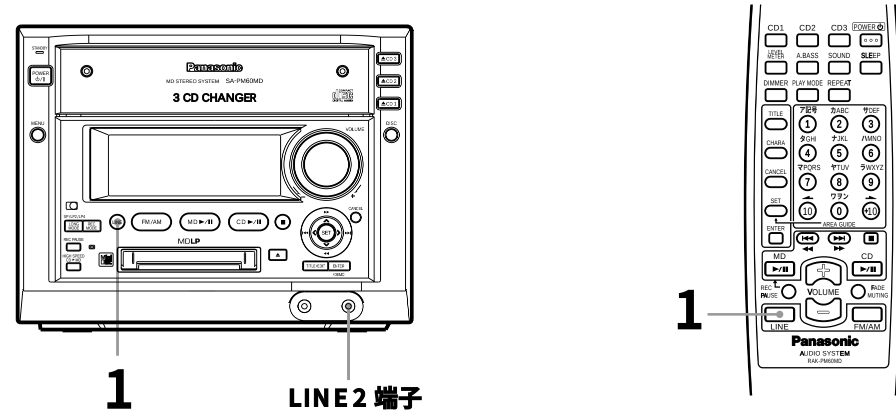
「CH. Memory」が表示されます。
「CH. Memory」が消灯すると記憶が完了します。

お知らせ

• 放送局を選んで記憶させたあとにエリアガイドの操作をすると、追加／変更した内容がすべて消去され、エリアガイドによって記憶させた放送局が新しく記憶されます。

接続した機器の音を聞く

LINE 1端子、LINE 2端子またはデジタル入力端子に接続した機器の音を聞くことができます。
本機は、サンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、CS/BSチューナーやDATなどのデジタル機器に対応しています。



1

1 LINEを押す

LINEを押すごとに次のように切り換わります。

LINE 1 ➡ LINE 2 ➡ DIGITAL IN

• LINE 2端子は本体前面にあります。

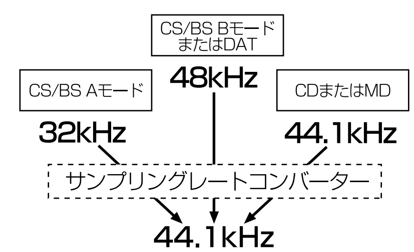
2 接続した機器を演奏状態にする

本機のアンプ機能を使って音量の調節などをします。

• 正しく接続されていることを確認してください。

デジタル機器の録音について

本機はサンプリングレートコンバーターを内蔵しています。デジタル機器のサンプリング周波数（32kHz、44.1kHz、48kHz）に関係なく録音できます。



表示窓について

LINE 1のとき：

LINE1
INPUT Level 1

入力レベル表示（4秒後に消えます）

LINE 2のとき：

LINE2
INPUT Level 1

入力レベル表示（4秒後に消えます）

DIGITAL INのとき：

DIGITAL IN
32kHz

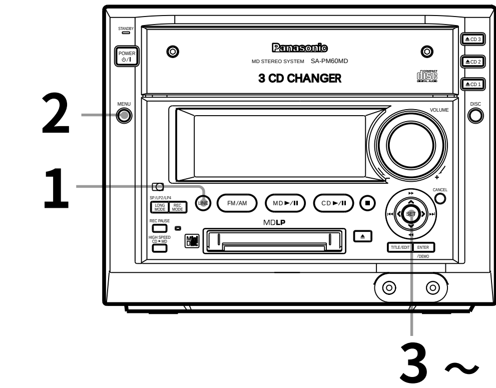
サンプリング周波数表示
接続した機器のサンプリング周波数が表示されます。

デジタル入力端子に接続されていないとき：

DIGITAL IN
UNLOCK

接続した機器の入力レベルを切り換える

LINE 1端子またはLINE 2端子に接続した機器からの入力信号が大きすぎると、表示窓が赤くなり「OVER」表示と「Level OVER !」が表示されます。そのままの状態でMDに録音するとひずんだ音で録音されます。
このようなときは、接続した機器からの入力信号のレベルを下げることができます。
ただし、MDに録音中は入力レベルを切り換えることができません。



1 LINEを押して入力レベルを切り換える機器を選ぶ

「LINE 1」または「LINE 2」を選びます。

• 「DIGITAL IN」を選んだときは入力レベルを切り換えることはできません。
• 接続した機器の表示名を変更したとき（➡ 52 ページ参照）は、「LINE 1」または「LINE 2」から変更したソース（音源）名を選びます。

2 MENUを押す

「MENU」表示が表示されます。

3 ジョイコントロールを下（﹀側）に動かして「INPUT Level」を選ぶ

MENU
REC ON/OFF
A.Poff CANCEL
CONTRAST ADJ.
INPUT Level

4 SETを押す

例：LINE 1の入力レベルを切り換えるとき

LINE1 INPUT
Level 1
Level 2

5 ジョイコントロールを上下に動かしてレベルを選ぶ

LINE 1のとき
「Level 1」または「Level 2」から選びます。

Level 1： 接続した機器からの入力信号のレベルを大きくします。音が小さすぎるときに選びます。（お買い上げ時の設定）
Level 2： 接続した機器からの入力信号のレベルを小さくします。音が大きすぎるときに選びます。

LINE 2のとき
「Level 1」～「Level 4」から選びます。
「Level 1」でひずむとき ➡「Level 2」
「Level 2」でひずむとき ➡「Level 3」
「Level 3」でひずむとき ➡「Level 4」
と調節していきます。
• お買い上げの時は、「Level 1」に設定されています。

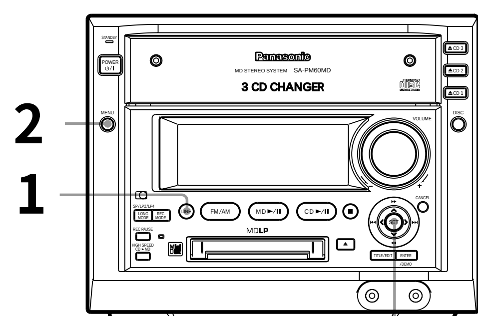
お知らせ
• 「Level 4」に調節しても「Level OVER !」が表示されるときは、LINE 2端子に接続した機器を背面のLINE 1端子に接続し直し、上記「LINE 1のとき」の「Level 2」に設定してください。

6 SETを押す

他の機器の操作

接続した機器の表示名を変える

接続した機器に合わせて、表示窓に表示させるソース（音源）名を、あらかじめ用意されている表示名の中から選んで変えることができます。
ただし、MD に録音中はソース（音源）名を変えることができません。



1　LINEを押して表示名を変えるソース（音源）を選ぶ

LINEを押すごとに次のように切り換わります。

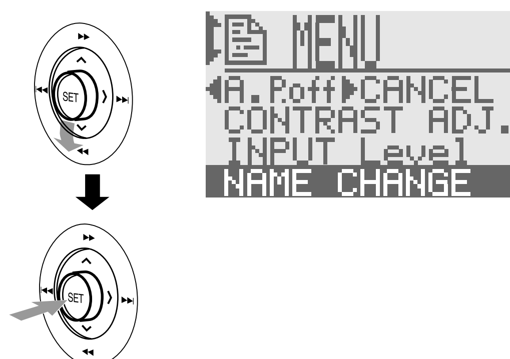
LINE 1 ➡ LINE 2 ➡ DIGITAL IN

2　MENU を押す

「MENU」表示が表示されます。

MENU
LEVEL METER
COLOR Pre set
SOUND ROCK
A.BASS OFF

3　ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「NAME CHANGE」を選んでから、SET を押す



MENU
A.Poff CANCEL
CONTRAST ADJ.
INPUT Level
NAME CHANGE

4　ジョイコントロールを上下に動かしてソース（音源）の表示名を選ぶ

LINE 1 のとき：

「LINE 1」、「TAPE」、「DBS *」、「VTR」、「TV」、「GAME」の中から選びます。

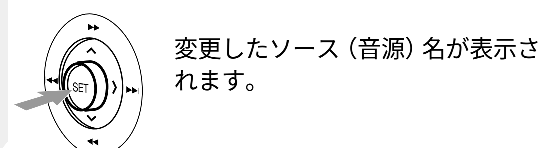
LINE 2 のとき：

「LINE 2」、「P-MD」（ポータブル MD）の中から選びます。

DIGITAL IN のとき：

「DIGITAL IN」、「DBS-DIGITAL」の中から選びます。

5　SET を押す



変更したソース（音源）名が表示されます。

＊ DBS (Direct（ダイレクト） Broadcasting（ブロードキャスティング） Satellite（サテライト） の略)
CS/BS チューナーをさします。

録音をする前に

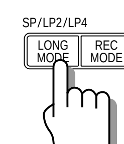
本機の MD で CD やラジオまたは接続した機器の音を録音するとき、それぞれのソース（音源）ごとに次のような録音ができます。

ステレオ長時間録音　➡ 56 57 58 60 62 63 ページ

従来モノラル音声でしかできなかった MD の 2 倍長録音が、本機ではステレオ音声のままで 2 倍長または 4 倍長の長時間録音ができます。
録音するソース（音源）や録音方式に関係なく設定でき、各ソース（音源）の録音と組み合わせて使用できます。
また、1 枚の MD に違う録音モード（SP：標準／LP2：2 倍長／LP4：4 倍長）の曲を混ぜて録音することもできます。

最初に、録音モード（SP ／ LP2 ／ LP4）を設定してからそれぞれのソース（音源）の録音操作をします。

録音モード（SP ／ LP2 ／ LP4）は、本体の LONG MODE ボタンを押して設定します。



ボタンを押すごとに表示窓に「SP」、「LP2」または「LP4」が点灯します。

SP：標準の長さで録音されます。録音できる時間は、MD のパッケージに表示されている時間と同じです。
LP2：2 倍長時間録音されます。録音できる時間は、MD のパッケージに表示されている時間の 2 倍になります。
LP4：4 倍長時間録音されます。録音できる時間は、MD のパッケージに表示されている時間の 4 倍になります。
ラジオ放送の長時間録音などに使用するときに便利です。

ステレオ長時間録音をしたときのお願い

本機でステレオ長時間録音をしたときは、次のことにご注意ください。
- **本機でステレオ 2 倍長時間録音または 4 倍長時間録音された曲は、MDLP に対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では演奏できません。**
  曲タイトルの先頭に「LP：」が表示され、無音で演奏されます。 MDLP に対応した機器で演奏すると、「LP：」は表示されません。
- MD の編集をするとき、録音モード（SP ／ LP2 ／ LP4）の異なる曲をつなげる（COMBINE）ことはできません。

お知らせ

- 録音モード（SP ／ LP2 ／ LP4）の設定によって、MD の録音残量表示も変わります。
- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間（SP➡LP2➡LP4）になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードの SP をお勧めします。

マニュアル操作の録音 ➡ 56 ページ

CD、ラジオ、接続した機器の音のいずれかを録音一時停止状態から録音します。

CDのときにできる録音

CDの音を録音するときの録音の種類は次のようになります。ステレオ長時間録音と併せて使用できます。

倍速（ハイスピード）録音 ➡ 57 58 60 62 ページ

CD の音を演奏時間の半分の時間で録音します。
倍速録音は、CD を録音する各録音方式で設定できます。また、ワンタッチでCDの倍速（ハイスピード）録音を開始するHIGH SPEED CD ► MDボタンも用意しています。

お知らせ
- 倍速録音中は、CDおよび他のソースの音を聞くことはできません。

1CD シンクロ録音 ➡ 57 ページ

CD の演奏と MD の録音を同時にスタートさせます。選んだ 1 枚の CD の演奏が終了すると、MD の録音も同時に終了します。

CD シンクロ録音 ➡ 58 ページ

CD の演奏と MD の録音を同時にスタートさせます。

トラックワンオール録音 ➡ 60 ページ

CD の 1 曲目だけを選んで MD に録音します。オリジナルのヒット曲集などを簡単に作ることができます。

1 曲録音 ➡ 59 62 ページ

CDを聞いているときに気に入った曲だけを録音できます。

接続した機器のときにできる録音

接続した機器の音の録音には、次のような録音があります。ステレオ長時間録音と併せて使用できます。

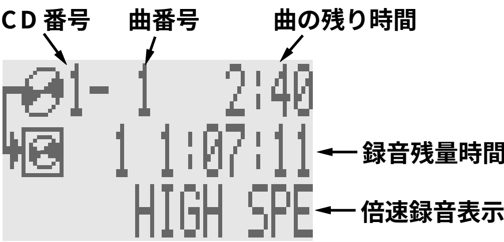
サウンドシンクロ録音 ➡ 63 ページ

LINE 1、LINE 2 端子やデジタル入力端子に接続した機器の演奏開始に合わせてシンクロ録音します。
サウンドシンクロ録音は、接続した機器の音声信号に反応して MD の録音がスタートします。

録音中の表示窓

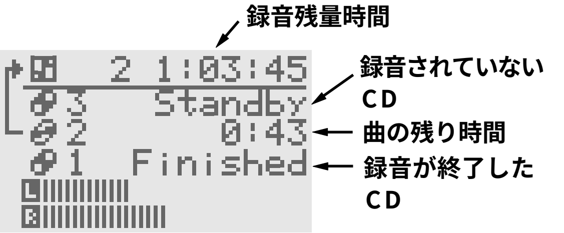
CD を MD に録音しているときの表示窓は次のようになります。

例. 倍速録音をしているとき
（トラックワンオール録音は除く）



- 倍速録音中は「HIGH SPEED RECORDING」がスクロール表示されます。

例. トラックワンオール録音をしているとき



MD の録音残量時間を確認してください

本機のMDに録音するとき、録音モード（SP/LP2/LP4）によって MD の録音残量時間が変わります。録音を開始する前やRECタイマーをお使いになる前に、各録音モード（SP/LP2/LP4）でのMDの録音残量時間を確認してから、最適な録音モード（SP/LP2/LP4）を選んでください。

MD の録音残量時間の確認のしかた
1. **録音用 MD を入れる**
2. **ソース（音源）を MD 以外にする**
3. **LONG MODE を押して録音モードを選ぶ**
4. **REC PAUSE を押す**
   録音待機状態になり、録音残量時間が表示されます。
5. **■ を押す**
   録音待機状態が解除されます。各録音方式の操作または、REC タイマーの操作をします。

MDの録音について

- MD には最大 254 曲まで録音することができます。
- CD の音やデジタル入力端子に接続したデジタル機器（CS/BS チューナーや DAT など）の音は、デジタル信号のまま録音されますが、テープやラジオ放送の音はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。また、本機はサンプリングレートコンバーターを内蔵しているため、デジタル機器のサンプリング周波数（32kHz、44.1kHz、48kHz）に関係なく、聞いたり録音することができます。ただし、DVDなどのドルビーデジタルや DTS デジタル信号には対応していません。
- 録音済みのMDは、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。ディスクがいっぱいになったときはERASE（➡ 74 ページ参照）またはALL ERASE（➡ 76 ページ参照）で、いらない曲を消してから録音してください。（上書き録音はできません。）
- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます。（➡ 64 ページ参照）
- 接続した機器以外の録音レベルは自動で設定されますが、LINE 1 端子または LINE 2 端子に接続した機器の入力レベルは切り換えることができます。（➡ 51 ページ参照）
- 録音中は、音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。
- **録音中または編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。**

トラックマークについて

MDには、聞きたい曲を番号で選ぶために、曲ごとの頭の部分に頭出しのための曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間の部分が「曲」としてみなされます。
- CD を録音するときは、曲の変わり目に自動的にトラックマークがつきます。
  CD 以外のデジタルソースのときも、無音部分が 3 秒以上続くと自動的にトラックマークがつきます。
- FM 放送やテープなどのアナログソースの録音中も、無音部分が3秒以上続くと自動的にトラックマークがつきます。
- CD 以外のソース（音源）を録音中に手動でトラックマークをつけるときは、録音中につけたいところで本体の SET を押してつけます。

倍速録音について（HCMS）

倍速（ハイスピード）録音では、著作権保護のため倍速（定速を超える）録音に関する規定があります。（➡ 89 ページ参照）
この規定により本機では、一度倍速録音した CD の曲はその曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲は再録音できません。
74 分が経過する前に同じ曲を録音しようとすると、表示窓が赤くなり「HCMS CANNOT COPY WARNING」が表示されて録音が停止します。このとき再度録音が可能になるまでの残り時間が表示されます。

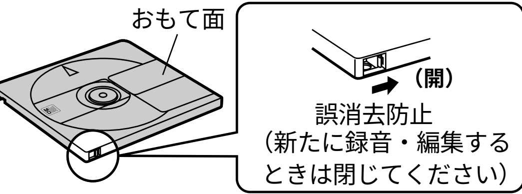
再度録音が可能になるまでの残り時間

このようなときは、**再度録音が可能になるまでの残り時間が表示されてから本体の ■ ボタンを押します。**
CD が停止状態に戻ります。

CDをプログラムして倍速で録音するときは、プログラムの中に同じ曲が入っていると、倍速録音の規定により、録音が途中で停止しますので特にご注意ください。

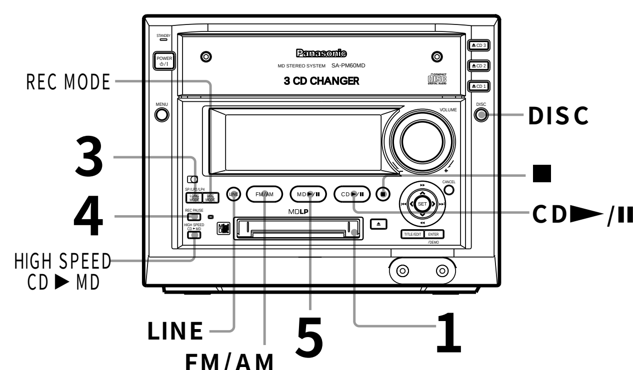
大切な録音を消さないために

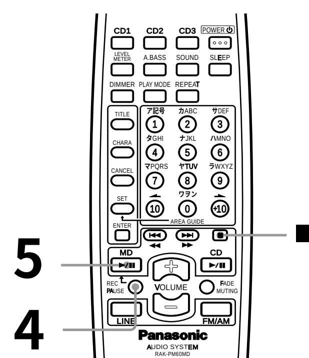
誤消去防止つまみを、穴が開く方向にずらします。



録音の基本操作（マニュアル操作の録音）

CD、ラジオ、接続した機器の音のいずれかを録音一時停止状態から録音します。
REC PAUSE（録音一時停止）ボタンを使います。





1 録音用 MD を入れる

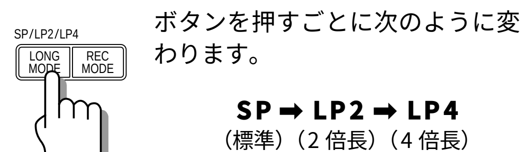
2 録音するソース（音源）を準備する

CD の音を録音するとき：
ソース（音源）を CD にし、停止状態にします。
DISC を押して録音する CD を選び、CD ►/II を押してから、■ を押します。

ラジオを録音するとき：
FM/AM を押してから、録音する放送局を受信します。

接続した機器の音を録音するとき：
接続した機器の電源を入れて再生の準備をしてから、LINE を押してソース（音源）を選びます。
- 接続した機器の名前を変更したときは、「LINE 1」、「LINE 2」や「DIGITAL IN」から変更したソース（音源）名を選びます。
- 入力レベルを切り換えることもできます。（➡ 51 ページ参照）
- ポータブルMDの音を録音するときは、電池残量が十分あることを確認してから録音を開始してください。

3 LONG MODE を押して録音モードを設定する



ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 「SP」、「LP2」、「LP4」については、「ステレオ長時間録音」（➡ 53 ページ参照）をご覧ください。

4 REC PAUSE を押す

リモコンを使うときは、REC PAUSE を押します。
録音ランプが点滅し、録音残量時間が表示されます。

5 MD ►/II（本体またはリモコン）を押す

録音が開始します。
録音ランプの点滅が点灯に変わります。

このあとソースの音を出します。

CD の音を録音するとき：
CD ►/II を押します。

接続した機器の音を録音するとき：
接続した機器の再生操作をします。
- 録音を始めるとMDの録音残量時間が減っていきます。
- MD の録音残量時間がなくなると、録音が自動停止します。

録音を途中で止める

■ を押します。
CD を録音しているときは、CD も同時に停止します。

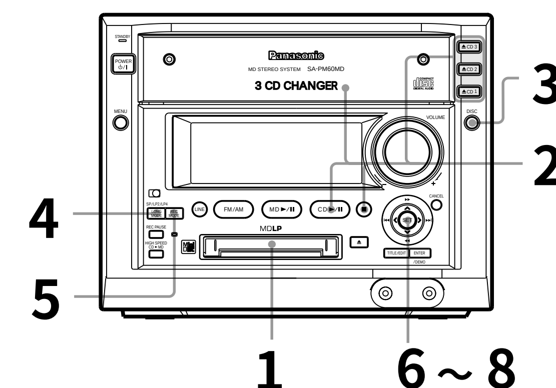
録音を一時停止する

録音中に REC PAUSE（本体またはリモコン）を押します。録音ランプが点滅します。
録音を再開するときは、MD ►/II（本体またはリモコン）を押します。

お願い
- マニュアル操作の録音で CD を録音したとき、録音する CD によっては、録音を始めた曲に曲番号（トラックマーク）が 2 つできることがありますが、これは故障ではありません。このようなときは、「曲をつなげる（COMBINE）」（➡ 72 ページ参照）の操作をしてつなげてください。または、REC MODE ボタンや HIGH SPEED CD ► MD ボタンを使って録音してください。

1CD シンクロ録音（REC MODE を使った録音）

CD の演奏と MD の録音を同時に始めることができます。
選んだ 1 枚の CD の演奏が終了すると MD の録音も同時に終了します。

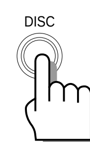


1 録音用 MD を入れる

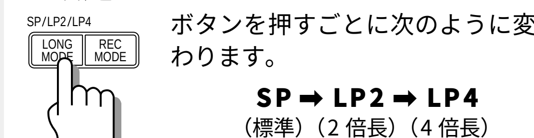
2 CD を入れ、CD ►/II を押してから ■ を押す

ソース（音源）を CD にして停止状態にします。
「CD を入れる」（➡ 29 ページ参照）

3 DISC を押して録音する CD を選ぶ



4 LONG MODE を押して録音モードを設定する



ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 「SP」、「LP2」、「LP4」については、「ステレオ長時間録音」（➡ 53 ページ参照）をご覧ください。

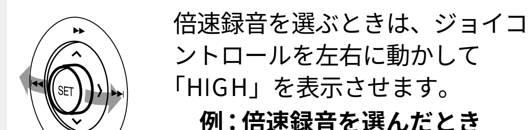
5 REC MODE を押す

6 ジョイコントロールを下（⌵ 側）に動かして「1CD➔MD」を選ぶ

7 ジョイコントロールを左右に動かして録音する速度を選ぶ

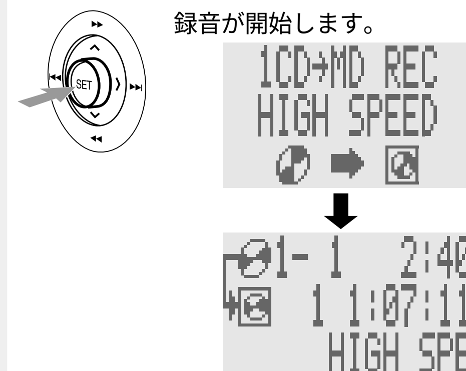
倍速録音を選ぶときは、ジョイコントロールを左右に動かして「HIGH」を表示させます。

例：倍速録音を選んだとき



8 SET を押す

録音が開始します。



- 選んだ CD の録音が終了すると、録音が自動停止します。

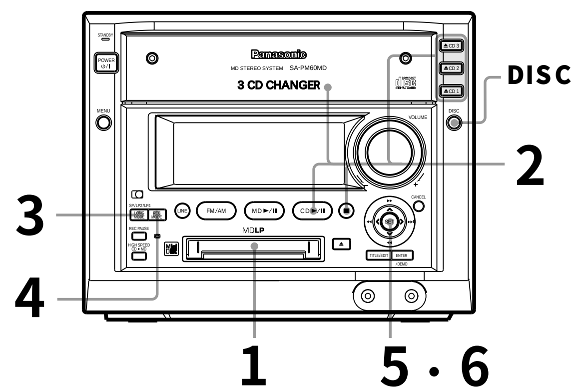
録音を途中で止める

録音を途中で停止するときは、■ を押します。
MD と CD が同時に停止します。

お知らせ
- 倍速録音中に CD および他のソース（音源）の音を聞くことはできません。
  倍速録音中に本体またはリモコンで音量調節をすると「CANNOT LISTEN !」が表示されます。
- 1CD シンクロ録音をすると、CD と MD のリピートモードが解除されます。

CD シンクロ録音（$\overset{\text{レック}}{\text{REC}}$ $\overset{\text{モード}}{\text{MODE}}$ を使った録音）

3 枚の CD の連続録音やプログラム録音、ランダムな曲順での録音ができます。
演奏中の曲だけを録音する 1 曲録音もできます。



1 録音用 MD を入れる

2 CD を入れ、CD ►/II を押してから ■ を押す

ソース（音源）を CD にして停止状態にします。
「CD を入れる」（➡ 29 ページ参照）

- 録音を開始する CD を選ぶときは、DISC を押して CD を選びます。

3 LONG MODE を押して録音モードを設定する

SP/LP2/LP4
LONG MODE　REC MODE

ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

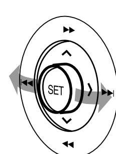
- 「SP」、「LP2」、「LP4」については、「ステレオ長時間録音」（➡ 53 ページ参照）をご覧ください。

4 REC MODE を押す

SP/LP2/LP4
LONG MODE　REC MODE

REC MODE
◀CD➔MD ▶
◀TR 1 ALL▶
◀1CD➔MD ▶
START OK?➔SET

5 ジョイコントロールを左右に動かして録音する速度を選ぶ

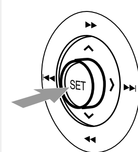


倍速録音を選ぶときは、ジョイコントロールを左右に動かして「HIGH」を表示させます。

例：倍速録音を選んだとき

REC MODE
◀CD➔MD ▶HIGH
◀TR 1 ALL▶
◀1CD➔MD ▶
START OK?➔SET

6 SET を押す



録音が開始します。

CD➔MD REC
HIGH SPEED

⬇

1- 1 2:40
1 1:07:11
HIGH SPE

- MD の録音残量時間がなくなると、録音が自動停止します。
- CD トレイに入っているすべての CD の録音が終了すると、録音が自動停止します。
- 録音していない CD の ▲ を押して、CD を入れ換えることができます。
  CD の演奏順に、最後に入れ換えた CD の録音が終了すると自動停止します。

録音を途中で止める

録音を途中で停止するときは、■ を押します。
MD と CD が同時に停止します。

CD をプログラムして録音する

1. **録音用 MD を入れる**
2. **CD ►/II を押してから ■ を押す**
3. **CD のプログラム予約の操作をする**
   （➡ 32 ～ 34 ページ参照）
   プログラムが終わっても CD►/II は押さないでください。
4. **58 ページの手順 3 ～ 6 の操作をする**
   プログラムした順に録音されます。
   プログラムの最後の曲が終了すると、録音が自動停止します。

CD をランダムな曲順で録音する

1. **録音用 MD を入れる**
2. **CD ►/II を押してから ■ を押す**
3. **CD のランダム演奏のモードにをする**
   （➡ 36 ～ 37 ページ参照）
   「CD RANDOM」が表示されたあと、CD►/II は押さないでください。
4. **58 ページの手順 3 ～ 6 の操作をする**
   ランダムな曲順で録音されます。
   ランダム演奏の最後の曲が終了すると、録音が自動停止します。

お願い

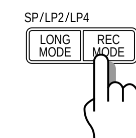
- 手順 **5** で倍速録音を選んでいる場合、倍速録音開始から 74 分を経過しないと、同じ曲を続けて録音することはできません。これは著作権保護のためです。（➡ 89 ページ参照）
  プログラム録音などで同じ曲がプログラムされている場合、その曲の 2 回目の録音時に「HCMS CANNOT COPY !」が表示され、録音が途中で終了します。

お知らせ

- 倍速録音中に CD および他のソース（音源）の音を聞くことはできません。
  倍速録音中に本体またはリモコンで音量調節をすると「CANNOT LISTEN !」が表示されます。

演奏中の曲だけを録音する（1 曲録音）

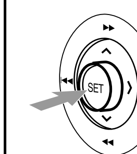
1. **録音用 MD を入れる**
2. **CDを演奏中（または一時停止中）にREC MODE を押す**



REC MODE
◀1TRK.➔MD▶
START OK?➔SET

- 倍速録音を選ぶときは、ジョイコントロールを左右に動かして「HIGH」を表示させます。

3. **SET を押す**



演奏中（または一時停止中）の曲の頭に戻り、その曲だけを録音します。

1TRK.➔MD REC
START

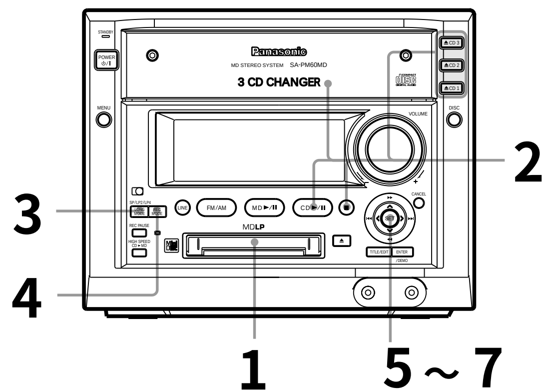
⬇

1- 1 2:40
1 1:07:11

- 1 曲録音が終了すると、CD と MD は自動停止します。

トラックワンオール録音（REC MODE を使った録音）

各 CD の 1 曲目だけを続けて録音することができます。ヒット曲集などを作るときに便利です。
CD1 のトレイに必ず CD を入れてください。



1 録音用 MD を入れる

2 CD を入れ、CD ►/II を押してから ■ を押す

ソース（音源）を CD にして停止状態にします。
「CD を入れる」（➡ 29 ページ参照）
- **CD1 には必ず CD を入れてください。CD1 に CD が入っていないとトラックワンオール録音はできません。**

3 LONG MODE を押して録音モードを設定する

ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 「SP」、「LP2」、「LP4」については、「ステレオ長時間録音」（➡ 53 ページ参照）をご覧ください。

4 REC MODE を押す

5 ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「TR 1 ALL」を選ぶ

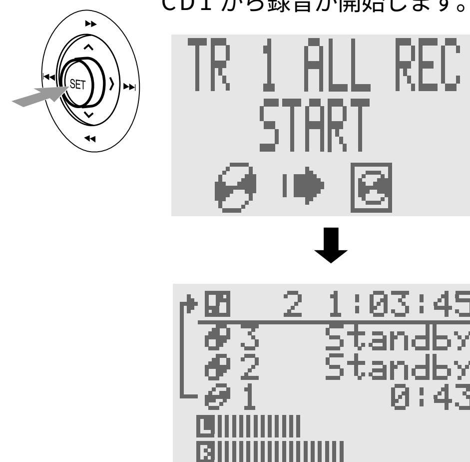
6 ジョイコントロールを左右に動かして録音する速度を選ぶ

倍速録音を選ぶときは、ジョイコントロールを左右に動かして「HIGH」を表示させます。

例：倍速録音を選んだとき

7 SET を押す

CD1 から録音が開始します。



- CD トレイに入っているすべての CD の 1 曲目の録音が終了すると、録音が自動停止します。
- 録音していない CD の ▲ を押して、CD を入れ換えることができます。
  CD の演奏順に、最後に入れ換えた CD の録音が終了すると自動停止します。

4 枚以上連続して録音する

1 枚の録音が終了したら
1. 終了した CD を入れ換える
2. 順次終了した CD を入れ換える
⋮
CD の演奏順に、最後に入れ換えた CD の録音が終了すると、自動停止します。

録音を途中で止める

録音を途中で停止するときは、■ を押します。
MD と CD が同時に停止します。

お願い

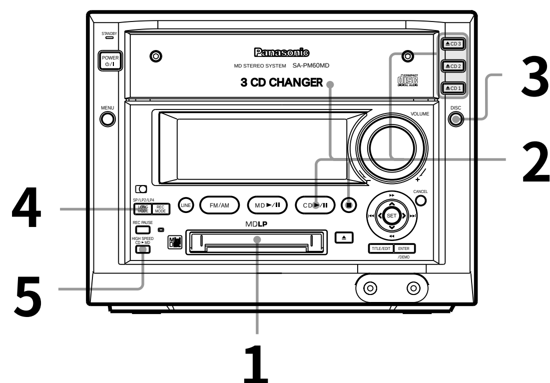
- 手順 **6** で倍速録音を選んでいる場合、倍速録音開始から 74 分を経過しないと、同じ曲を続けて録音することはできません。これは著作権保護のためです。（➡ 89 ページ参照）

お知らせ

- 倍速録音中に CD および他のソース（音源）の音を聞くことはできません。
  倍速録音中に本体またはリモコンで音量調節をすると「CANNOT LISTEN！」が表示されます。
- トラックワンオール録音をすると CD と MD のリピートモードは解除されます。

ワンタッチで倍速録音をする

HIGH SPEED CD ► MD ボタンを使うとワンタッチで CD を倍速録音することができます。

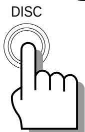


1　録音用 MD を入れる

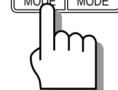
2　CDを入れ、CD ►/II を押してから ■ を押す

ソース（音源）を CD にして停止状態にします。
「CD を入れる」（➡ 29 ページ参照）

3　DISC を押して録音する CD を選ぶ



4　LONG MODE を押して録音モードを設定する

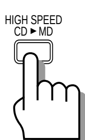


ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 「SP」、「LP2」、「LP4」については、「ステレオ長時間録音」（➡ 53 ページ参照）をご覧ください。

5　HIGH SPEED CD ► MD を押す



倍速録音が開始します。

録音を途中で止める

録音を途中で停止するときは、■ を押します。
MD と CD が同時に停止します。

演奏中の曲だけを倍速録音する（1 曲録音）

CD を演奏中（または一時停止中）に
HIGH SPEED CD ► MD を押します。
演奏中（または一時停止中）の曲の頭に戻り、その曲だけを録音します。

1曲録音が終了すると、CDとMDは自動停止します。

CD をプログラムして録音する

1. **録音用 MD を入れる**
2. **CD ►/II を押してから ■ を押す**
3. **CD のプログラム予約の操作をする**
（➡ 32 ～ 34 ページ参照）
プログラムが終わってもCD►/IIは押さないでください。
4. **HIGH SPEED CD ► MD を押す**
プログラムした順に録音されます。
プログラムの最後の曲が終了すると、録音が自動停止します。

CD をランダムな曲順で録音する

1. **録音用 MD を入れる**
2. **CD ►/II を押してから ■ を押す**
3. **CD のランダム演奏のモードにする**
（➡ 36 ～ 37 ページ参照）
「CD RANDOM」が表示されたあと、CD►/II は押さないでください。
4. **HIGH SPEED CD ► MD を押す**
ランダムな曲順で録音されます。
ランダム演奏の最後の曲が終了すると、録音が自動停止します。

お願い

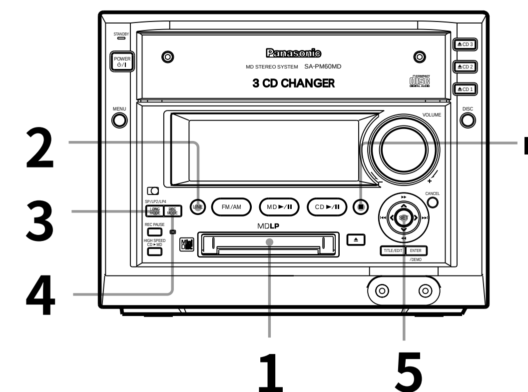
- 手順 **5** で倍速録音を始めた場合、倍速録音開始から 74 分を経過しないと、同じ曲を続けて録音することはできません。これは著作権保護のためです。（➡ 89 ページ参照）
プログラム録音などで同じ曲がプログラムされている場合、その曲の 2 回目の録音時に「HCMS CANNOT COPY！」が表示され、録音が途中で終了します。

お知らせ

- 倍速録音中に CD および他のソース（音源）の音を聞くことはできません。
倍速録音中に本体またはリモコンで音量調節をすると「CANNOT LISTEN！」が表示されます。

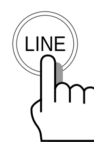
接続した機器の音を録音する（サウンドシンクロ録音）

LINE 1 端子、LINE 2 端子またはデジタル入力端子に接続した機器の音を、演奏開始に合わせて録音を開始するサウンドシンクロ録音ができます。



1　録音用 MD を入れる

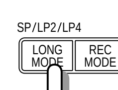
2　録音したい機器の電源を入れ、LINE を押してソース（音源）を選ぶ



LINEを押して「LINE 1」、「LINE 2」、「DIGITAL IN」から選びます。

- 接続した機器の名前を変更したときは、変更したソース（音源）名を選びます。
- テープを入れるなどして接続した機器の準備をします。接続した機器は、必ず停止状態にしておきます。演奏が始まっているとうまく録音できません。

3　LONG MODE を押して録音モードを設定する



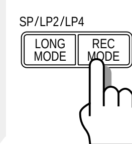
ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 「SP」、「LP2」、「LP4」については、「ステレオ長時間録音」（➡ 53 ページ参照）をご覧ください。

4　REC MODE を押す

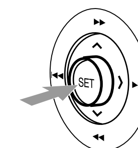
「SOUND SYNCHRO」が表示されます。



REC MODE
SOUND SYNCHRO
START OK?➔SET

5　SET を押す

録音ランプが点滅し録音待機状態になります。



例：「LINE 1」の音を録音するとき

SOUND SYNCHRO
START

⬇

LINE1 Ready
1 1:07:43

6　録音するソース（音源）を演奏状態にする

ソース（音源）の演奏開始に合わせてサウンドシンクロ録音が始まります。

- 録音ランプの点滅が点灯に変わります。

LINE1
1 1:07:39

- MD の録音残量時間がなくなると、自動停止します。

録音を途中で止める

録音を途中で停止するときは、■ を押します。

お願い

- サウンドシンクロ録音は、ソース機器の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。
接続した他の機器や演奏する音量によっては、うまく録音できないことがあります。このようなときは、マニュアル操作の録音をしてください。（➡ 56 ページ参照）
- 録音ソースの音が 30 秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音が終了した MD の空白時間は約 2 秒になります。
- DATからの音をサウンドシンクロ録音すると、録音を始めた曲番号（トラックマーク）が 2 つつきますが、これは故障ではありません。COMBINE 機能（➡ 72 ページ参照）でつないでください。

タイトルをつける

本体またはリモコンを使って、MDにディスクタイトルや曲タイトルをつけることができます。

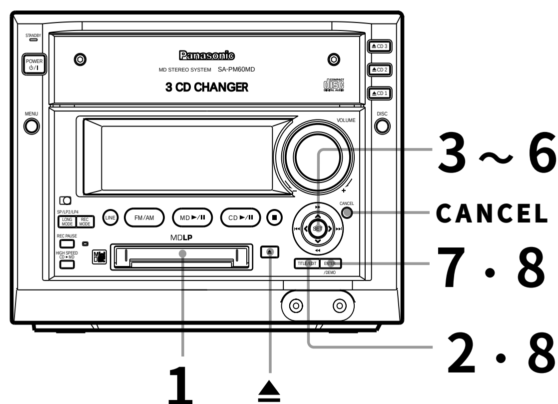
タイトルをつける前に

- REC MODE または HIGH SPEED CD ▶ MD ボタンを使って CD を録音中は、16 曲分のタイトルを先行して入力できます(**タイトルリザーブ機能**)。ただし、録音する曲より多くのタイトルを入力すると、はみ出したタイトルは取り消されます。
- タイトル入力の操作をしたあと ▲ を押して MD を取り出すと、MDが出てくる前に「WRITING」が点滅表示され、編集した内容が MD に記録されます。「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。「タイトルをつける」の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDにはタイトルをつけることができません。「タイトルをつける」の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MD が停止状態でプレイモードが「PROGRAM」または「RANDOM」のときに、TITLE/EDIT ボタンまたは TITLE ボタン(リモコン)を押すと通常演奏になり、タイトル入力ができます。
- MD がプログラム演奏中またはランダム演奏中は TITLE/EDIT ボタンまたは TITLE ボタン(リモコン)を押してもタイトル入力できません。
- 本体でタイトル入力の操作をしているときは、リモコンを使ったタイトル入力操作はできません。また、リモコンでタイトル入力操作をしているときは、本体を使ったタイトル入力操作はできません。「NO OPERATE!」が表示されます。
- 62 文字以上のタイトルが入力されている MD は、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。

MD に入力できる文字数について

1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字・記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。
カタカナを使用したときも、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。またスペース(空白)は、文字と同じ量のデータを必要とします。
ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭に「LP:」とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。
例:
- ステレオ長時間録音で 120 曲を録音した MD では、全曲に英数字で平均10文字ずつタイトル入力することができます。
- ステレオ長時間録音で 60 曲を録音した MD では、全曲にカタカナで平均10文字ずつタイトル入力することができます。

停止中または演奏中に本体で操作する



1 タイトルをつける MD を入れる

2 TITLE/EDIT を押す
「TITLE/EDIT」が表示されます。

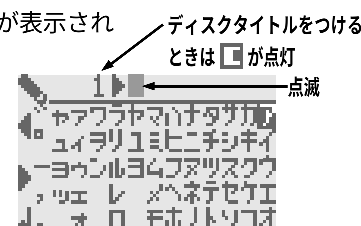
3 SET を押す
タイトル入力表示が表示されます。

- MDが停止中にディスクタイトルをつける場合は、この操作のあと手順 **5** に進んでください。
- MD が演奏中または一時停止中のときは、選ばれている曲のタイトル入力表示が表示されます。

4 曲のタイトルをつけるとき
ジョイコントロールを左右に動かしてタイトルをつける曲のタイトル入力表示を表示させる
例えば、1 曲目を選んだときのタイトル入力表示は手順 **3** の右側の表示になります。

MDが演奏中または一時停止中にディスクタイトルをつけるとき
ジョイコントロールを左に動かしてディスクのタイトル入力表示を表示させる
ディスクのタイトル入力表示は手順**3**の左側の表示になります。

5 SET を押す
文字入力画面が表示されます。



6 タイトルを入力する (最大61文字まで)
「文字入力のしかた」(➡ 右の説明)をご覧ください。

- 演奏中にディスクタイトルを入力しているときは、手順 **7** の ENTER を押すまで MD 全曲がくり返し演奏されます。
- 演奏中に曲タイトルを入力しているときは、手順 **7** の ENTER を押すまでその曲がくり返し演奏されます。

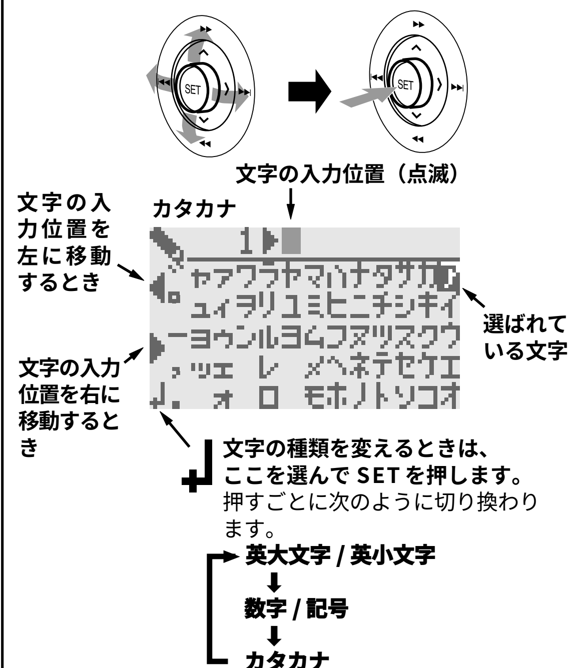
7 ENTER を押す
- ディスクタイトルをつけたときは、1 曲目のタイトル入力表示が表示されます。
  演奏中は、1 曲目の演奏になります。
- 次の曲があるときは、次の曲のタイトル入力表示が表示されます。
  演奏中は、次の曲の演奏になります。
- 最後の曲にタイトルをつけたときは、最後の曲のタイトル入力表示が表示されます。
  演奏中は、最後の曲がくり返し演奏されます。

8 続けてタイトル入力をするとき:手順 4 ～ 7 の操作をする
タイトル入力を終了するとき:TITLE/EDIT または ENTER を押す
MD の通常表示に戻ります。

▲ を押して MD を取り出す。
MDが出てくる前に「WRITING」が点滅表示され、編集した内容が MD に記録されます。

文字入力のしかた

ジョイコントロールを上下左右に動かして入力する文字や記号を選んでから、SET を押します。

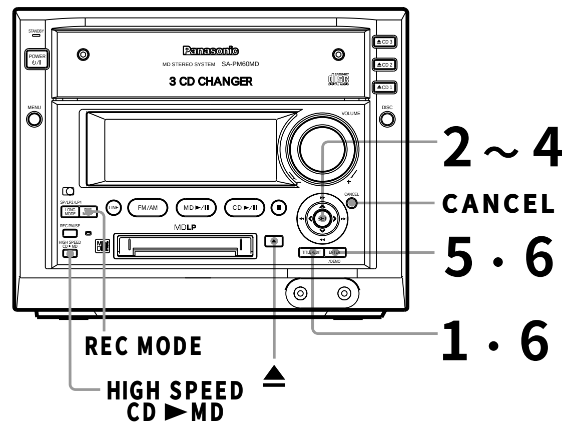


- 文字を間違えたときは CANCEL を押します。
  文字の入力位置を移動してから CANCEL を押すと、点滅していた文字が消えます。
- 空白部分を選んで SET を押すとスペース(空白)が入力されます。
- 濁点や半濁点は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。

タイトルをつける（つづき）

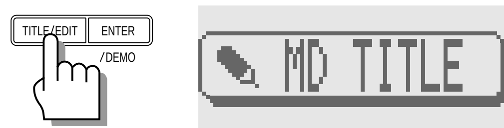
録音中に本体でタイトルをつける

64 ページ「タイトルをつける前に」を読んでから操作してください。



1 録音中に TITLE/EDIT を押す

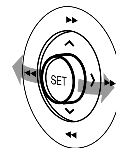
「MD TITLE」が表示されてから、録音中の曲のタイトル入力表示が表示されます。



例：1 曲目を録音中のとき

• 録音中の曲に曲タイトルをつけるときは、手順 **3** へ進みます。

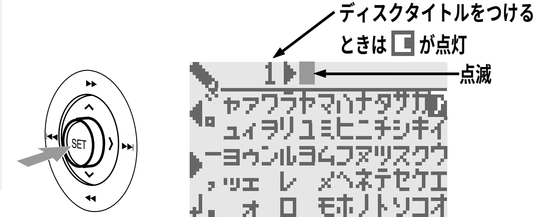
2 ジョイコントロールを左右に動かしてタイトルをつける曲またはディスクを選ぶ



• REC MODE または HIGH SPEED CD ▶ MD ボタンを使って CD を録音中（1 曲録音は除く）は、録音中の曲以降の曲（これから録音される曲）を選ぶこともできます。

3 SET を押す

文字入力画面が表示されます。

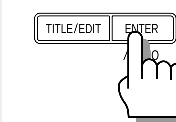


4 タイトルを入力する（最大 6 1 文字まで）

「文字入力のしかた」（➡ 65 ページ）をご覧ください。

• タイトルを入力中に次の曲の録音が始まっても継続してタイトルを入力することができます。

5 ENTER を押す



• ENTER を押しても録音は続きます。
• REC MODEまたはHIGH SPEED CD ▶ MD ボタンを使ってCDを録音中（1曲録音は除く）は、次の曲のタイトル入力表示が表示されます。タイトルリザーブ機能（➡ 64 ページ参照）によって16曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することもできます。手順 **3**～**5** の操作をくり返します。
• 録音が終了するまでにENTERを押さなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。

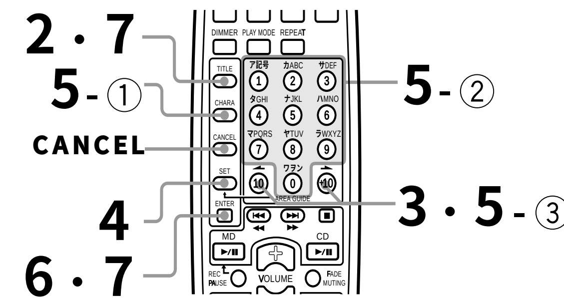
6 タイトル入力を終了するときは、TITLE/EDIT または ENTER を押す

録音中の表示に戻ります。

録音が終了して MD を取り出すときは、▲を押します。

リモコンでタイトルをつける

64 ページ「タイトルをつける前に」を読んでから操作してください。

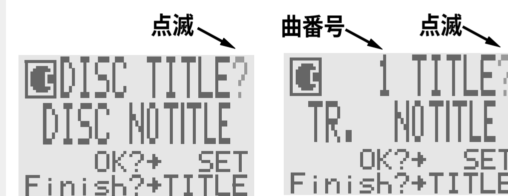


1 タイトルをつける MD を入れる

2 TITLE を押す

「MD TITLE」が表示されてから、タイトル入力表示が表示されます。

例：MD が停止中のとき　例：1 曲目を演奏中のとき



• MDが停止中にディスクタイトルをつける場合は、この操作のあと手順 **4** に進んでください。
• MD が演奏中または一時停止中のときは、選ばれている曲のタイトル入力表示が表示されます。
• 録音中のときは、録音中の曲のタイトル入力表示が表示されます。

3 曲のタイトルをつけるとき

⑩ または ⑩ を押してタイトルをつける曲のタイトル入力表示を表示させる

例えば、1 曲目を選んだときのタイトル入力表示は手順 **2** の右側の表示になります。

MDが演奏中または一時停止中にディスクタイトルをつけるとき
MD を録音中にディスクタイトルをつけるとき

⑩ を押してディスクのタイトル入力表示を表示させる

ディスクのタイトル入力表示は手順**2**の左側の表示になります。

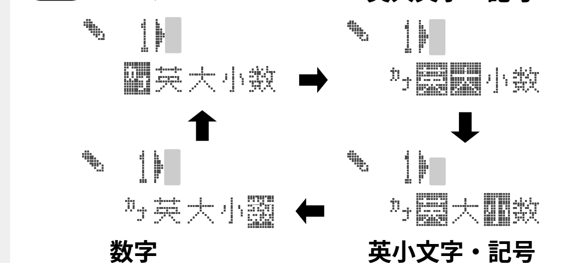
4 SET を押す

文字入力画面が表示されます。

5 タイトルを入力する（最大 6 1 文字まで）

① **文字の種類を選ぶときは、CHARA を押す（「文字配列表」➡ 68 ページ参照）**

押すごとに文字の種類が変わります。



② **文字を選ぶときは、数字キーを押す**

カタカナ

①～⑨ ：ア行からラ行までが割り当ててあります。

⓪ ：「ワ、ヲ、ン」と「゛、ー、゜」が割り当ててあります。

例：メを入力するときは ⑦ を 4 回押す。

英大文字・英小文字入力

ボタンの上に印刷してある文字を入力します。記号は ① にあります。

例：K を入力するときは ⑤ を 2 回押す。

• 文字を間違えたときは、CANCEL を押します。

③ **文字の入る場所を移動する**

⑩ または ⑩ を押します。

文字の最後尾にスペース（空白）を入れるときは、⑩ を押す。

④ **上記の操作をくり返して入力していく**

• 演奏中にディスクタイトルを入力しているときは、手順 **6** の ENTER を押すまで MD 全曲がくり返し演奏されます。
• 演奏中に曲タイトルを入力しているときは、手順 **6** の ENTER を押すまでその曲がくり返し演奏されます。
• 録音中は、タイトルを入力中に次の曲の録音が始まっても継続してタイトルを入力することができます。

タイトルをつける

68 ページへ続く

リモコンでタイトルをつける（つづき）

6 ENTERを押す

ENTER

MDが停止中または演奏中のとき：

- ディスクタイトルをつけたときは、1曲目のタイトル入力表示が表示されます。
  演奏中は、1曲目が演奏されます。
- 次の曲があるときは、次の曲のタイトル入力表示が表示されます。
  演奏中は、次の曲が演奏されます。
- 最後の曲にタイトルをつけたときは、最後の曲のタイトル入力表示が表示されます。
  演奏中は、最後の曲がくり返し演奏されます。

録音中のとき：

- ENTERを押しても録音は続きます。
- REC MODEまたはHIGH SPEED CD ▶ MDボタンを使ってCDを録音中（1曲録音は除く）は、次の曲のタイトル入力表示が表示されます。タイトルリザーブ機能（➡ 64ページ参照）によって16曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することもできます。
- 録音が終了するまでにENTERを押さなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。

7 続けてタイトル入力をするとき：手順3～6の操作をする

タイトル入力を終了するとき：TITLEまたはENTERを押す

MDの通常表示に戻ります。

本体の ▲ を押してMDを取り出します。
MDが出てくる前に「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

リモコンの文字配列表

ボタン	数字	カ　ナ	英大	英小
ア記号 ①	1	アイウエオァィゥェォ	記号＊	記号＊
カABC ②	2	カキクケコ	ABC	abc
サDEF ③	3	サシスセソ	DEF	def
タGHI ④	4	タチツテトッ	GHI	ghi
ナJKL ⑤	5	ナニヌネノ	JKL	jkl
ハMNO ⑥	6	ハヒフヘホ	MNO	mno
マPQRS ⑦	7	マミムメモ	PQRS	pqrs
ヤTUV ⑧	8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv
ラWXYZ ⑨	9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz
ワヲン ⓪	0	ワヲン゛ー゜		

＊記号で表示するキャラクター

□（スペース）				！	”	＃	＄	％	＆
’	（	）	＊	＋	，	－	．	／	：
；	＜	＝	＞	？	＠	＿	｀		

MDを編集する前に

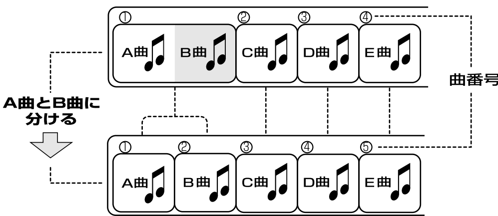
MDを編集する前に

- MDの編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を消す」、「全曲を消す」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDが停止状態でプレイモードが「PROGRAM」または「RANDOM」のときに、TITLE/EDITボタンを押すと通常演奏になります。
  プログラムされているときは、MDの編集操作をするとプログラムの内容が削除されます。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
  「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でTITLE/EDITを押すと、編集操作を解除することができます。

MD編集機能の紹介

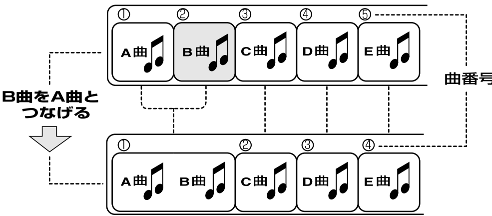
曲を分ける（DIVIDE）　➡ 70ページ

曲の途中や必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。



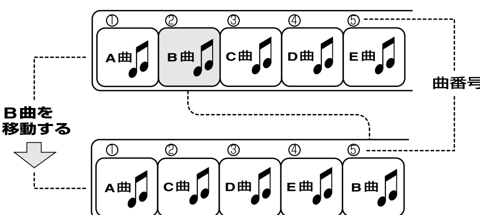
曲をつなげる（COMBINE）　➡ 72ページ

トラックマークを削除して、指定した曲とその1つ前の曲を1つの曲番号にまとめます。



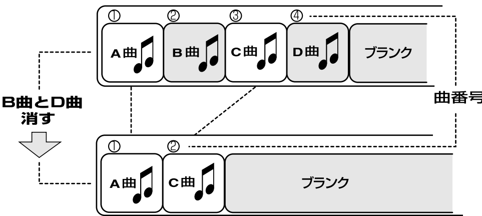
曲を移動する（MOVE）　➡ 73ページ

曲を移動します。



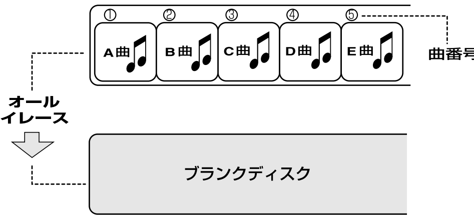
曲を消す（ERASE）　➡ 74ページ

消したい曲を一度に15曲まで消すことができます。



全曲を消す（ALL ERASE）　➡ 76ページ

ディスクの内容をすべて消去します。



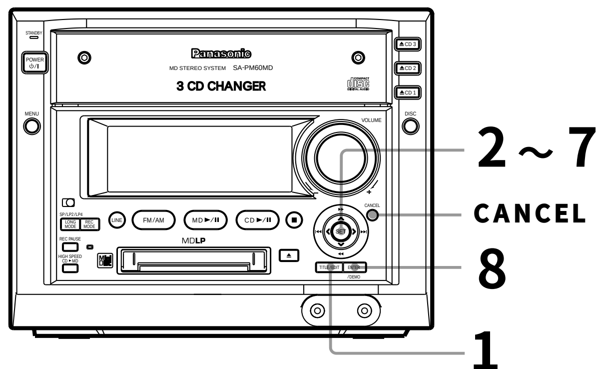
お知らせ

- 「曲をつなげる（COMBINE）」とき、録音モード（SP/LP2/LP4）の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT COMBINE」が表示されます。

曲を分ける（DIVIDE）

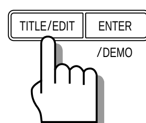
ディバイド

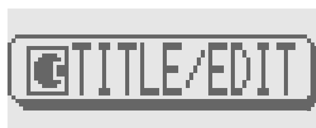
曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分割することができます。
メドレーや FM 放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分割した曲以降の曲番号は自動的にふえます。
「MD を編集する前に」（➡ 69ページ参照）を読んでから操作してください。



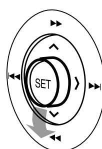
1　TITLE/EDIT を押す

「TITLE/EDIT」が表示されます。

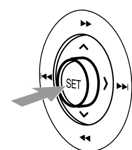


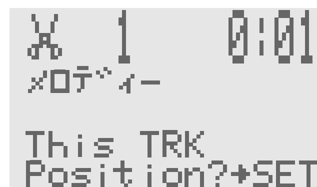


2　ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「DIVIDE」を選ぶ



3　SET を押す

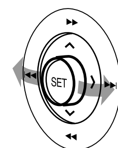


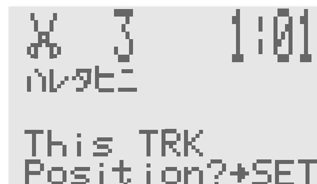


• MD が停止中のときは、1 曲目の演奏が始まります。

4　ジョイコントロールを左右に動かして分けたい曲を選ぶ

例：3 曲目を選んだとき

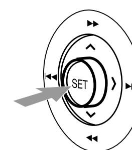




• ジョイコントロールを左右に動かさないと同じ曲をくり返し演奏します。

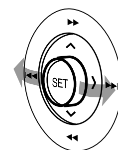
5　分けたいところで SET を押す

SETを押したところから約3秒後までがくり返し演奏されます。



• SET を押す前にジョイコントロールを上下に動かして分けたい部分に早送り／早戻しすることもできます。
• 希望どおりに分けられたときは、手順 **7** に進みます。
• 分けたいところをやり直すときは、CANCEL を押します。
• 曲の頭やナレーションなどにかかっているときは、手順 **6** へ進みます。分ける場所が微調節できます。

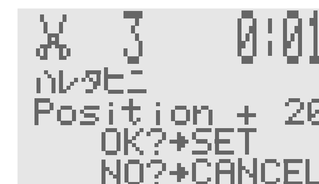
6　ジョイコントロールを左右に動かして微調節する



前後 8 秒で調節できます。
• 数値は－ 128 から＋ 128 の範囲で表示されます。

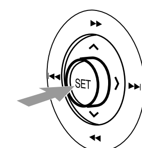
トラックマークが少しずつ移動し、移動したところから約 3 秒後までがくり返し演奏されます。

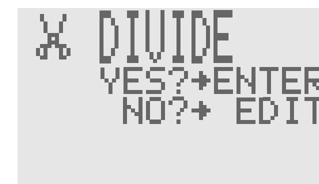
例：＋ 20 ポジション微調節したとき



• 分けたいところをやり直すときは、CANCEL を押します。

7　SET を押す

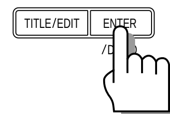


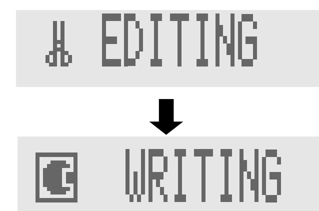


• 分割しないときは、TITLE/EDIT を押します。

8　ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。





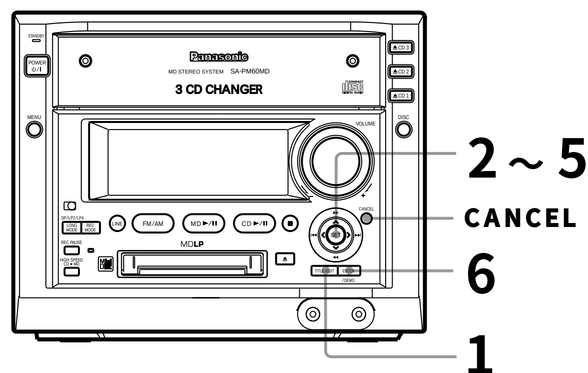
お知らせ

• 編集を途中で止めるときは、TITLE/EDIT を押します。
• もとに戻すときは、COMBINE（コンバイン）の操作をします。「曲をつなげる（COMBINE）」（➡ 72ページ参照）
• MDによっては「曲を分ける」ことができないものがあります。（例えば、254 曲録音してあるものなど）このような MD のときは、手順 **8** で ENTER を押すと「DISC FULL」が表示されます。
• LP2（2 倍長時間録音）またはLP4（4 倍長時間録音）において、DIVIDE編集を行うと、手順 **6** で微調節できる範囲が狭くなったり、くり返し演奏される時間が短くなったりする場合があります。
• LP4（4 倍長時間録音）において、DIVIDE編集を行うと、分けた部分でのみ左右のチャンネル間で若干の音漏れを生じる場合があります。

曲をつなげる（COMBINE）

コンバイン

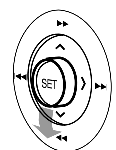
不要なトラックマークを取り除いてとなりあう 2 つの曲を 1 曲にして曲をまとめることができます。
COMBINE をすると曲番号は自動的に減少します。
「MD を編集する前に」（➡ 69 ページ参照）を読んでから操作してください。

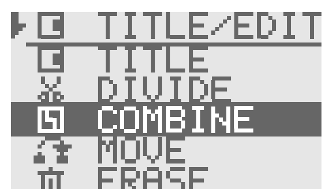


1　TITLE/EDIT を押す

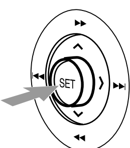
「TITLE/EDIT」が表示されます。

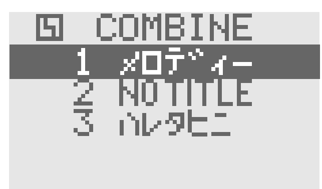
2　ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「COMBINE」を選ぶ





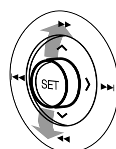
3　SET を押す

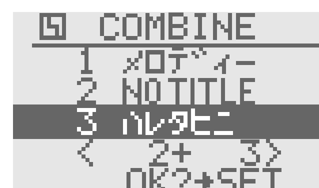




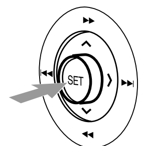
4　ジョイコントロールを上下に動かしてつなげたい曲を選ぶ

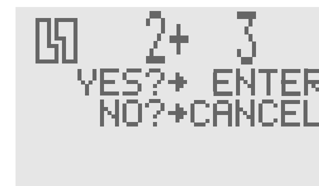
例：2 曲目と 3 曲目をつなげるときは、3 曲目を選びます。前の曲とつなげることができます。





5　SET を押す

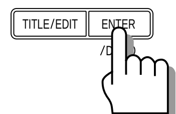


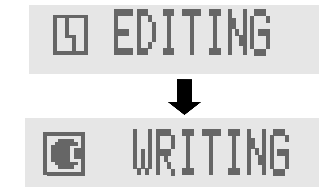


• つなげる曲を選び直すときは CANCEL を押します。手順 **4** の表示に戻ります。

6　ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され編集した内容が MD に記録されます。





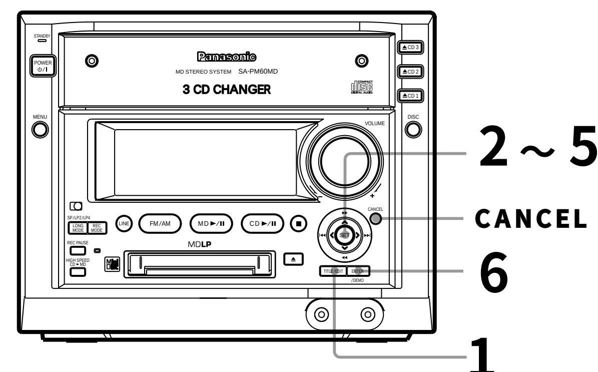
お知らせ

• 編集を途中で止めるときは、TITLE/EDIT を押します。
• もとに戻すときは、DIVIDE（ディバイド）の操作をします。「曲を分ける（DIVIDE）」（➡ 70 ページ参照）
• 2 曲を 1 曲にまとめると、後ろの曲についていたタイトルは消え、前の曲のタイトルになります。
• 録音モード（SP/LP2/LP4）の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT COMBINE」が表示されます。
• MD によっては「曲をつなげる」ことができないものがあります。(例えば、1曲しか録音されていない MD など）このような MD を入れて TITLE/EDIT を押すと、手順 **2** の表示に「COMBINE」が表示されません。
• LP4（4 倍長時間録音）において、COMBINE 編集を行うと、つないだ部分でのみ左右のチャンネル間で若干の音漏れを生じる場合があります。

曲を移動する（MOVE）

ムーブ

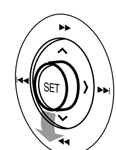
移動したい曲と移動先を選んで曲を並べ替えます。
「MD を編集する前に」（➡ 69 ページ参照）を読んでから操作してください。



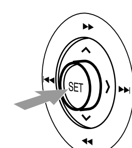
1　TITLE/EDIT を押す

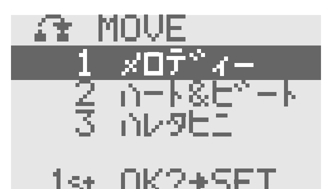
「TITLE/EDIT」が表示されます。

2　ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「MOVE」を選ぶ



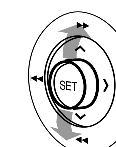
3　SET を押す

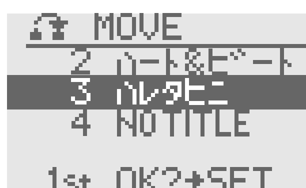


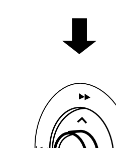


4　ジョイコントロールを上下に動かして移動する曲を選んでから、SET を押す

例：3 曲目を移動するとき





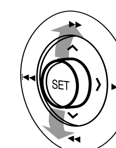


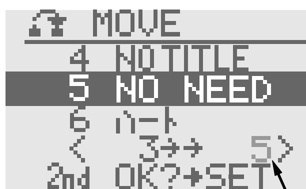
点滅

• 曲番号を間違えたときは CANCEL を押してから、もう一度曲番号を選びます。

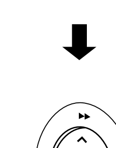
5　ジョイコントロールを上下に動かして移動先を選んでから、SET を押す

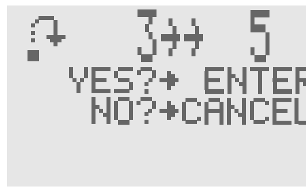
例：移動先を 5 曲目にしたとき





点滅





• 曲番号を間違えたときは CANCEL を押してから、もう一度曲番号を選びます。

74 ページへ続く

曲を移動する（つづき）

6 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され編集した内容が MD に記録されます。

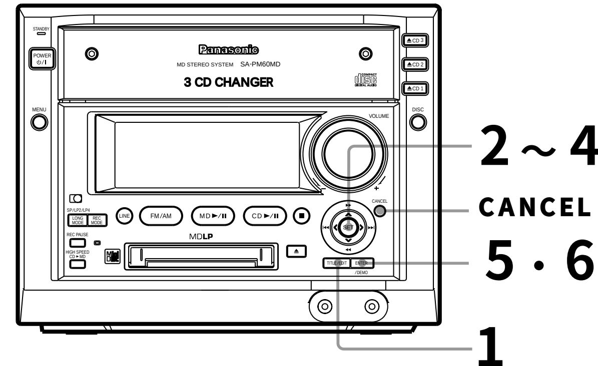
お知らせ

- 編集を途中で止めるときは、TITLE/EDIT を押します。
- MD によっては「曲を移動する」ことができないものがあります。(例えば、1曲しか録音されていないMDなど）このようなMDを入れてTITLE/EDITを押すと、手順 **2** の表示に「MOVE」が表示されません。

曲を消す（ERASE）

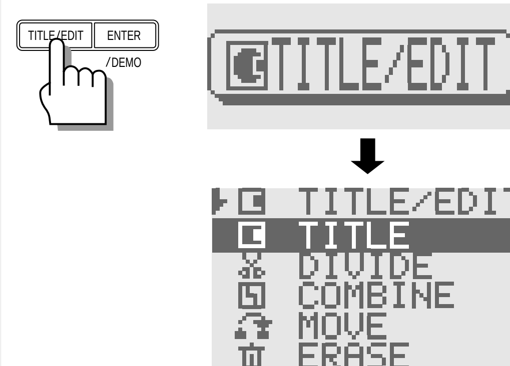
（ERASE：イレース）

指定した曲を消します。最大15曲まで1回の操作で消すことができます。曲番号は自動的に減ります。
「MDを編集する前に」(➡ 69 ページ参照) を読んでから操作してください。



1 TITLE/EDIT を押す

「TITLE/EDIT」が表示されます。

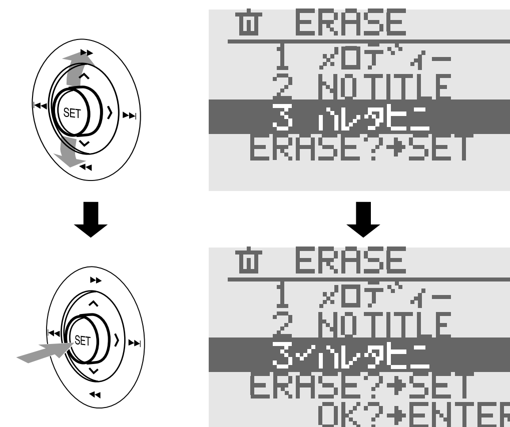


2 ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「ERASE」を選ぶ

3 SET を押す

4 ジョイコントロールを上下に動かして消す曲を選んでから、SET を押す

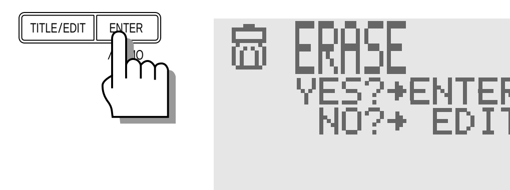
例：3 曲目を消すとき



SET を押すと消す曲に「✓」がつきます。
「✓」のついている曲が消えます。

- 手順 **4** をくり返すと、最大 15 曲まで消す曲が選べます。
- 曲番号を間違えて消したくない曲に「✓」をつけてしまったときは、ジョイコントロールを上下に動かして消したくない曲番号を選んでから、CANCEL を押して「✓」を消します。

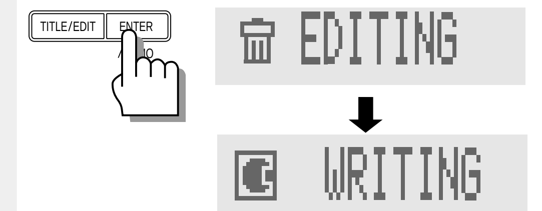
5 消す曲をすべて選んだら ENTER を押す



- 選んだ曲を消さないときは、TITLE/EDIT を押します。

6 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され編集した内容が MD に記録されます。



お願い

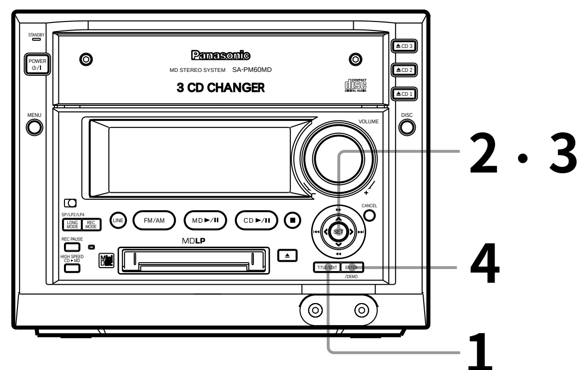
- 一度消した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみをずらしておいてください。(➡ 55 ページ参照)

お知らせ

- 編集を途中で止めるときは、TITLE/EDIT を押します。

全曲を消す（ALL ERASE）

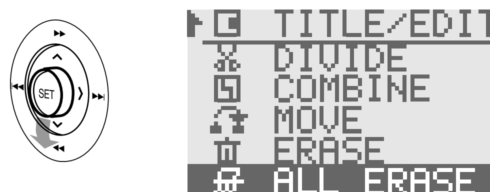
MD に録音されている内容をすべて消して、ブランクディスクにします。
「MD を編集する前に」（➡ 69 ページ参照）を読んでから操作してください。



1 TITLE/EDIT を押す

「TITLE/EDIT」が表示されます。

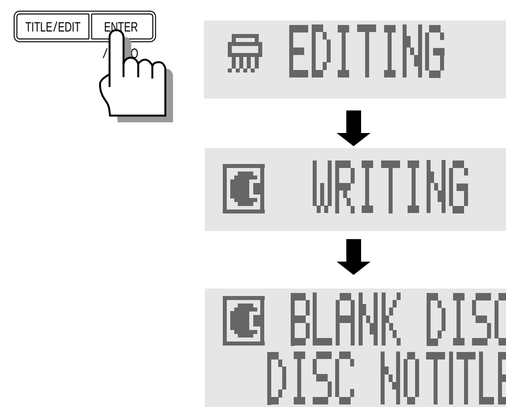
2 ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「ALL ERASE」を選ぶ



3 SET を押す

4 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容が MD に記録されます。



• 消さないときは TITLE/EDIT を押します。

お知らせ

• 編集を途中で止めるときは、TITLE/EDIT を押します。

タイマー

本機には 3 種類のタイマー機能があります。

REC タイマー（録音タイマー 78 ページ）

留守中などラジオ番組や LINE 入力端子、またはデジタル入力端子に接続した機器の音を留守録音するタイマーです。設定後 1 回だけ動作します。

• 録音開始時刻（電源が「入」になる時刻）、終了時刻（電源が「切」になる時刻）、録音する放送局または録音する機器を設定します。
※ 他の機器の音をタイマー録音するときは、タイマー機能のある機器を接続してください。

DAILY タイマー（目覚ましタイマー 80 ページ）

目覚ましとして毎日同じ時刻に動作するタイマーです。

• 開始時刻（電源が「入」になる時刻）、終了時刻（電源が「切」になる時刻）、聞きたいソース（音源）、音量を設定します。タイマーが動作を始めたとき徐々に音量を上げていくフェードイン機能もついています。

SLEEP タイマー（おやすみタイマー 82 ページ）

音楽を聞きながら眠りたいときに使います。

• 電源を「切」にする時間を設定し、設定した時間を経過すると自動的に電源が「切」になります。

タイマーを操作する前に

• **REC タイマーと DAILY タイマーは「MENU」表示を使って操作します。**
SLEEP タイマーはリモコンを使って操作します。
• **タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください。**
時計合わせをしていないと「MENU」表示に REC タイマーと DAILY タイマーの項目が表示されず、操作できません。
時計合わせをしていないときに SLEEP タイマーの操作をすると「CLOCK ADJUST !」が表示されて操作できません。
• REC タイマーと DAILY タイマーで設定した内容は、設定を変更しない限り記憶されています。
• 電源プラグが抜いてあったときや停電のときは、REC タイマーまたは DAILY タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときはもう一度タイマーを設定してください。

タイマーが重なったときは

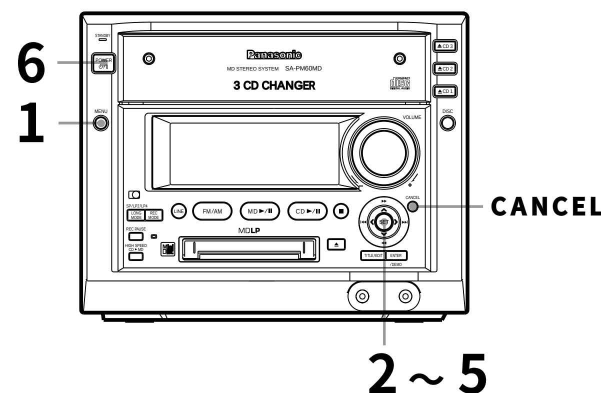
• **REC タイマー、DAILY タイマーまたは SLEEP タイマーのいずれかが重なったときは、あとから動作するタイマーが優先されます。**

タイマー動作中のお願い

• REC タイマーまたは DAILY タイマーが動作中（開始時刻から終了時刻の間）に、音量の調節、低音の調節（A. BASS）、サウンドモードの変更以外の操作をすると、タイマーが解除され終了時刻になっても電源が「切」になりません。
上記以外の操作をしたときは、ご注意ください。

REC タイマー（録音タイマー）

電源が「入」/「切」のどちらでも REC タイマーの設定ができます。
タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を合わせておいてください。（➡ 16ページ参照）



1 MENU を押す

「MENU」表示が表示されます。

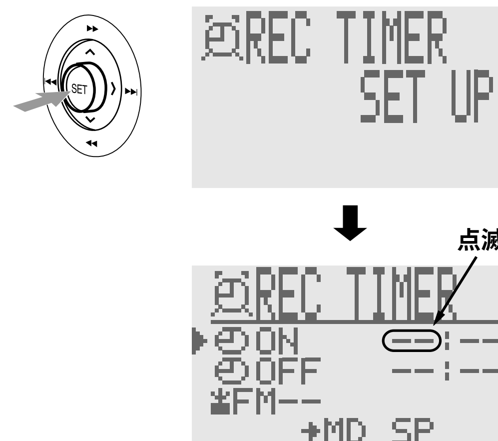
＜電源「入」時でソース（音源）が CD で停止状態のときの表示＞

2 ジョイコントロールを下（∨ 側）に動かして「REC ON/OFF」を選ぶ

3 ジョイコントロールを左右に動かして「REC SET UP」を選ぶ

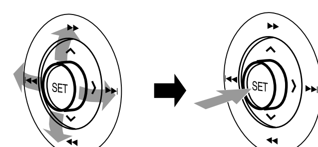
4 SET を押す

「REC TIMER SET UP」が表示されてから REC タイマーの設定内容が表示されます。



5 ジョイコントロールと SET を使ってタイマーの設定をする

「タイマーの開始時刻➡終了時刻➡録音するソース（音源）➡録音モード」の順に設定します。具体的な設定方法は、79ページをご覧ください。
設定の途中で間違えたときは、CANCEL を押します。一つ前の設定に戻ります。
録音用 MD を忘れずに入れておきます。



電源「入」で REC タイマーの設定をしていたとき

6 POWERを押して電源を「切」にする

表示窓に⌚と「REC」が表示されていることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻になると REC タイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。
- 録音中の音量は 0 になり、スピーカーやヘッドホンから音は出ません。

5-1. 開始時刻の設定

ジョイコントロールを左右に動かして「時」を選んでから SET を押し、同様に「分」を設定します。

例：開始時刻を午前 7 時 30 分に設定するとき

⌚ON　7:30

5-2. 終了時刻の設定

ジョイコントロールを左右に動かして「時」を選んでから SET を押し、同様に「分」を設定します。

例：終了時刻を午前 8 時 30 分に設定するとき

⌚OFF　8:30

5-3. 録音するソース（音源）の設定

① **ジョイコントロールを左右に動かして FM、AM、LINE 1、LINE 2、DIGITAL IN のいずれかを選ぶ**

② **SET を押す**

FM または AM を選んだとき：
ジョイコントロールを上下に動かして記憶してある放送局のプリセット番号を選んでから SET を押します。SETを押したあとは、手順**5-4.**に進みます。
- 放送局を選ばずに SET を押すと、電源を「切」にする前の放送局が選ばれます。

LINE 1、LINE 2、DIGITAL IN を選んだとき：
SET を押したあとは、手順 **5-4.** に進みます。
- タイマー機能付きの機器をご使用ください。
- ソース（音源）名を変更したときは、変更したソース（音源）名で表示されます。

5-4. 録音モードの設定

ジョイコントロールを左右に動かして録音モードを選んでから SET を押します。
「SP：標準」、「LP2：2 倍長」、「LP4：4 倍長」から選びます。

録音モードの設定をするとRECタイマーの設定は終わりです。

REC タイマーの再設定と解除

REC タイマーは、動作を 1 回行うと解除されますが、設定内容は記憶されています。
設定内容を変えずに次回の録音をするときは、REC タイマーの再設定をします。

「再設定」
手順 **1** ～ **2** の操作をして「REC ON/OFF」を選んで SET を押してから、「ON」を選んで SET を押します。

⌚と「REC」が点灯し、設定内容が 4 秒間表示されます。

「解除」
手順**1**～**2**の操作をして「REC ON/OFF」を選んでSETを押してから、「OFF」を選んで SET を押します。

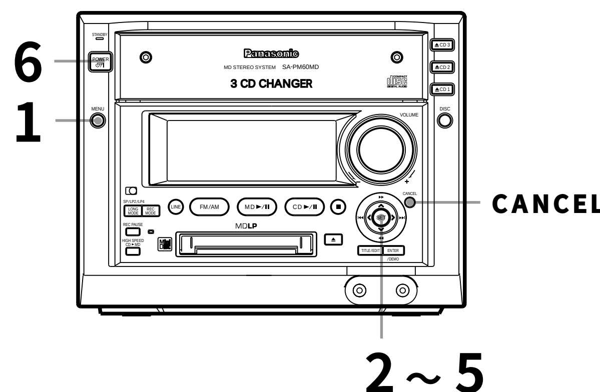
「REC TIMER OFF」が表示され、⌚と「REC」が消灯します。

お願い

- RECタイマー動作中に、MDの録音残量時間が無くなり録音が停止すると、タイマーが解除され、終了時刻になっても電源が「切」になりません。
  録音用の MD にはブランクディスクをお使いになるか、タイマー録音したい時間以上の録音残量時間があることを確認したMDをお使いください。（「MDの録音残量時間の確認のしかた」➡ 54ページ参照）

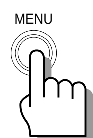
DAILY タイマー（目覚ましタイマー）

電源が「入」/「切」のどちらでも DAILY タイマーの設定ができます。
タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を合わせておいてください。（➡ 16 ページ参照）



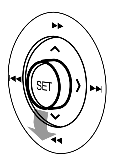
1　MENU を押す

「MENU」表示が表示されます。

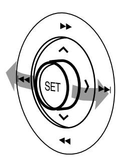


＜電源「入」時でソース（音源）が CD で停止状態のときの表示＞

2　ジョイコントロールを下（﹀側）に動かして「REC ON/OFF」を選ぶ

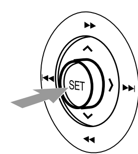


3　ジョイコントロールを左右に動かして「DAILY SET UP」を選ぶ



4　SET を押す

「DAILY TIMER SET UP」が表示されてから DAILY タイマーの設定内容が表示されます。

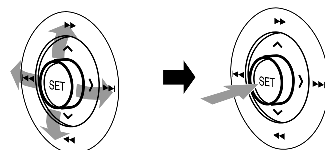


⬇　点滅

5　ジョイコントロールと SET を使ってタイマーの設定をする

「**タイマーの開始時刻➡終了時刻➡聞きたいソース（音源）➡音量とフェード**」の順に設定します。
具体的な設定方法は、81 ページをご覧ください。
設定の途中で間違えたときは、CANCEL を押します。一つ前の設定に戻ります。

- 一度設定すると DAILY タイマーを解除するまで、毎日同じ時刻にタイマー動作がスタートします。



電源「入」で DAILY タイマーの設定をしていたとき

6　POWER を押して電源を「切」にする

表示窓に◷と「DAILY」が表示されていることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻になると DAILY タイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。

お知らせ

- CD または MD を選んだとき、DAILY タイマーでプログラム演奏をすることはできません。

5-1. 開始時刻の設定

ジョイコントロールを左右に動かして「時」を選んでから SET を押し、同様に「分」を設定します。

例：開始時刻を午前 7 時 30 分に設定するとき

▶◷ON　7:30

5-2. 終了時刻の設定

ジョイコントロールを左右に動かして「時」を選んでから SET を押し、同様に「分」を設定します。

例：終了時刻を午前 8 時 30 分に設定するとき

▶◷OFF　8:30

5-3. 聞きたいソース（音源）の設定

① **ジョイコントロールを左右に動かして、「- - - - - -」、FM、AM、CD、MD、LINE 1、LINE 2、DIGITAL IN のいずれかを選ぶ**

② **SET を押す**

「- - - - - -」を選んだとき：
電源を「切」にする前のソース（音源）が選ばれます。

FM または AM 放送を選んだとき：
ジョイコントロールを上下に動かして記憶してある放送局のプリセット番号を選んでから SET を押します。SET を押したあとは、手順 **5-4.** に進みます。

- 放送局を選ばずに SET を押すと、電源を「切」にする前の放送局が選ばれます。

CD を選んだとき：
（あらかじめ CD トレイに CD を入れておきます。）

① **ジョイコントロールを上下に動かして聞きたい CD 番号を選んでから SET を押す**
- CD 番号を選ばずに SET を押すと、電源を「切」にする前に選ばれていた CD が演奏になります。

② **ジョイコントロールを上下に動かして聞きたい曲番号を選んでから SET を押す**
SET を押したあとは、手順 **5-4.** に進みます。
- 曲番号を選ばずに SET を押すと、CD の 1 曲目から演奏になります。

MD を選んだとき：
（あらかじめ MD を入れておきます。）
ジョイコントロールを上下に動かして聞きたい曲番号を選んでから SET を押す
SET を押したあとは、手順 **5-4.** に進みます。

- 曲番号を選ばずに SET を押すと、MD の 1 曲目から演奏になります。

LINE 1、LINE 2、DIGITAL IN を選んだとき：
SET を押したあとは、手順 **5-4.** に進みます。

- タイマー機能付きの機器をご使用ください。
- ソース（音源）名を変更したときは、変更したソース（音源）名で表示されます。

5-4. 音量とフェードの設定

① **ジョイコントロールを左右に動かして音量を選ぶ**
音量は 0 ～ 50 まで選ぶことができます。
- 電源が「入」のときに限り、「Vol.- -」に設定することができます。SET を押したときに聞いていた音量が設定されます。

② **ジョイコントロールを上下に動かして「FADE」または「NoFADE」を選ぶ**
FADE　：開始時刻になると、設定した音量まで徐々に上がります（フェードイン）。
NoFADE：開始時刻になると、設定した音量で音が出ます。

③ **SET を押す**
SET を押すと DAILY タイマーの設定が終了します。

DAILY タイマーの解除と再設定

DAILY タイマーの設定内容は記憶されています。
設定内容は変えずにタイマーを動作させたくないときは解除に、タイマー動作を復帰させたいときは再設定をします。

解除する（休日前夜など）
手順 **1** ～ **3** の操作をして「DAILY ON/OFF」を選んで SET を押してから、「OFF」を選んで SET を押します。

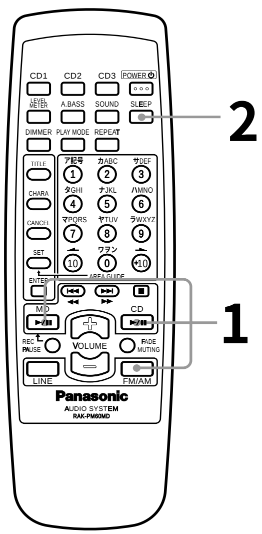
「DAILY TIMER OFF」が表示され、◷と「DAILY」が消灯します。

再設定する（出勤・登校の前夜など）
手順 **1**・**2** の操作のあと、手順 **3** で「DAILY ON/OFF」を選んで SET を押してから、「ON」を選んで SET を押します。

◷と「DAILY」が点灯し、設定内容が 4 秒間表示されます。

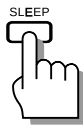
SLEEP タイマー（おやすみタイマー）

リモコンを使って設定します。
SLEEP タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を合わせておいてください。（➡ 16 ページ参照）

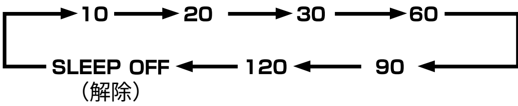


1 聞きたいソース（音源）を演奏状態にする

2 SLEEP を押してスリープ時間を設定する



SLEEPを押すごとにスリープ時間（単位：分）が次のように変わります。



- SLEEP タイマーを設定すると、表示窓が暗くなります（オートディマー）。

⋮

設定した時間を経過すると、自動的に電源が「切」になります。

設定したスリープ時間を変更するときは

SLEEPタイマー設定後にSLEEPを１回押すと残り時間が表示されます。
設定を変更するときは、さらにSLEEPを押して希望の時間を設定します。

SLEEP タイマーの解除

SLEEP を押して設定を「SLEEP OFF」にします。タイマーが解除されます。
POWERを押して電源を「切」にしたときや「REC タイマー」、「DAILY タイマー」または「時計を修正する」の操作をしたときも、SLEEP タイマーが解除されます。

SLEEP タイマーでおやすみになり DAILY タイマーで目覚めるには

1. **DAILYタイマーを設定する****（➡ 80 ～ 81 ページ参照）**
2. **聞きたいソース（音源）を演奏状態にする**
3. **SLEEP を押して時間を設定する**

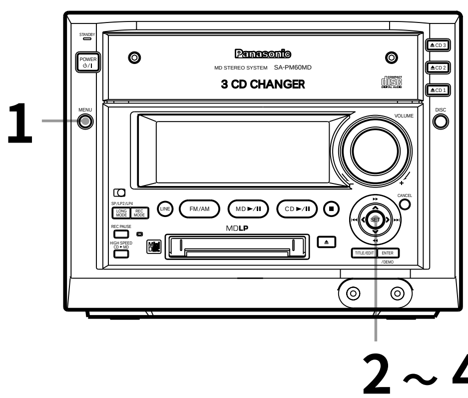
- 設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になり、DAILY タイマーの開始時刻で電源が「入」になります。

お知らせ

- REC タイマーとの併用もできますが、SLEEP タイマー動作中に REC タイマーの開始時刻になると REC タイマーに切り換わります。

AUTO POWER OFF 機能を使う

本機にはソース（音源）の無音状態が 3 分以上続くと、自動的に電源が「切」になる AUTO（オート） POWER（パワー） OFF（オフ） 機能があります。**電源「入」のときに操作します。**



1 MENU を押す

「MENU」表示が表示されます。

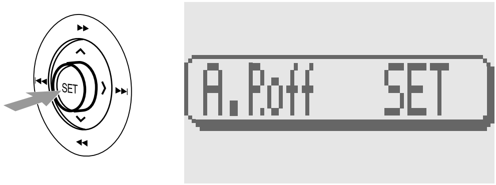
<ソース（音源）が CD で停止状態のときの表示>

2 ジョイコントロールを下（∨ 側）に動かして「A.P.off」を選ぶ

3 ジョイコントロールを左右に動かして「SET」を選ぶ

4 SET を押す

「A.P. off　SET」が表示されます。



AUTO POWER OFF を設定すると

AUTO POWER OFF 機能を設定すると、表示窓の「A.P. off」が点灯します。
AUTO POWER OFF機能が開始されると、表示窓の「A.P. off」が点滅に変わります。

AUTO POWER OFF の動作

CD または MD の演奏または CD を MD に録音しているときは、動作が終了すると　AUTO POWER OFF 機能が開始されます。何の操作もせずに 3 分が経過すると、自動的に電源が「切」になります。
この 3 分以内に演奏または録音の操作をすると、一時的に AUTO POWER OFF 機能が解除され、演奏または録音の動作が終了してから再度 AUTO　POWER OFF 機能が開始されます。演奏または録音以外の操作をすると、最後に操作が行われてからAUTO POWER OFF 機能が開始され、何の操作もせずに 3 分間が経過すると、自動的に電源が「切」になります。
ラジオまたは他の機器の音を聞いているときは、無音状態になると AUTO POWER OFF 機能が開始され、何の操作もせずに 3 分以上無音が続くと、自動的に電源が「切」になります。
電源が「切」になる 20 秒前になると表示窓にカウントダウン表示が表示されます。

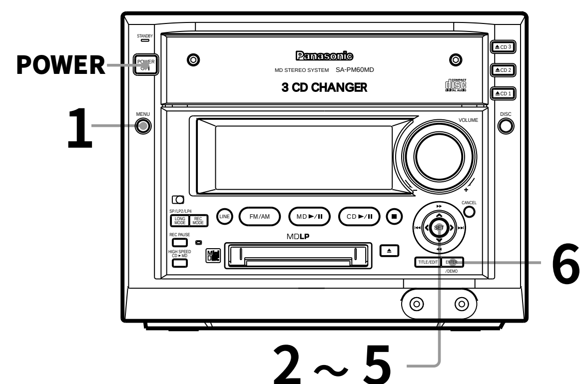
AUTO POWER OFF を解除する

手順 **1**・**2** の操作のあと、手順 **3** で「CANCEL」を選んでから SET を押します。「A.P. off　CANCEL」が表示され、表示窓の「A.P. off」表示が消えます。

便利な機能

メッセージ表示を変える

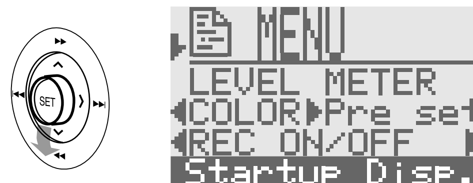
電源を「入」にしたときにスクロール表示されるオープニングメッセージの「HELLO」と、電源を「切」にしたときにスクロール表示されるエンディングメッセージの「SEE YOU」を、それぞれお好みのメッセージに変えることができます。
電源「切」のときに操作します。



1　MENU を押す

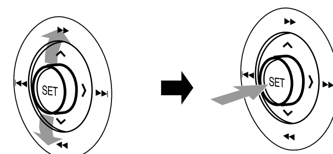
「MENU」表示が表示されます。

2　ジョイコントロールを下（﹀ 側）に動かして「Startup Disp.」を選ぶ



3　SET を押す

4　ジョイコントロールを上下に動かしてオープニングメッセージかエンディングメッセージを選んでから、SET を押す



オープニングメッセージを変えるときは、「Power on」を選びます。

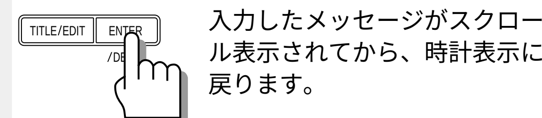
エンディングメッセージを変えるときは、「Power off」を選びます。

5　メッセージを入力する

最大 26 文字まで入力できます。
MDタイトル入力と同じ方法でメッセージを入力します。
詳しい方法は「文字入力のしかた」（➡ 65 ページ）をご覧ください。

- メッセージの入力には本体を使います。リモコンではできません。

6　ENTER を押す



入力したメッセージがスクロール表示されてから、時計表示に戻ります。

電源「入」または「切」にするごとに変更したメッセージがスクロール表示されます。

メッセージ表示を元に戻す

オープニングメッセージとエンディングメッセージを「HELLO」と「SEE YOU」に戻すときは、リセットの操作をします。

1. **電源を「切」にする**
   電源が「入」になっているときは、POWERを押します。
2. **84 ページの手順1～4の操作をして「Reset」を選んでから SET を押す**

電源「入」または「切」にしたときのメッセージ表示が、「HELLO」と「SEE YOU」に戻ります。

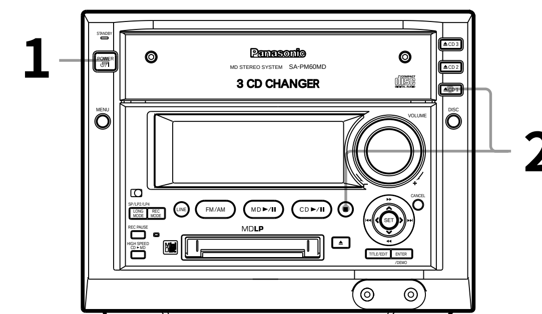
- オープニングメッセージだけ、または、エンディングメッセージだけを戻すときは、84 ページの手順 **1** ～ **5** の操作をして元に戻したいメッセージをブランク（空白）にしてから ENTER を押します。「HELLO」または「SEE YOU」が表示されます。

お知らせ

- 停電や電源コードを抜いて電源が切れたときは、オープニングメッセージとエンディングメッセージが「HELLO」と「SEE YOU」に戻ります。その場合は、84 ～ 85 ページの手順 **1**～**6** の操作をしてメッセージの入力を再度行ってください。

チャイルドロック機能

MDスロットとCDトレイを電子ロックして、▲を押してもMDが出てこないようにしたり、CDトレイが開かないようにします。
小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

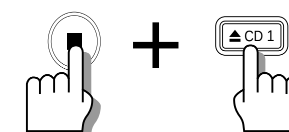


1　電源を「切」にする

電源が「入」のときは POWER を押します。

2　■ を押したまま ▲ CD1 を押す

「LOCKED」が表示され、**CDトレイとMDスロットがロックされます。**



LOCKED

- チャイルドロックをしておくと、どの▲を押しても「LOCKED」が表示されて、MDまたはCDトレイは出てきません。
- 電源「切」のときに▲を押すと「LOCKED」が表示されます。電源は「切」のままです。

チャイルドロックを解除する

もう一度、手順 **1** と手順 **2** の操作をします。
「UNLOCKED」が表示されてチャイルドロックが解除されます。

UNLOCKED

●AMエリアガイド放送局一覧（エリアガイド機能により地域ごとに下記の放送局が呼び出せます）

周波数単位：kHz

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよく入る代表都市名	プリセットされた放送局の周波数（Pはプリセットのことです）							
			P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6	P-7	P-8
011、0121〜0129 0130〜0136 0140〜0149	北海道	札幌	NHK第1 567	NHK第2 747	H B C 801	H B C 864	NHK第1 945	NHK第2 1125	H B C 1287	S T V 1440
0150〜0152 0157〜0159	北海道	網走 北見	NHK第2 702	NHK第2 747	H B C 801	S T V 909	NHK第1 1188	H B C 1449	S T V 1485	NHK第1 1584
0153〜0156	北海道	釧路	NHK第1 585	NHK第1 603	S T V 882	STV 1071	NHK第2 1125	NHK第2 1152	H B C 1269	H B C 1404
0137〜0139	北海道	函館	NHK第1 567	STV 639	NHK第1 675	NHK第2 747	S T V 882	H B C 900	H B C 1269	NHK第2 1467
0160〜0169	北海道	旭川	NHK第1 621	NHK第2 747	NHK第1 792	NHK第1 837	H B C 864	NHK第1 927	S T V 1197	NHK第2 1602
0172〜0179	青森	青森	NHK第2 774	NHK第1 963	NHK第1 999	R A B 1233	R A B 1485	*	*	*
018 0182〜0189	秋田	秋田	NHK第2 774	A B S 936	NHK第1 1503	*	*	*	*	*
019 0191〜0199	岩手	盛岡	NHK第1 531	I B C 684	NHK第2 774	NHK第2 1386	*	*	*	*
022 0220〜0229	宮城	仙台	NHK第1 891	NHK第2 1089	T B C 1260	*	*	*	*	*
023 0233〜0239	山形	山形	NHK第1 540	NHK第2 774	Y B C 918	NHK第1 1368	*	*	*	*
024 0240〜0249	福島	郡山	NHK第2 693	NHK第1 846	R F C 1098	R F C 1458	*	*	*	*
025 0250〜0259	新潟	新潟	NHK第1 792	NHK第1 837	B S N 1062	B S N 1116	B S N 1530	NHK第2 1593	*	*
026 0260〜0269	長野	長野	NHK第1 540	NHK第1 621	NHK第2 693	NHK第1 819	S B C 864	S B C 1098	*	*
027 0270〜0279	群馬	前橋	NHK第1 594	NHK第2 693	T B S 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	*	*	*
028 0281〜0289	栃木、茨城	宇都宮	NHK第1 594	NHK第2 693	T B S 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	C R T 1530	*	*
0280、029 0291〜0299	茨城	水戸	NHK第1 594	NHK第2 693	T B S 954	ブンカ 1134	I B S 1197	ニッポン 1242	I B S 1458	*
03、042〜045、047 048、0421〜0499	東京、神奈川 千葉、埼玉	東京	NHK第1 594	NHK第2 693	A F N 810	T B S 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	ラジオニホン 1422	*
052、0521〜0529 0531〜0536	愛知	名古屋	NHK第1 729	NHK第2 909	C B C 1053	トウカイラジオ 1332	S B S 1404	G I F U 1431	*	*
053、054 0537〜0549	静岡	静岡	NHK第2 639	NHK第1 882	S B S 1404		*	*	*	*
0551〜0557	山梨	甲府	NHK第2 693	Y B S 765	NHK第1 927	T B S 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	*	*
0550 0558〜0559	静岡	沼津	NHK第2 639	NHK第1 882	S B S 1404	S B S 1557	*	*	*	*
056 0561〜0589	愛知、岐阜	岐阜	NHK第1 729	NHK第1 792	NHK第2 909	C B C 1053	トウカイラジオ 1332	G I F U 1431	*	*
059 0592〜0599	三重	津	NHK第1 729	NHK第2 828	C B C 1053	トウカイラジオ 1332	*	*	*	*
06 0720〜0729	大阪	大阪	AM KOBE 558	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	K B S 1143	M B S 1179	OSAKA 1314	*
073 0734〜0739	和歌山	和歌山	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	M B S 1179	OSAKA 1314	W B S 1431	*	*

- 本機はAM放送を15局までメモリーできますが、＊印の欄 および P-9〜P-15 には放送局がメモリーされていません。お好きな放送局をご自分でプリセットすることができます。
- 近隣の AM 放送の方がうまく受信できる場合は、AREA GUIDE (0)を押したあと聞きたい放送の地域の市外局番を入力し、SET を押してください。

●AMエリアガイド放送局一覧（エリアガイド機能により地域ごとに下記の放送局が呼び出せます）

周波数単位：kHz

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよく入る代表都市名	プリセットされた放送局の周波数（Pはプリセットのことです）							
			P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6	P-7	P-8
075 0740〜0759	京都 奈良、滋賀	京都	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	K B S 1143	M B S 1179	OSAKA 1314	*	*
076 0761〜0762	石川	金沢	M R O 1107	NHK第1 1224	NHK第2 1386	*	*	*	*	*
0763〜0766	富山	富山	NHK第1 648	K N B 738	NHK第2 1035	*	*	*	*	*
0760 0767〜0769	石川	七尾	NHK第1 540	M R O 1107	NHK第2 1386	*	*	*	*	*
077 0771〜0775	京都、滋賀	大津	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	K B S 1143	M B S 1179	K B S 1215	OSAKA 1314	*
0770 0776〜0779	福井	福井	F B C 864	NHK第1 927	NHK第2 1521	*	*	*	*	*
078 0790〜0799	兵庫	神戸	AM KOBE 558	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	M B S 1179	OSAKA 1314	*	*
082、0823〜0826 0828〜0829	広島	広島	NHK第2 702	NHK第1 1071	R C C 1350	*	*	*	*	*
083、0830〜0839 0820、0827	山口	山口	NHK第1 675	K R Y 765	K R Y 918	NHK第2 1377	A F N 1575	*	*	*
0840〜0849	広島	尾道	NHK第1 999	R C C 1530	NHK第2 1602	*	*	*	*	*
0851〜0856	島根	松江	B S S 900	NHK第1 1296	B S S 1431	NHK第2 1593	*	*	*	*
0857〜0859	鳥取	米子	B S S 900	NHK第1 963	NHK第2 1125	NHK第1 1368	B S S 1431	*	*	*
086 0861〜0869	岡山、広島	岡山	NHK第1 603	NHK第2 1386	R S K 1494	*	*	*	*	*
087 0875〜0879	香川	高松	NHK第2 828	NHK第2 1035	NHK第1 1368	R N C 1449	*	*	*	*
0883〜0886	徳島	徳島	NHK第2 828	NHK第1 945	J R T 1269	*	*	*	*	*
0880 0887〜0889	高知	高知	R K C 900	NHK第1 990	NHK第1 999	NHK第2 1152	R K C 1197	*	*	*
089 0891〜0899	愛媛	松山	NHK第1 846	NHK第1 963	Nancy16 1116	NHK第2 1512	*	*	*	*
092、093 0930、0940〜0949	福岡 長崎	福岡	NHK第1 612	NHK第2 1017	R K B 1278	K B C 1413	*	*	*	*
0951〜0955	佐賀	佐賀	NHK第1 612	NHK第2 873	NHK第1 963	R K B 1278	K B C 1413	N B C 1458	*	*
095、0920、0950 0956〜0959	長崎	長崎	NHK第1 684	NHK第2 873	NHK第1 981	N B C 1098	N B C 1233	*	*	*
096 0964〜0969	熊本	熊本	NHK第1 756	NHK第1 846	NHK第2 873	R K K 1197	NHK第1 1341	*	*	*
097 0972〜0979	大分	大分	NHK第1 639	NHK第2 873	O B S 1098	*	*	*	*	*
0981〜0987	宮崎	宮崎	NHK第1 540	NHK第1 621	NHK第2 873	M R T 936	O B S 1098	NHK第2 1467	*	*
098、0980 0988〜0989	沖縄	那覇	NHK第1 540	NHK第1 549	A F N 648	R B C 738	R O K 864	NHK第2 1125	*	*
099 0991〜0999	鹿児島	鹿児島	NHK第1 576	NHK第1 792	M B C 1107	NHK第2 1386	*	*	*	*

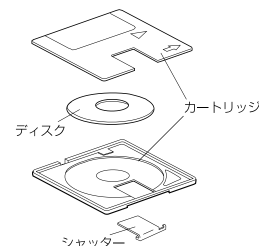
- 市外局番が変更になった地域は、変更前の市外局番を入力してください。また、市外局番が5ケタまたは6ケタの地域は、頭から4ケタを入力してください。

MD について

MD（ミニディスク）は直径 64mm のディスクを使った新しいデジタルオーディオで、小さくても多機能、高音質でステレオ録音／再生ができます。

カートリッジのはたらき

ポケットサイズ（68 × 72mm、厚さ 5mm）のカートリッジの中に直径 64 mm のディスクが収められているので、持ち運びや収納がとても便利です。
また、中のディスクは、カートリッジとシャッターで保護されているために、ほこりやゴミがつかず、キズや指紋をつけることもありません。取り扱いが便利です。



2 種類のディスク

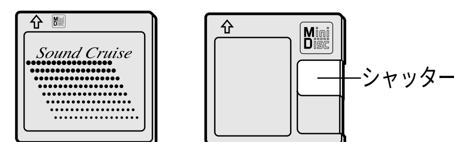
MD（ミニディスク）には、録音できる「録音用 MD 」と再生のみできる「再生専用 MD 」の2種類のディスクがあります。再生のしかたは、どちらのディスクもレーザー光を照射しその反射によって信号を読み取る方式ですが、記録のしかたが異なります。

再生専用 MD

市販の MD（ミニディスク）ソフトに使用されているタイプで、録音はできません。CD 同様ピットと呼ばれる小さなくぼみの有無でデータが記録されています。このような記録方式のディスクを「光ディスク」と呼びます。

録音用 MD

録音用 MD（ミニディスク）で、何度も録音ができるように、磁気を利用してデータを記録します。このような記録方式のディスクを「光磁気 (MO：Magneto-Optical)ディスク」と呼びます。

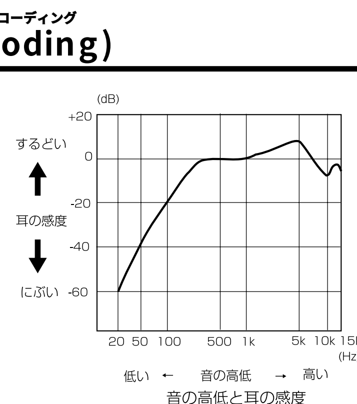


再生専用 MD　　録音用 MD

ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

（アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング）

MD(ミニディスク)は、従来の CD の約半分のサイズですが同じ時間記録することができます。 それは、「音声圧縮技術 (**ATRAC**)」により、聴感上聞こえない音の成分をカットしてデータを小さく圧縮し、記録するデータを元のデータの約 1/5 の量にすることで、MD でのステレオ録音／再生を可能にしました。
また、本機では最新の**ATRAC3**技術により、記録するデータを元のデータの約1/10または1/20の量にすることで、2倍長または4倍長の長時間ステレオ録音を可能にしています。



音の高低と耳の感度

TOC (Table Of Contents) と UTOC (User Table Of Contents)

（テーブル オブ コンテンツ / ユーザー テーブル オブ コンテンツ）

TOC

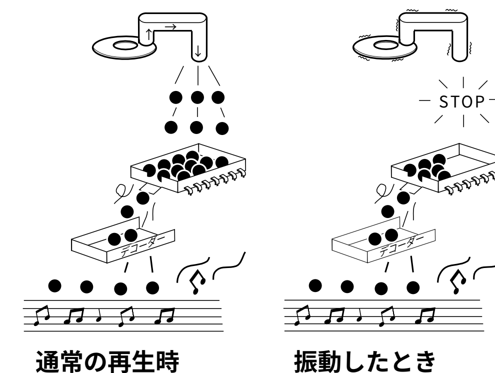
MD（ミニディスク）には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容をTOC情報といいます。

UTOC

自分で自由に書き換えられるTOCです。
入力した文字や、編集した結果などを記録します。MD（ミニディスク）にUTOCが書き込まれているときは、「WRITING」と表示され注意を促します。

音飛びガードメモリー

MD（ミニディスク）を再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能を「音飛びガードメモリー」と呼びます。
この機能により、振動でディスクの信号がレーザー光で読み取れなかった場合でも「音飛びガードメモリー」のデータがあるので、実際に聞こえる音は途切れません。



通常の再生時　　振動したとき

デジタル録音のきまり（S C M S）

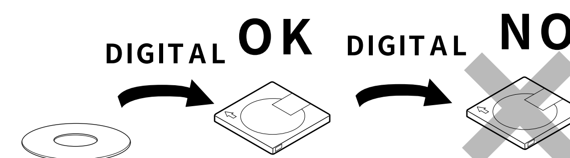
（シリアル コピー マネージメントシステム）

デジタルオーディオとは､デジタル入出力端子を通して音声信号をデジタル信号のままやりとりするオーディオ機器で、CD（コンパクトディスク)、MD（ミニディスク)、DAT（デジタルオーディオテープ）などがあります。これらの機器は音楽信号をほとんど劣化することなく録音（コピー）ができます。このために、著作権を保護するコピー規制が必要になり、この決まりが SCMS です。

SCMS (Serial Copy Management System)

（シリアル コピー マネージメント システム）

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため､デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。



あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ ０３−５３５３−０３３６（代）

ご注意
この規定により、本機でデジタル録音した MD は、他の機器でデジタル録音することはできません。

倍速(定速を超える)録音に関して(HCMS)

録音用MD（ミニディスク）は定速を超えるスピードで録音（コピー）することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CDから一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から 74 分が経過しないと、その曲の２度目の録音〔倍速録音及び定速（ノーマル速度）録音〕はできません。
例えば、CDの１曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから 74 分間は、その CD の１曲目を再び MD に倍速および定速（ノーマル速度）で録音することはできません。

MD のメッセージ

本機のディスプレイに表示するメッセージには次のような意味があります。

メッセージ	意　味	処　置
BLANK DISC	何も録音されていない MD が入っている。	新しく録音するとき以外は、他の録音済みの MD に取り換えてください。
CANNOT COMBINE	録音モードが異なる曲をつなげようとした。	MD のシステム上の制約です。「➡ 69 72 ページ参照」
DISC ERROR	MD が異常 (損傷している)。	MD を取り換える。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が 254 を超える。	他の録音用 MD に取り換えてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■ボタンを押していったん停止してから、⏏（MD取り出し）ボタンを押してMDを取り出し、もう一度操作しなおしてください。
MD NO DISC	MD が入っていない。	MD を入れてください。
NON-AUDIO CANNOT COPY	DVD や CD-ROM（ビデオ CD など）をデジタル録音しようとした。	録音を中止してください。
PLAYBACK DISC	再生専用 MD に録音・編集しようとした。	録音用 MD に取り換えてください。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみをずらす。(孔を閉じた状態)「➡ 55 ページ参照」
SCMS CANNOT COPY	デジタル録音した MD のコピーや CD-R（デジタルオーディオ）のコピーを作ろうとした。	他の機器を LINE 1 端子または LINE 2 端子に接続し、アナログ入力を使って録音します。
DIGITAL IN UNLOCK	デジタル入力端子がソース機器と接続されていない。	ソース機器を正しく接続する。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を倍速録音を開始した時点から 74 分以内にまた録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働きます。74 分以上待ってから録音を開始してください。
CANNOT LISTEN!	倍速録音中に CD の音を聞こうとした。	倍速録音中は、CD の音は聞けません。
MD LOAD ERROR	MD の挿入がうまくいかなかった。	⏏（MD取り出し）ボタンを押してMDを取り出し、もう一度挿入しなおしてください。
NO OPERATE!	リモコンでタイトル入力しているときに、本体でタイトル入力をしようとした。	リモコンでタイトル入力しているときは、本体を使ったタイトル入力はできません。「➡ 64 ページ参照」

MD の制約について

MD は、従来のカセットテープや DAT とは異なる独自の方式で情報を記録しています。この MD の記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような場合があります。これらの症状は、製品の故障ではありません。

症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数に制限があります。曲番号が255以上になる録音はできません。（最大録音曲数は254曲）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。分けられて8秒以下の部分ができると、その曲は、「COMBINE」 機能でつなげることはできません。また、その部分は消しても残り時間は増えません。細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。
「COMBINE」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも 2 秒間の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短かい空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短かくなります。

故障かな？と思う前に

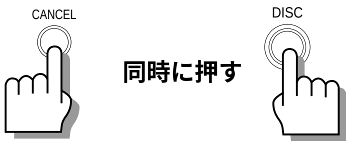
故障かなと思ったら・・・修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページをご覧になり、正しく接続し直してください。	10 11 12
MDに録音できない。	MD が誤消去防止状態になっている。	MD の誤消去防止つまみを録音可能状態にする。	55
放送が雑音で聞き苦しい。	AMループアンテナが本体に近づいている。	AMループアンテナの位置と向きを変えてください。	10
	アンテナが束ねたままになっている。	放送局を受信して最も受信状態の良い向きに伸ばし、テープなどで固定してください。	
リモコン操作ができない。本体に近づけないと操作できない。	リモコン受光部との間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。	9
	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。	
特定の箇所が正常に再生しない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふいてください。	7
CDが演奏されない。	CD が裏返しになっている。	CD の文字などの印刷面が上になるようにしてCDトレイに正しくのせてください。	29
CDまたはMDの演奏が始まらない。	レンズに露がついている（結露）。	電源を「入」にしたまま数時間待ち、乾いてから使ってください。	・
ブーンという雑音がでる。	本機をテレビのすぐそばに設置している。	本機をテレビから離して設置してください。	・

本体のリセットについて

- **上記の処置をしても正しく動作しないときは**

本機は、マイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、ジョイコントロールの操作ができなかったり、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、**CANCELとDISCを同時に押してリセットしてください。**



または、電源プラグを抜いてからもう一度差し込んでください。そのあと、時計を合わせ直してください。

「CAUTION！」が表示されたら

表示窓に「CAUTION！」が表示されたときは、本機に故障が発生しています。電源を「切」にしてから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

主な仕様

■ アンプ部

実用最大出力　総合出力 25W+25W
（1kHz、全高調波ひずみ率10%、6Ω）

入力端子　<アナログ>　LINE 2 系統
LINE 1：感度2切替
LINE 2：感度4切替
<デジタル>　デジタル入力×1
光角型ジャック
サンプリング周波数
32 kHz/44.1kHz/48 kHzに対応

出力端子　<アナログ>　LINE 1 系統

■ FMチューナー部

受信周波数帯　76.00〜108.00 MHz
（5kHzステップ）

アンテナ端子　75 Ω（不平衡型）

■ AMチューナー部

受信周波数帯　531〜1629 kHz
（9 kHzステップ）

■ CD部

形式　コンパクトデジタルディスクオーディオシステム
サンプリング周波数　44.1 kHz
チャンネル数　2チャンネル・ステレオ
量子化（デコーディング）　16 ビット直線
ワウ・フラッター　測定限界以下
デジタルフィルター　8 fs
DAコンバーター　1ビットDAC
ピックアップ　光源：半導体レーザー
波長：780 nm

■MD部

形式　ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式　磁界変調オーバーライト方式
読みとり方式　半導体レーザー（λ=780nm）による非接触光学式
サンプリング周波数　44.1 kHz
チャンネル数　2チャンネル・ステレオ
音声圧縮／伸張方式　ATRAC/ATRAC3（**MD LP**）方式
録音再生時間（ステレオ）（80分MD使用）　80 分（SP）
160 分（LP2）
320 分（LP4）
ワウ・フラッター　測定限界以下

■本体部（SA-PM60MD）

電源　AC100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力　67 W
寸法　幅215 mm×高さ170 mm×奥行352 mm
質量　約6.2 kg

■スピーカー部（SB-PM60）

形式　1ウェイ　スピーカーシステムバスレフ型
使用スピーカー　8 cm　フルレンジ
許容入力　50 W（Music）
インピーダンス　6Ω
再生周波数帯域　53 Hz〜25 kHz（−16dB）
61 Hz〜22 kHz（−10dB）
出力音圧レベル　82 dB/W（1m）
寸法　幅122 mm×高さ170 mm×奥行227 mm
質量　約1.6 kg

電源オフ時の消費電力　約1.6W（電源「切」時：表示窓「明」）
約1.4W（電源「切」時：表示窓「暗」）

注）1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第10次高調波までの総和です。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■修理を依頼されるとき

９０～９２ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、MDステレオシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。
（この期間は通商産業省の指導によるものです）
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル（料金無料） 0120-878-365（パナは 365日）

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087（パナ パナ）

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0900

Panasonic

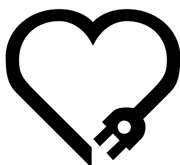
MD ステレオシステム　SC-PM60MD 取扱説明書

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検　長年ご使用の MD ステレオシステムの点検を！



こんな症状はありませんか		
こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音が出ないことがある ・正常に動作しないことがある ・商品に破損した部分がある ・その他の異常や故障がある	このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	i（　　）　–	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	i（　　）　–	品番	SC-PM60MD

松下電器産業株式会社　デジタル AV ネットワーク事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町１番４号

RQT5856-S
F1200YW0

National/Panasonic

発行 2001年2月　No.01-017

Technical Guide

このテクニカルガイドは修理技術者を対象とした技術資料です。

この資料に掲載されている表示価格は消費税抜きです。
保証書は必ず所定事項を記入の上、お客様にお渡しください。

MDステレオシステム

SC-PM60MD

希望小売価格（2001年2月現在）

オープン価格

ボディーカラー：　Wホワイト

系列：　(MDメカニズム)FMU-S2M-1M/(CDメカニズム)FMU-ZC3-1M
※同系列メカニズム：基本動作は同じですが使用部品は一部異なります。

技サ区分：　出張 SA-PM60MD 6400 3900/2800(リモコン交換) SB-PM60 2800(ネット板、スピーカーBOX交換)

システム構成機器：本体：SA-PM60MD（チューナー、アンプ、CDチェンジャー、MDプレイヤーは分離できません。）スピーカー：SB-PM60

特長

■カジュアルでコンパクトなボディに3CDチェンジャーを搭載したMDコンポ

■80分MDで最長5時間20分録音が可能なMDLP & 倍速録音モード搭載

■ディスプレイの色選択、カタカナ50音一括表示（MDタイトル入力時）ができるマルチカラー大型ディスプレイ

■OFC4層エッジワイズボイスコイル採用などによる高音質化を実現

目　次

★本機の外観、回路、使用部品は性能向上、その他の理由により予告なく変更することがあります。

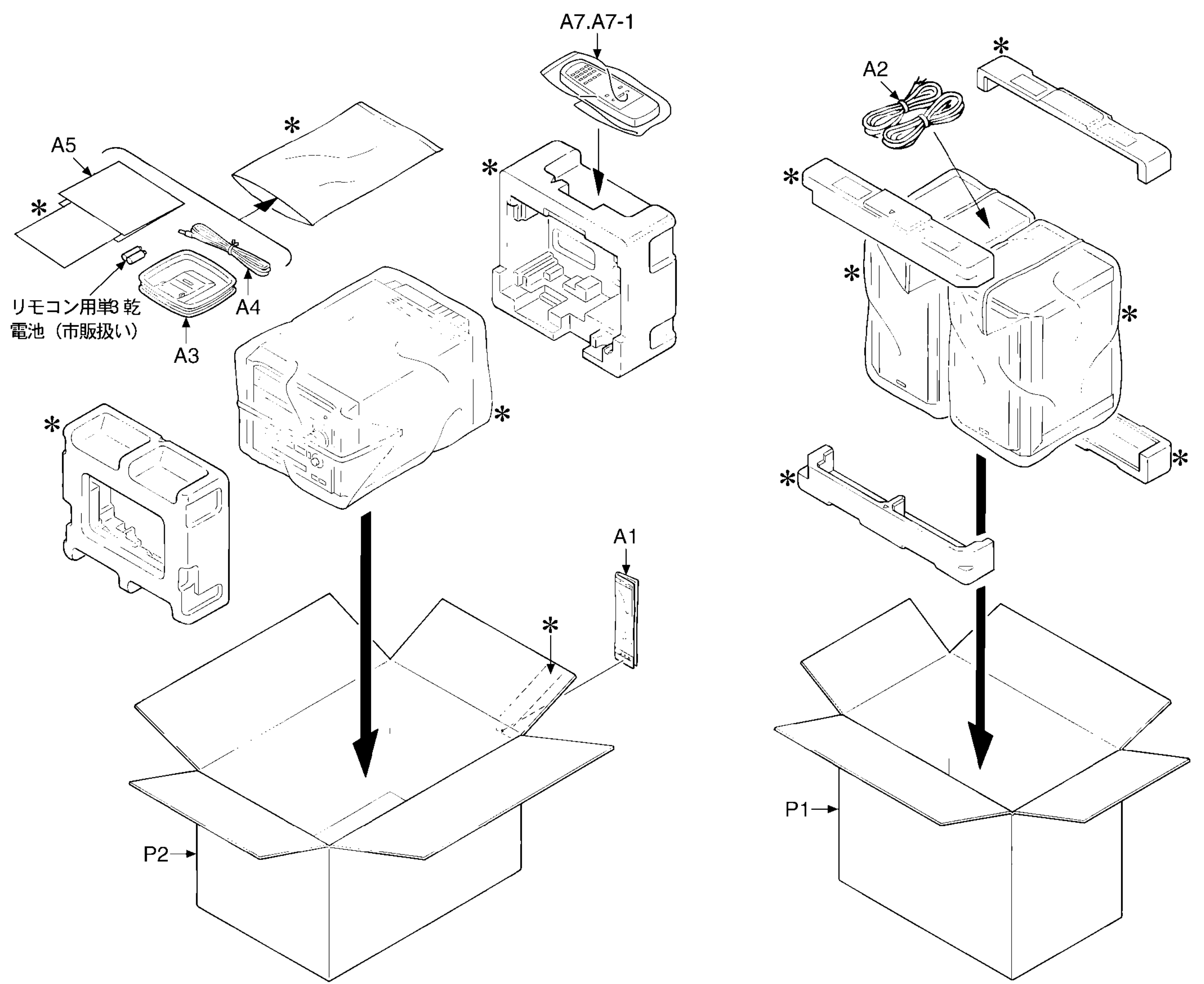
松下電器産業株式会社　**デジタルAVネットワーク事業部**

036108

20.7. 包装・付属部品

安全	図面No	部　品　名	部品番号	部品コード	員数	標準卸価格	希望小売価格	備　考	新部品
		付属部品関係							
	A1	保証書	RFA1701	015971	1	140	200		
	A2	スピーカ コード	RJLZPM60-01		1				○
	A3	AM ループアンテナ	RSAZPM60-01	3495	1	490	700		○
	A4	FM 簡易型アンテナ	RSAZPM60-02		1				○
	A5	取説(消費者相談一覧含む)	RQT5856-S	015983	1	450	500		○
	A7	リモコン	RAK-PM60MD	015915	1	770	1100		○
	A7-1	リモコン電池蓋	RKKZPM60-01		1				○
		包装部品関係							
	P2	外装箱	RPG5359	015971	1	270	300		○

20.8. 包装要領



注）* 印の部品は部品供給を致しません。

H010300000 KA/HH